

宮崎大学医学部整形外科

同門会誌

亀井直輔教授就任記念号

第 36 号
令和 7 年 9 月

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会

宮崎大学医学部整形外科

同
門
会
誌

第 36 号 (亀井直輔教授就任記念号)

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会



巻頭の御挨拶

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会会長

ひらかわ整形外科クリニック 平川 俊一

同門会会員の皆様にはおかれましては日々診療に忙しく過ごしておられる事と存じます。

この原稿を書いておりますのは五月後半ですが、早くも梅雨入り宣言があり例年通りの時期に梅雨が明けるのか、それとも早く入梅した分、梅雨が早く明けると猛暑の夏が長く続く恐れがありますので、ここ数年のことですが生命を脅かすような異常気象が心配されます。地球の温暖化は我々の経験した事のない熱帯地域の病気が流行しそうですし、コロナ感染症のパンデミックで受けたような社会活動の制限はもう経験したくありません。

同門会活動は役員の皆様の御助力で順調に進んでいると思っております。しかしながら数年前に取り組みながらも現在解決出来ないままになっている問題がございます。役員会の構成メンバー選出方法の件です。会員の皆様の意見を頂きながら運営していく事を考えていくための良いシステムを作ることができず、現在最優先課題と位置付けて取り組んでおります。学年毎とか、数学年毎に代表を選出するなどのようにするとか、意見を求めているところです。同門会は会員の皆様、特に若手の先生方への支援を活動目的にしていますので、若い学年の先生方の同門会への積極的参加を頂きたく考えています。

医療を取り巻く環境は先年の診療報酬改悪により、医療機関の形態を問わず全ての医療機関の経営圧迫が我々の死活問題になっています。医療費を四兆円減らすなどの根拠のない意見を主張する国会議員、また医療費の削減を公約として掲げる政党も出現しています。若手医師の分野専攻におきましても自分の収入が診療報酬に振り回されるよりは、「直美」という用語が生まれましたように、臨床経験の乏しいまま美容関係に年間400人の医師が流れているとの事ですが、全国で四つの医学部が機能していないのと同様です。幾つかの学会はこのままでは自分たちは絶滅するなどの緊急提言をしています。どこの医療機関でも看護師、医療事務の人員不足が切迫した問題であり、今では医療関係の職場は敬遠される職種と見なされています。何処かの時点でこの国は舵取りを間違えたようです。

皆様におかれましては日々の診療に多忙な事と思いますが、医師でありましても要求するのは要求し、それらの収入が職員を守る事にもなります。必要であれば政治も動かし医療制度を守るために介入することも必要と考えます。清く正しいだけでは、一般の方から褒められはしてもいずれは我が身を滅ぼすことになりそうです。

最後になりますが皆様方のますますの御健勝をお祈りしまして巻頭の挨拶とさせていただきます。

目 次

巻頭の御挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	平川 俊一	1
亀井直輔教授就任記念		
教授就任のご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・	亀井 直輔	8
亀井直輔教授略歴・・・・・・・・・・・・・・・・		9
亀井直輔教授ご就任に寄せて・・・・・・・・	越智 光夫	11
亀井直輔先生の教授ご就任に向けて・・・・	安達 伸生	13
亀井直輔教授ご就任に寄せて・・・・・・・・	田島 直也	14
亀井直輔教授ご就任に寄せて・・・・・・・・	帖佐 悦男	15
亀井教授 祝御就任・・・・・・・・・・・・・・・・	河野 雅行	16
亀井直輔教授をお迎えして・・・・・・・・・・	平川 俊一	17
亀井直輔教授御就任のお祝い・・・・・・・・	川越 正一	18
亀井直輔教授ご就任おめでとうございます	黒木 龍二	19
亀井直輔教授ご就任をお祝いして・・・・	坂本 康典	20
祝辞（同門会会員）・・・・・・・・・・・・		21
亀井直輔教授就任記念 亀井先生について、皆さんに聞いてみました！		63
医局長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・	黒木 修司	67
宮崎大学整形外科学教室 近況報告		
宮崎大学医学部スポーツメディカルセンター設立のご報告	田島 卓也	69
出向病院担当医師一覧・・・・・・・・・・・・		71
宮崎大学整形外科学教室 グループ紹介・・・・		72
宮崎大学整形外科 診療状況報告・・・・・・・・		73
近況報告インタビュー ～開業医編～		
医療法人けいあい かいクリニック・・・・・・・・	甲斐 睦章	75
医療法人かみぞの整形外科・・・・・・・・・・	神 蘭 豊	77
医療法人社団三修会 川越整形外科医院・・・・	川越 正一	79
医療法人社団 くろき整形外科・・・・・・・・・・	黒木 龍二	80
医療法人社団幸輝会 こざくら整形外科・・・・	小櫻 博幸	81
学会賞受賞・学位取得報告		
高木奨励賞を受賞して・・・・・・・・・・・・	川野 彰裕	82
日本運動器学会学術プロジェクト助成金を受賞して	田島 卓也	84
Outstanding Young Investigator Award 受賞のご報告	横江 琢示	85
第 36 回九州・山口医・科学研究会優秀演題賞を受賞して	田島 卓也	86
第 18 回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して	山口 洋一朗	87
第 18 回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して(学位取得報告も含めて)	森田 雄大	88
学位取得の報告 -50 の手習い -	濱中 秀昭	90

日本整形外科学会「学術賞」を受賞して	帖佐 悦男 . . .	92
帯同報告・研修参加		
なでしこジャパン 2025SheBeliveCup@USA 帯同報告	山口 奈美 . . .	93
2024 侍ジャパン野球日本代表帯同報告	長澤 誠 . . .	94
第 50 期ラグビー高校日本代表チームドクター帯同報告	今里 浩之 . . .	95
UBE Cadaver Surgical Training に参加して	永井 琢哉 . . .	96
同門会・医局行事		
第 46 回九州手外科研究会を終えて	甲斐 糸乃 . . .	97
第 26 回同門会テニス大会報告	尾田 朋樹 . . .	99
第 31 回同門会ゴルフ大会を終えて	江夏 剛 . . .	100
第 1 回教室杯ゴルフ大会を終えて	帖佐 悦男 . . .	101
第 98 回日整会サッカー大会を終えて	平川 雄介 . . .	102
第 98 回日本整形外科学会学術総会 親善モルック大会に参加して	三橋 龍馬 . . .	103
2025 年 1 月 11 ～ 13 日 医局旅行 in 金沢	佐々木 一駿 . . .	104
野球検診報告 2024		106
開院の御挨拶		
ふなもと整形外科開院のご挨拶	船元 太郎 . . .	110
新入会員紹介（賛助会員）		
入会のご挨拶	古賀 倫太郎 . . .	111
入会のご挨拶	寶 亀 淳 . . .	112
入会のご挨拶	寶 亀 登 . . .	113
新入会員紹介（正会員）		
自己紹介	池末 和弘 . . .	114
自己紹介	関本 朝日 . . .	114
自己紹介	濱川 晃輔 . . .	115
同門会総会議事報告		116
教室同門の研究業績（2023 年 1 月～ 12 月）		118
編集後記	大田 智美 . . .	155



亀井直輔教授就任記念





亀井 直輔 教授



教授就任のご挨拶

宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野

教授（第四代教授） 亀井直輔

このたび、2024年10月1日付で宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 整形外科学分野の教授を拝命いたしました亀井直輔と申します。伝統ある本教室の第四代教授として、その重責を担うことになり、身の引き締まる思いで日々の職務にあたっております。

私は大分県別府市に生まれ育ち、中学生の頃に腰椎分離症による腰痛に苦しんだことをきっかけに、高校時代には整形外科医を志すようになりました。幼少期から広島東洋カープの熱心なファンであったこともあり、広島大学へ進学し、卒業後は同大学整形外科に入局。以後、脊椎脊髄外科を専門とする臨床に加え、再生医療分野においても研究を進めてまいりました。これまでに、研究の実用化に向けた医師主導治験やスタートアップ企業の設立といった挑戦的な取り組みも行い、アカデミアが持つ可能性と責任の重さを実感してきたところです。

宮崎大学整形外科は、初代・木村千仞先生、第二代・田島直也先生、第三代・帖佐悦男先生と受け継がれてきた歴史と伝統ある教室です。全国トップクラスの手術件数を誇り、特にスポーツ医療の分野においては、日本代表レベルの競技団体への帯同やオリンピック・国スポなどの大会での医療支援を通じて、高い評価を得ております。近年では、医学部スポーツメディカルセンターの開設に加え、九州で初めてハイパフォーマンススポーツセンター連携施設として認定されるなど、地域と全国を結ぶスポーツ医療の拠点として存在感を高めています。

私はこの伝統を大切にしつつ、さらに発展させていくことを目指しています。スポーツ医療に加え、私の専門である脊椎脊髄外科、そして基礎および臨床研究においても、地域から世界に向けて情報を発信し、宮崎大学整形外科を「地域に根ざし、世界に通ずる講座」へと進化させてまいります。

私の掲げるスローガンは「楽しく働く」です。論語に「これを知る者はこれを好む者に如かず。これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」という言葉がありますが、仕事を楽しむことこそが、真のモチベーションと高いパフォーマンスにつながると信じています。そのために、若手医師が早期から臨床経験を積める「Early exposure」を推進し、気軽に相談できる環境づくり、すなわち「雑談のように相談する＝ザッソウ」の文化を整えることで、心理的安全性の高い職場づくりにも力を入れています。魅力あるコミュニティを育むことで、多くの仲間が集い、高まる医療ニーズにも柔軟に応えられる体制を築きたいと考えています。

今後も、地域医療の中核を担う使命を果たすとともに、研究成果の積極的な発信を通じて、国内外に宮崎大学の存在感を示してまいります。諸先輩方の築いてこられた偉大な礎の上に立ち、教室員と力を合わせてさらに発展していく所存です。今後とも、同門の先生方の変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

亀井直輔教授 略歴

【学歴】

1991 年 3 月 岩田高等学校（大分県）卒業
 1997 年 3 月 広島大学 医学部 医学科 卒業
 2006 年 3 月 広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 博士課程 修了 博士（医学）取得

【職歴】

1997 年 5 月 広島大学医学部附属病院医員（研修医）
 1997 年 10 月 吉田総合病院 整形外科 医師
 1999 年 4 月 松山赤十字病院 整形外科 医師
 2001 年 4 月 広島鉄道病院 整形外科 医師
 2005 年 4 月 広島大学病院 整形外科 医員
 2007 年 4 月 理化学研究所（神戸） 客員研究員
 2009 年 4 月 広島大学病院 再生医療部（2013 年 9 月～未来医療センター）助教
 2015 年 4 月 広島大学病院 未来医療センター 講師
 2019 年 4 月 広島大学病院 整形外科 准教授
 2020 年 4 月 広島大学大学院 医系科学研究科 整形外科学 准教授
 2024 年 10 月 宮崎大学 医学部 整形外科 教授

【所属学会】

日本整形外科学会（専門医，脊椎脊髄病医），日本脊椎脊髄病学会（指導医，専門医），
 日本再生医療学会，日本軟骨代謝学会，日本骨粗鬆症学会，西日本整形・災害外科学会

【評議員・代議員】

日本整形外科学会，日本脊椎脊髄病学会，日本再生医療学会，日本軟骨代謝学会，
 西日本整形・災害外科学会（理事）

【受賞歴】

1. 日本整形外科学会基礎学術集会 優秀ポスター賞 (2004)
2. 広島臨床外科医学会奨学金 (2004)
3. 広島大学学生表彰 (2005)
4. 中部日本整形外科災害外科 学会奨励賞 (2006)
5. 日本脊椎脊髄病学会 最優秀ポスター賞 (2006)
6. 広仁会基礎医学研究賞 (2006)

7. New Investigator Recognition Award, Orthopaedic Research Society (USA) (2011)
8. 日本脊椎脊髄病学会 Asia Traveling Fellowship (2013)
9. 広島大学大学院医歯薬保健学研究院教員表彰 (2015)
10. Best Presenter Award, Japan Association of Spine Surgeons with Ambition (2015)
11. 文部科学大臣表彰 科学技術賞 研究部門 (2020)

【外部資金獲得】

科研費 22 件（研究代表 5 件）
 AMED 5 件（研究代表 1 件）
 JST 2 件（研究代表 2 件）
 その他 5 件（研究代表 5 件）
 総額 5 億 5361 万円（研究代表のみ）

【特許】

脊髄損傷の予後予測を補助する方法（2018）第 6445237 号
 磁場誘導装置（2021）第 6942340 号
 磁場誘導装置（2022）第 7174207 号
 Meniscus Regeneration Material（2022）ZL201980065130.4
 半月板再生用材料（2024）第 7429929 号



亀井直輔教授ご就任に寄せて

国立大学法人広島大学学長 越 智 光 夫

亀井直輔先生宮崎大学整形外科教授就任おめでとうございます。亀井先生が長らく在籍された広島大学医局時代の思い出を書かせていただきます。

亀井先生と直接関係が出来たのは、私が島根医科大学から広島大学教授として戻った2002年ごろでした。その当時、亀井先生は広島鉄道病院に勤めながら、社会人大学院生という形で広島大学大学院に進まれていました。ただ、大学に顔を出すことはほとんどなく、面接した際、どんなリサーチをしているのか尋ねると、「臨床が忙しいので、そんな時間はありません」と、きっぱり言われたことを覚えています。大学院生だから研究をすると思っていましたが、全く興味がないという風でした。

その後、ある病院で講演をした際、前座の形で短い発表をされた若い先生が、脊髄と脳をスライスしてくっつけ、脊髄から脳への神経再生を調べる興味深い実験を発表されました。発表された先生は他大学の先生でその研究はその先生が大学を出たためそれ以降途切れてしまっていると聞き、「それなら広島大学で続けさせてほしい」と指導をお願いしました。指導を受けるように紹介したのが、若き亀井先生でした。先生はスライスのやり方などノウハウを教わりながら研究を始め、その研究成果は評価の高い雑誌に掲載され博士論文になりました。

以来、興味が湧いたのか、先生は精力的に実験に取り組まれるようになりました。モデルを工夫しながら、いろいろな成長因子や細胞を加えて神経再生が促進されるのか否かを調べ、研究を自分自身で手掛けるだけでなく、後輩の指導も積極的に行い、次々発表されるようになりました。結果的にアメリカを含め幾つかの学会で研究成果は受賞するようになりました。国内留学を経て教室のリサーチカンファレンスでは的を射た発言がどんどん増え、最終的には先生がカンファレンスをリードするようになりました。

もちろん知識だけではなく、メスを持つ経験もリーダーとしては不可欠です。脊椎領域で多くの治療実績を持つ公的病院の副院長に「若い亀井先生にメスを持たせてほしい」と迷惑だと思いましたが、お願いしました。先生は教室から毎週病院に通い、数多く手術を執刀し、時には専門家のアシスタントを務めたりするなどして臨床の技量を深め、後に大学の脊椎外科グループをチーフとしてけん引するまでになりました。こうして、いわゆる私も理想と掲げる academic surgeon としての地位を確立されていったのです。

私自身は生体で使用され、安全性が確保されているナノサイズの鉄粉を食べさせた間葉系幹細胞を体内に注入し、磁石で軟骨欠損の部位に誘導し、治す研究を基礎から臨床まで取り組んできていたのですが、亀井先生には最後の臨床応用のところを手伝っていただきました。部分的な膝軟骨欠損の5例のあとに行った変形性膝関節症の5例は彼なしにはやり遂げることは出

来なかったと思います。世界初となる臨床研究を最後までやり遂げることができたのは、亀井先生の尽力のおかげであります。

ご承知のように、亀井先生は立ち姿も格好良く物腰も非常に柔らかく、しかもアカデミックな思考と同時に、臨床医としての優れた技量をお持ちなので、同門会の皆様も安心しておられることと拝察しています。皆の意見を聞き教室運営の中心に据えるのではないかと拝察しています。彼の優しく、柔らかな持ち味が教授を継続していく中で例え世間の荒波に揉まれても基本的に変質しないことを願っています。先日の教授就任祝賀会にお招きいただいた際も、同門会を含め多くの先生方が力強くご支援くださっている様子を眺め、大変嬉しく思いました。私が1995年43歳で島根医科大学に赴任した際には医局員は私を含めて総勢僅か10人でした。宮崎大学整形外科は医局員の人数も多く、種々の専門家も揃っていて素晴らしい限りで、亀井先生にはこのような立派な教室を担当できることに感謝の念をもってもらいたいと思います。

「人生の扉は他人が開く」とよく言われます。人生でいろいろあったでしょうが、亀井先生のドアを最後に開いてくれたのは宮崎大学医学部の教授会だと思います。宮崎大学の先生方に「彼のドアを開いてよかった」と思っただけのよう、宮崎大学整形外科を日本を代表する教室にすべく、全身全霊で頑張ってくれることを期待しています。そして初代・木村千仞教授、二代目・田島直也教授、三代目・帖佐悦男教授によって作り上げられた素晴らしい宮崎大学整形外科で活躍する若い先生方のためにそれぞれに相応しいドアを次々と開いて行ってほしいと願っています。亀井先生、健康に留意し、頑張ってください。



亀井直輔先生の教授ご就任に向けて

広島大学大学院

医系科学研究科整形外科学 安達伸生

亀井直輔先生、宮崎大学医学部整形外科学教室教授ご就任大変おめでとうございます。

心より喜び申し上げます。

亀井先生は平成9年広島大学医学部を卒業され、広島大学整形外科学教室に入局されました。広島大学病院、吉田総合病院、松山赤十字病院、広島鉄道病院などの関連病院で研修されたのち、大学院に進学し、平成18年に博士号を取得されています。臨床では脊椎・脊髄外科を専門とし、広島大学整形外科脊椎グループのリーダーとして、数多くの高難度手術を行うとともに、臨床研究、基礎研究を展開し多くの業績を残され、広島大学整形外科のプレゼンス向上に大きく貢献されました。特に脊髄損傷に対する基礎研究分野においては、多くの大学院生が亀井先生の直接指導の下研究をおこない、学位を取得しました。最新医療機器の開発においては、越智光夫前広島大学整形外科教授（現広島大学長）が開発された「磁性化間葉系幹細胞移植による磁気ターゲティング治療」の臨床応用に大きく尽力されました。患者さんからの細胞採取、培養、細胞の磁性化、また磁性化細胞を適切な部位に誘導する外磁場装置の開発などにおいて中心的な役割を果たされ、多くの外部資金の獲得と同時に数々の特許も取得されました。それらの功績から平成20年に「文部科学大臣表彰—科学技術賞」を受賞されています（越智光夫先生、亀井直輔先生、安達の共同受賞）。令和元年より広島大学病院整形外科准教授、また令和2年より医系科学研究科の准教授として整形外科教室をアカデミックに支えていただきました。中学、高校時代から大学まで高身長を生かしてバレーボール部に属するスポーツマンでした。大分出身ながら小児期よりなぜか広島カープファンで、広島大学への進学の一歩の動機は「カープの試合が見られるから」だったと聞いています。広島大学整形外科サッカー部では一時期ゴールキーパーをしてもらったこともあり、一緒にサッカーをしたのも良い思い出です。また、亀井先生は辛いものが大好物です。広島名物のお好み焼き（「広島焼」と言ってもいいかもしれません・・・）では一味（赤唐辛子）を真っ赤になるぐらい大量にかけて食されます。体に良いのか悪いのかよくわかりませんが、宮崎地鶏を真っ赤にする亀井先生が目に見えます。体調にはくれぐれもご留意ください。最後になりますが、亀井先生の掲げる「楽しく働く」をモットーに亀井直輔先生ならびに宮崎大学整形外科学教室が益々発展されることを祈念しております。



亀井直輔教授ご就任に寄せて

宮崎大学名誉教授（第二代教授）

野崎東病院 名誉院長 田 島 直 也

亀井直輔先生、この度は宮崎大学整形外科第4代教授就任おめでとうございます。

宮崎大学整形外科教室、同門あげて歓迎します。

先生は、1997年に広島大学卒業後、広島大学整形外科に入局され、約20年間広島大学で臨床・研究に従事され、臨床では脊椎脊髄外科を、研究では主に脊髄や軟骨の再生医療に取り組んでこられたと伺っています。今後、先生の専門分野を中心に宮崎大学整形外科を発展して頂きたいと思います。

宮崎大学医学部は令和6年に開講50周年を迎え、今度、100年に向けスタートをきるころです。

この時期に、亀井先生が教授に就任されたのはまさに、時機を得たものだったと思います。

京都大学山室名誉教授は教授就任に際し、元京大総長 岡本道雄先生から、『教授たるもの 一に 勉強。二に 勉強。 三に 勉強。』とお話されたと伺ったことがあります。

教授たるものは時に孤独で辛いこともあると思いますが、先ず、健康を第一に考え宮崎から世界を目標に頑張ってもらいたいと思います。

今後、先生の御指導の下、宮崎大学整形外科の更なる発展を心から祈念し、お祝いの祝辞といたします。



亀井直輔教授ご就任に寄せて

宮崎大学名誉教授（第三代教授）

潤和会記念病院 帖 佐 悦 男

亀井直輔先生が令和6年10月1日付で宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野第4代教授に就任されましたこと、心よりお祝い申し上げます。亀井先生、誠におめでとうございます。

亀井直輔先生は、平成9年広島大学医学部を卒業後、広島大学医学部整形外科に入局され、臨床においてはJA広島厚生連吉田総合病院などの関連病院で研鑽を積まれました。研究面では理化学研究所に客員研究員として在籍され、数々の実績を上げられました。その後、大学に復帰されてからは、脊椎脊髄外科の臨床に加えて再生医療の研究を積極的に推進され、その成果は高く評価され、文部科学大臣表彰をはじめとする数多くの賞を受賞されています。特に、「磁性化細胞と磁場を用いた低侵襲再生医療研究」を現在も臨床応用に向けて精力的に取り組まれておられます。

また、先生はバレーボールの経験や熱心な広島カープファンであることからスポーツに造詣が深く、スポーツ医学の重要性を認識されています。スポーツ外傷や障害の治療のみならず、スポーツ庁の委託事業「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築事業」のより一層の推進にも取り組む必要性を語られています。

このたび、先生が宮崎大学に就任されてから半年を過ぎ、先生のお話をうかがう機会がありましたので、その内容を以下にご紹介いたします。

第一に、「楽しく働く」ことの重要性です。働き方改革の流れの中でワークライフバランスの必要性が高まる中、若手医師のモチベーション向上と臨床能力の育成を目的に、「アーリー・エクスポージャー（早期臨床経験）」が可能となる環境整備を進められています。大学院に在籍しながらも実践的な臨床経験が積めるような体制づくりを目指しておられます。

第二に、日常診療の中で抱いた疑問を研究に活かすことで、課題発見力や論理的思考力を養い、研究成果を臨床に還元することによって、自身のキャリア形成にもつなげてもらいたいと考えておられます。

第三に、今後の医療の担い手についてのお話がありました。地域枠の学生の卒業が増加する中で、医学部には多くの女子学生が在籍しています。女性医師がより働きやすい環境を整えることで、整形外科領域のさらなる発展が期待できると述べられていました。

今後、「再生医療」、「脊椎脊髄病学」と「スポーツ医学」をキーワードに、臨床・教育・研究の各分野において新たな「宮崎ブランド」を築き上げていかれるものと確信しております。

これからは、大学や病院内でのお仕事にとどまらず、学会でのご役職や各種委員会でのご活躍など、ますます多くのご依頼を受けられることと存じます。どうぞお身体にはくれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

あらためまして、教授ご就任、誠におめでとうございます。

亀井直輔先生ならびに宮崎大学医学部整形外科教室・同門のますますの発展を祈念し、お祝いの寄稿といたします。



亀井教授 祝御就任

宮崎県医師会 会長 河野 雅 行

この度、亀井直輔先生が整形外科第4代目の教授に御就任されました。おめでとうございます。教室も開講50年を迎えて、歴史は浅いながらも相応しい伝統ができています。歴代の教授の御指導の下で多くの学術的な実績に加えて様々な行事も根付いています。教室員も当初の少人数から大所帯になって、同門会も隆盛を迎えております。

一方、混沌とした現代社会において、あらゆる分野が厳しい状態にあります。医療、教育も例外ではありません。特に地域医療分野では様々な要因から崩壊の危機とも言われるほど深刻です。教育に関しましても同様で、国立大学と言えども安閑とはしておられません。国からの毎年数パーセントにも及ぶ予算削減により、しっかりした研究を行うための費用不足は深刻です。それでも、学会発表や論文提出の為の研究は欠かせません。科研費等を含めた外部資金の自己調達も積極的に取り組まねばならない時代です。教室運営も人員不足や経費面からみても昔ほど、楽では無いと思われます。

さまざま困難な状況下ではありますが、多くの優秀な整形外科医を育てられ、新たな業績を加えられて、更に新たな伝統を築いていただきたいと思います。今後は教室員のみでなく、私達同門会員も御指導いただきます様お願いいたします。

亀井教授並びに教室の今後の大いなる飛躍に期待します。おめでとうございます。



亀井直輔教授をお迎えして

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会 会長

ひらかわ整形外科クリニック 平川 俊一

令和六年の昨年に宮崎大学整形外科学教室は、開講 50 周年を迎えました。

同門会の会員の皆様にはこれまでの活動に御礼を申し上げます。この節目の年に亀井直輔先生を第 4 代目の教授としてお迎え致しました事は同門会にとりまして一つの御縁と感じております。当初は宮崎医科大学として開学致しましたがいつの間に五十年を過ぎており、以前には新設医科大学と呼ばれていた時期があったことを懐かしく思います。各種の学会発表におきましても症例の長期成績をまとめる程の期間を経ておらず、長い歴史のある大学からの演題発表をうらやましく感じたこともありました。

開講当時の木村千仞教授はリウマチ、関節外科を専攻され、田島直也教授は脊椎外科、スポーツ医学を専攻され、帖佐悦男教授は股関節外科、スポーツ医学、ロコモティブシンドロームの草分けとして活躍されました。亀井直輔教授の御専門は、臨床分野では脊椎外科、基礎研究分野では再生医学医療と伺っております。我々がこれまでに触れてきました整形外科の分野に加えて、更に再生医療といった新しい領域に私どもを導いて下さる事になり、新しい知識に触れることを大変楽しみにしております。関節軟骨の再生に限らず脊髄神経の再生、修復など多くの業績があられます。

私が整形外科を専攻しました時は、まだまだ部位別の専門を選ぶ時代でありました。それほど時を経ないうちにスポーツ医学やロコモなどの部位に縛られない括りが現れ、治療手段としては生物学的製剤の出現など、大きく変化を見せております。整形外科の医療、学問としての専門性も大きく変化を見せております。亀井直輔教授の専門とされる再生医学も、近い将来にブレイクスルーの時を迎え飛躍的に進歩することと思います。このブレイクスルーが亀井教授の御指導の下、宮崎大学整形外科学教室で行われる事を大いに期待いたします。

同門会の活動は教室の発展のため、また先生の支援に全力を尽くす所存です。更なる教室の発展を期待いたします。



亀井直輔教授御就任のお祝い

宮崎県整形外科医会 会長 川 越 正 一

2024年10月1日に、宮崎大学医学部整形外科講座の第4代教授に亀井直輔教授が御就任されました。宮崎県整形外科医会会員一同、心からお喜び申し上げます。

ご就任間もない昨年の11月16日には、宮崎県整形外科医会の研修会で亀井教授の特別講演をお聞きすることができました。当会の理事の強い希望があり、まだ先生が広島大学に在任中の時期に講演依頼のお話をさせていただいたところ、ご多忙の中引き受けていただきました。誠にありがとうございました。私たち会員の多くは、初めて先生のお話を伺うことができる機会でした。先生の素晴らしい御業績とお人柄を知ることができ、宮崎の整形外科をさらに高いレベルに引っ張っていただけると確信を持つことができました。

講演会の前の時間に、個人的に少し話をさせていただきました。少年時代から広島カープのファンで、出身地の大分から広島大学への進学を選択した一因と伺いました。広島では、カープのチームドクターなども務められ、球団との結びつきの強さもお聞きしました。3月の広島カープの日南キャンプには足を運ばれたのでしょうか。宮崎大学整形外科のスポーツ整形外科のさらなる発展も期待しております。

宮崎県整形外科医会は、理事や評議員として大学の先生方のご協力をいただいて運営しております。これからも整形外科医局のご協力をいただきますようお願い申し上げます。また、臨床面でも大学病院及び関連病院の先生方に、これまでも大変お世話になっておりましたが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

亀井直輔教授の今後のご健勝と先生を中心とした宮崎大学医学部整形外科のさらなる発展をお祈り申し上げ、私のお祝いのご挨拶とさせていただきます。



亀井直輔教授 ご就任おめでとうございます

宮崎県臨床整形外科医会 会長 黒木 龍二

亀井直輔先生、教授ご就任誠にありがとうございます。心よりお喜びを申し上げます。私共、開業医にとりまして大学との連携は必要不可欠であります。何卒よろしくお願い申し上げます。

私事で恐縮なのですが、私が大学在局中に手の外科を勉強していた関係で学会や研究会などで広島に行くことが多かったのですが、私の義兄が広島の府中出身で、かなり前の話なのですが広島カープに在籍していたこともあり（亀井先生がチームドクターを務めておられた時期より随分前です）、公私含めますと広島にはこれまで何度となく足を運んでおりました。また6年前には日本臨床整形外科学会研修会が広島で開催されまして、その次が宮崎の担当でしたので視察を兼ねて安達教授の講演会やオブショナルツアーなどで広島の臨床整形の先生方に変にお世話になりました。このように個人的に広島に縁があったせいか、亀井先生が次期教授に決まったとお聞きした時、まだお会いしてはいないのですが少しほっとした気が致しました。宮崎という慣れない土地で大変かと存じますが、宮崎も以前よりは便利になり、ご出身の大分県とは高速道路も繋がりまして少しだけ陸の孤島が解消されました。

来年日整会が100周年を迎えるわけですが、そのプロジェクトの一環で全国市民公開講座が開催されます。この公開講座の企画や運営を何故か各県の臨床整形外科医会を中心に大学、勤務医と連携して進めるよう日整会から指示があり大変戸惑っているところでございますが、亀井先生にご相談し宮崎県では2026年11月29日（日）に行うことが決定いたしました。臨床整形を中心と言いましても、これまで市民公開講座を開催してきた大学の先生方にご協力いただかなければ企画も運営も何もできません。この100周年事業につきましてはとくに亀井先生のご支援やご指導をよろしくお願い申し上げます。

2024年に更新されました厚生労働省の第3次健康日本21でロコモティブシンドロームの減少と骨粗鬆症検診率の向上が提言され、ロコモに関する提言は第2次に続き2期連続となりました。ロコモの予防や指導、骨粗鬆症の検診や治療においては、大学のみならず開業医が担うべき役割も大きくなってくると思います。これから私共開業医への益々のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが亀井先生におかれましてはお身体にはくれぐれもご自愛いただき、大学での教育、研究および臨床での先生の益々のご活躍、そして宮崎県の整形外科を牽引していただけますことを心より祈念いたしております。改めまして教授ご就任誠にありがとうございます。



亀井直輔教授ご就任をお祝いして

宮崎市郡整形外科医会 会長 坂本 康典

亀井直輔先生、この度の教授ご就任、心よりお祝い申し上げます。

私も今年度から宮崎市郡整形外科医会会長として就任したばかりで、宮崎市郡の整形外科の発展に僅かばかりでも寄与出来たらと思ってる次第です。

私は、平成元年度入局ですが、木村教授、田島教授、帖佐教授と教室出身の教授しか知らず、先生の教授ご就任に関しましては、一抹の不安を感じておりました。

そんな中、私が宮崎市郡整形外科医会会長就任のご挨拶にお伺いした際に、お忙しい中、先生の奢ることのない対応に先生の人柄の良さを伺い知ることができ、感銘を受けたことを憶えております。

先生も宮崎に来られて半年になりますが、先生のご活躍は、宮崎県の整形外科の発展にとどまらず、学界の発展に大きく貢献されるものと確信し、これからの先生のご活躍を心からお祈りしております。

くわえまして、我々宮崎市郡の会員の先生方にご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



整形外科教室の新たな船出に 期待を込めて

宮崎大学医学部附属病院

リハビリテーション部 教授 荒川 英 樹

このたびは、宮崎大学医学部整形外科教授にご就任されましたこと、誠におめでとうございます。これまで積み重ねてこられた数々のご功績が実を結び、このような晴れの日を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

亀井先生は、脊椎脊髄外科を中心とした高度専門医療の最前線において、数多くの患者さんと真摯に向き合ってこられました。その科学的根拠に基づいた丁寧な医療の実践は、多くの医療者に大きな刺激と学びを与えてきたものと存じます。一方で、整形外科における再生医療という新たな分野にも積極的に取り組み、基礎と臨床をつなぐ架け橋として、医学の進歩にも多大な貢献をされてきました。今後、この分野の実用化が進む中で、先生のご研究が極めて重要な役割を担っていくことは間違いありません。

また、医療を取り巻く環境が目まぐるしく変化する現在において、先生は「最先端かつハイレベルな医療の提供」を今後の重要な目標として掲げておられます。チーム全体のレベルアップを図りつつ、患者さんに信頼される医療体制の構築を目指しておられるその姿勢には、強い覚悟と展望が感じられます。地域の中核としての責務を果たしながら、さらに世界を見据えて情報を発信していこうとされるお考えは、これからの医療のあるべき姿を示すものとして、私たちに深い示唆を与えてくれます。

教育の面でも、先生の温かく前向きなご姿勢は、若手医師にとって大きな支えになると思います。「楽しく働く」——この言葉に、先生の人柄と教育観がよく表れているのではないのでしょうか。楽しさの中にやりがいを見いだすことができれば、医師としての成長も自然と加速していくはずです。若手が早期から経験を積み、積極的に挑戦できる環境を整えるとともに、誰もが気軽に意見を交わせる雰囲気づくりを大切にされていることは、これからの教室運営において何よりの強みになると確信しております。

整形外科は、生活者である患者さんの「動き」や「暮らし」に直結する、極めて実践的な医療分野です。だからこそ、治療の先にある人生を見据え、患者さんと共に歩もうとする姿勢が、何より大切なのだと思います。先生のもとで、この教室がより人間味にあふれ、挑戦と成長に満ちた場として発展していくことを、心から楽しみにしております。

結びに、亀井先生の今後ますますのご活躍と、宮崎大学医学部整形外科学教室のさらなるご発展をお祈り申し上げ、私からの祝辞とさせていただきます。誠におめでとうございます。



亀井直輔教授ご就任によせて

宮崎大学医学部整形外科学教室 田 島 卓 也

2024年10月1日付で宮崎大学医学整形外科の第4代教授として亀井直輔先生がご就任されました。心よりお慶び申し上げます。亀井先生がおられた広島大学医学部整形外科は越智総長、安達病院長をはじめとして本邦の膝関節分野をリードしている教室です。エンドボタンCLの開発、レムナント温存ACL再建術のコンセプト、ジャックの商品名で知られる再生医療の自家培養軟骨移植術、など多岐に渡ります。また、亀井先生ご自身は脊椎脊髄外科をご専門とされておりますが、再生医療として磁気を利用した培養軟骨移植術の開発を推進されております。日本そして世界の膝関節外科分野を牽引する広島大学出身の亀井先生を宮崎大学にお迎えすることになり、ご専門の脊椎脊髄分野のみならず宮崎の膝関節分野も今後より一層の発展が期待されます。また、今まで宮崎大学ではあまり縁のなかった再生医療関連分野が亀井先生主導で宮崎の地・宮崎の医局で進められることは大変喜ばしく、教室を次のステージに引き上げる原動力となるでしょう。

また、田島直也名誉教授、帖佐悦男名誉教授の体制から脈々と受け継がれてきたスポーツ医・科学、スポーツ整形外科の流れを今後も教室の柱の1つとして展開していただけることを大変嬉しく思います。亀井先生をはじめ多くの皆様のご尽力により2025年4月1日付けで宮崎大学医学部スポーツメディカルセンターが設立されました。我々はR5-8年度スポーツ庁委託事業「地域におけるスポーツ医・科学サポート体制構築」を展開しておりますが、今後は当センターで委託事業の事務局機能を引き継ぐとともに、宮崎県のスポーツメディカルの拠点として更なる発展を目指したいと思います。そして、亀井先生のご指導の下にリサーチマインドを持ち、膝関節分野およびスポーツメディカル分野で宮崎大学医学部整形外科教室の飛躍を支えて参りたいと思います。教室員・同門会一丸となって進んでいきましょう。



亀井直輔教授ご就任に寄せて

宮崎大学医学部整形外科学教室 中村嘉宏

この度は、亀井直輔先生の宮崎大学整形外科教授ご就任、心よりお祝い申し上げます。

前教授であられた帖佐悦男先生の時代より、私は医局長として短い期間ではありましたが、医局移行期に微力ながら関わらせていただき、ご指導いただきました事、心より感謝申し上げます。

亀井先生のスローガンである「楽しく働く」、「これを知る者はこれを好む者に如かず、これを好む者はこれを楽しむ者に如かず」、「Early Exposure」、この3つの理念が現在の医局員の間にしっかりと受け継がれ、医局全体の雰囲気も徐々に変化していることを日々実感しております。こうした中で、私自身も整形外科医として今後どのように生き、学び、成長していくべきかを改めて考える機会をいただいたものと感じております。

医局長としての立場から、ここ数年、多くの先生方のキャリアの節目やステージの移行に携わる機会をいただきました。家庭のこと体調のこと、自分の進みたい分野やりたい事、様々な理由でのキャリア変化のご相談をされ、悩まれているその姿を拝見する機会が何度かあったと思います。従来、多くの整形外科医は「専門医取得 → 臨床医・研究活動 → 引退」といった三段階のステージで整形外科人生を歩んでこられました。しかし、人生100年時代といわれる今、私たち整形外科医も医師人生が当然のように長期化し、型にはまらない多様な生き方を模索し、生涯を通じてさまざまな役割を果たしていける姿勢を築いていく覚悟が求められていると感じております。つまり年齢から推測される整形外科医としてのステージが一致しないことも飛躍的に増えてくる一方どの世代にも若さと柔軟性、新たな分野や未知なことへの前向きな姿勢がより要求されるように思えます。

「10年ひと昔」と申しますが、実際に医療の姿は近年で大きく変化しています。学び方はもちろん、手術の適応や術式、研究分野にも大きな変革が見られ、社会が整形外科医に求める役割も時代とともに変わりつつあります。当然、医学生、研修医、専攻医が求める医師像、働き方、医局に求めているものも、以前とは大きく変化しているように感じます。

こうした社会の変化に対して、「Early Exposure」を掲げられた亀井先生の方針は、まさに今の時代にふさわしい理念であり、これからの宮崎大学整形外科が国内外へと力強く発信していく原動力となると確信しております。

私自身もこの「Early Exposure」の理念に呼応し、「Explorer」の精神を自らの目標として掲げ、いつまでも学びの姿勢を失わず、若い考えと柔軟性を大切にしながら、若い先生方と一緒に「Brush up on」を意識して、亀井先生のご指導のもと、さらなる研鑽を積んでまいりたいと考えております。改めまして、この度のご就任を心よりお祝い申し上げます。



亀井直輔教授ご就任に寄せて

宮崎大学医学部整形外科学教室 山口 奈美

亀井先生、この度は教授ご就任誠におめでとうございます。

ご着任に合わせてぞくぞくと届くお花や観葉植物（届いたお花の中に、広島東洋カープのオーナーのお名前を見つけて驚いたのは私だけではないと思います）の華やかさと少しの緊張感の中で亀井先生をお迎えして、早いもので半年が経ちました。

亀井先生とは専門が異なることもあり、学会などでお会いする機会もなく面識がありませんでしたが、ご出身が大分でスポーツに造詣が深いという噂をお聞きし、勝手ながら親近感を覚えていました。

先生がこれまで広島大学で培ってこられたノウハウを是非われわれに落とし込んでいただき、新たな宮崎大学整形外科学教室として先導いただければと思います。私も微力ながらお力になれるよう、スポーツ現場での活動と後進の育成に努めてまいります。

今後ともご指導の程どうぞよろしくお願いいたします。





亀井直輔先生の宮崎大学医学部 整形外科教授ご就任を祝して

宮崎大学医学部整形外科学教室 黒木修司

このたび、亀井直輔先生が2024年10月より宮崎大学医学部整形外科教授にご就任されましたこと、心よりお祝い申し上げます。先生のご就任は、整形外科教室のさらなる飛躍に向けた新たな一歩であると同時に、私自身にとっても大きな節目となりました。

私が宮崎大学整形外科に入局したのは2002年。当時は田島直也教授が教室を率いておられ、私はその最終年に医師としての第一歩を踏み出しました。伝統ある教室の雰囲気と、温かくも厳しい先輩方のご指導のもと、整形外科医としての基礎を学ぶ貴重な一年であったと、今でも強く記憶しております。

その後、2004年には帖佐悦男教授がご就任され、教育・研究・診療の三本柱を力強く推進されました。私自身も、臨床だけでなく大学院での基礎研究に取り組み、さらに教育医長として学生や研修医の指導にも携わらせていただきました。教室の中で多様な役割を経験する中で、整形外科医としての視野を広げることができたのは、教室の環境と指導体制の賜物であると感謝しております。

そしてこのたび、教室の歴史において四代目の教授として、亀井直輔先生をお迎えすることとなりました。亀井先生は、脊椎外科領域における高い専門性と豊富な臨床経験を有するのみならず、磁気ターゲティングを応用した軟骨再生に関する研究など、多くの基礎的な研究でも優れた業績を挙げてこられました。一緒にお仕事をさせていただき、その卓越した技術と学術的見識に加え、常に温厚かつ真摯なご姿勢は、本当に驚くことが多く、私たち医局員だけでなく学生やコメディカルスタッフを含めた教室内外の多くの人々にとって、信頼と安心の源となっ
ていてと感じています。また日々の診療やカンファレンスにおいても、後輩や学生に対して常に丁寧で分かりやすいご指導をくださり、適度な緊張感と和やかな雰囲気が同居する、理想的な教育環境が形成されていると感じており、専攻医や研修医へのきめ細やかなご配慮にも、深い敬意を抱いております。

今後、亀井先生の豊かなご経験と温かなご人柄が、宮崎大学整形外科教室をさらに発展させ、地域医療の中核として、また次世代を担う整形外科医の育成拠点として、ますますのご活躍を遂げられることと確信しております。

末筆ながら、亀井直輔先生のご就任をあらためて心よりお祝い申し上げますとともに、微力ながら医局長として「亀井整形外科教室」の運営をお支えできれば幸いに存じます。



亀井直輔教授の ご就任をお祝いして

宮崎大学医学部整形外科学教室 大田 智美

このたびは亀井直輔先生の宮崎大学医学部整形外科教授ご就任、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

先生のご就任にあたり、私たち後輩一同、喜びとともに身の引き締まる思いです。日々のご指導を通じて感じておりますのは、先生の温厚で誠実なお人柄、後輩一人一人に対する細やかな配慮です。臨床・研究のいずれにおいても学ばせていただくことが多く、自分もそうありたいと思っています。先生が宮崎にいらして間もない頃、私の島根大学在学中の同級生が、広島大学で先生にご指導いただいていることを知り、初対面でしたがどこか親しみを感じながらお話しできたのをよく覚えています。

亀井先生は脊椎外科ですが、広島大学は手外科の分野で著名であり、私自身も手外科医であることから、学会等で広島大学の先生と接する機会が多くあります。先日開催された日本手外科学会では、広島の手外科チームの先生方から「亀井先生が広島を離れられたのは本当に寂しい」とのお話を伺い、先生がいかに多くの方々に信頼され、慕われてきたのかを、あらためて感じました。

宮崎でのご活躍は、私たちにとって大変心強く、今後とも先生のご指導のもと学ばせていただけることを、心よりありがたく思っております。先生のますますのご発展とご健勝をお祈り申し上げます。



亀井直輔教授ご就任をお祝いして

宮崎大学整形外科学教室 比 嘉 聖

亀井直輔先生、このたびは宮崎大学医学部整形外科教授ご就任、誠におめでとうございます。宮崎大学整形外科教室に新たなリーダーとしてお迎えし、日々その存在の大きさを実感しています。

脊椎外科の高度な技術と知識、そして再生医療という先端分野に果敢に取り組まれる先生の姿勢に、私たちは大きな刺激を受けています。ご就任当初は、手術手技や診療体制が大きく変わるのではないかと、不安の声も少なからずありました。しかし、先生は医局員一人ひとりと面談を行い、私たちの声を真正面から受け止めてくださいました。そして意見を尊重しながらも、エビデンスに基づいた冷静かつ的確なご提案を次々と示してくださっています。私たち脊椎班はこれまで、先輩方から受け継いだ術式や治療方針を軸に診療を行ってきました。もちろん、それらの経験は大切な財産です。しかし、先生からの新たな視点やエビデンスに基づく治療方針に触れ、今後はそれぞれの医師が主体的に考え、文献にもあたりながら診療を行っていく必要があると強く感じるようになりました。

また、大学以外にも脊椎手術ができる施設が増えつつある中で、宮崎県全体の脊椎医療が、より進化していくことを確信しております。

さらに、若手医師の声にも耳を傾けてくださり、当直を見直し、外勤の機会を増やすなど、医局員のライフワークバランスを考えてくださる姿勢には深く感謝しています。先生の掲げるスローガン「楽しく働く」という言葉のとおり、日々の診療にも前向きに取り組むことができます。医学生や研修医が見学に訪れた際にも、「整形外科っていいですね」「医局の雰囲気がとても良いですね」と感じてもらえるような教室になっていけばと、心から願っています。

最後に先生はご自身のスケジュールを Google カレンダーでオープンにされており、その姿勢からも開かれた医局運営を実感しております。一方で、あまりに過密なスケジュールを拝見し、時に先生のお身体が心配になることもあります。どうかご無理なさらず、体調にはくれぐれもお気をつけください。これからも、宮崎の整形外科医療の発展のために、どうぞご活躍をお祈りしております。



亀井直輔先生宮崎大学整形外科 教授ご就任のお祝い

宮崎大学医学部整形外科学教室 日 吉 優

このたびは、亀井直輔先生が宮崎大学医学部整形外科学講座の教授にご就任されましたこと、心よりお祝い申し上げます。若輩ながらお祝いの言葉を記したいと思います。

先生におかれましては、これまで広島大学整形外科において臨床・研究・教育の各分野で多大なる御功績を挙げられ、御尽力されてこられたことと存じております。

研究・臨床と、先生その豊富な御経験と卓越した御指導力が存分に発揮され、今後の宮崎県全体の整形外科の新たな道につながるものと信じております。

宮崎だけに留まらず、整形外科医療の更なる発展のために、先生の御就任が新たな一歩となりますことを心より祈念申し上げます。



亀井教授就任祝辞

宮崎大学医学部整形外科学教室 今 里 浩 之

亀井先生、宮崎大学整形外科の教授就任おめでとうございます。

広島から大分を超えて、宮崎にお越しいただき、本当にありがとうございます。

先生とまだ短い時間しか過ごしていませんが、宮崎大学整形外科がもっとよくなると確信しております。面白い医局にできるよう、若い先生方が輝く未来への船頭を今後どうぞよろしく願いいたします。私も、私自身が整形外科医を選んでよかったと何度も思える医者人生を達成し、面白い人生になるように、日々努力していきたいと思っております。

エナジーみなぎって頑張りますので、よろしくお願いいたします。



亀井直輔先生教授御就任に寄せて

宮崎大学医学部整形外科学教室 長 澤 誠

このたび、亀井直輔先生が宮崎大学医学部整形外科学講座の教授にご就任されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

広島大学で長年にわたり、脊椎外科を中心とした臨床・研究・教育に尽力され、多くのご業績と後進の育成に携わってこられた亀井先生が、宮崎の地に新たな歩みを進められたことを、私たち教室員一同、大変心強く、また誇らしく感じております。

「江夏の21球」に心を動かされて広島東洋カープのファンとなられ、その思いを胸に広島大学へと進学されたというエピソードからは、先生の揺るぎない野球愛を感じます。

そのような先生がこの宮崎に来てくださったことは、日頃から幅広い年齢層の野球選手を診察し、また現場に帯同している私たちにとって、何よりも心強く感じる出来事でした。カープのチームドクターとしてプロ野球の現場に関わってこられたご経験を、今後私たちにご指導いただけることを心より楽しみにしております。

これから新たな体制のもと、宮崎大学整形外科がさらに飛躍していくことを確信しております。

先生のご就任を改めてお祝い申し上げるとともに、今後のさらなるご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



亀井直輔教授ご就任にあたって

宮崎大学医学部整形外科学教室 永井 琢 哉

このたびは、宮崎大学整形外科の教授にご就任され、誠におめでとうございます。心より歓迎申し上げますとともに、今後のご指導を仰げますことを大変嬉しく存じます。

先生には日頃より多くのご指導をいただいておりますが、なかでも私が常に感銘を受けているのは、臨床・研究・教育すべてにおいて一貫した科学的視点と、理路整然としたご判断です。研究や論文など、エビデンスに基づいた先生のご講演は非常に明快で、常に要点が整理されており、聞く者の理解を自然と深めてくださいます。その論理的な展開と熱意ある語り口に、毎回引き込まれる思いで拝聴しております。

また、先生のお言葉の中でも特に心に残っているのが、「我々が太谷翔平選手の活躍を見て自然に誇らしさを感じるように、自分たちの教室の一員が学会発表や日々の臨床で努力している姿を見て、同じように誇らしいと思えるような教室にしたい」というお考えです。この言葉には、メンバー一人ひとりの努力を尊重し、互いに高め合える温かな教室の在り方が凝縮されており、私自身、大きな共感と感動を覚えました。

先生の行動力と実行力には、日々感嘆させられます。UBE や脊椎ロボットといった先進的な手術機器についても、その必要性を的確に見極められたうえで、驚くほど迅速に予算を確保され、導入を実現されました。あるカンファレンスの終了後、先生がふと「予算、取れたからロボット入るよ」と何気なくお話しされたその一言には、あまりに自然な口調でありながらも、その背後にある周到な準備や的確な判断、強力な推進力を思うと、ただただ尊敬の念を禁じ得ませんでした。

さらに、先生が常に強調されている「ザッソウ（雑談のように相談する）」という姿勢も、我々若手にとって非常に心強いものです。相談というと構えてしまいがちですが、先生はあえて雑談のように声をかけることを勧めてくださいます。そのおかげで、ちょっとした疑問や不安も気軽に打ち明けられる雰囲気があり、安心して相談や発言ができる雰囲気が、職場全体に自然と広がっていることを実感しております。このような環境の中で、若手が挑戦を楽しみながら成長できることは、何よりの財産です。

先生のご就任は、私たちにとって非常に心強く、また誇らしい出来事です。今後、宮崎大学整形外科がさらなる発展を遂げ、多くの優れた人材が育っていくことを確信しております。私自身も、先生のご指導のもと、一層精進し、教室の一員として貢献できるよう努力を重ねてまいります。

改めまして、教授ご就任、誠におめでとうございます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



亀井直輔教授ご就任をお祝いして

宮崎大学医学部整形外科学教室 山口 洋一朗

このたび、広島からいらっしゃった亀井先生が、宮崎大学整形外科の教授にご就任されたことを、心よりお祝い申し上げます。

先生のこれまでのご活躍とご業績については、以前より噂に聞き、常に感服しておりました。特に臨床の第一線に立ちながらも研究活動を絶やさず、いずれにおいても高い成果を上げてこられたその姿勢には深い敬意を抱いております。日々の診療や教育の場で直接ご指導を仰げることとなり、一医局員としてこの上ない喜びを感じております。

ご趣味が株式投資であると、日本整形外科学会の広報誌で拝見したことがあり、整形外科との共通点に思いを馳せました。病態を的確に分析し、リスクとリターンを見極めながら治療戦略を立てる姿勢は、まさに投資の世界と通じるものがあります。どちらも短期的な成果ではなく、未来の「価値創造」を見据えた判断と継続的な努力が求められる点で、共鳴するものがあると感じております。

そして、ここ宮崎は温暖な気候と豊かな自然、温かい（そして少しだけスローペースな）人々に囲まれた素晴らしい土地です。海の幸も陸の幸も、海幸彦山幸彦などの神話なども、日々の喧騒を癒す多くの魅力が詰まっています。また、季節ごとに移り変わる風景（暑い期間が長いですが）や、地元の伝統行事も心を和ませてくれます。先生にとって、宮崎での生活が心豊かで実り多きものとなり、ご家族ともどもこの地で穏やかに、そして充実した日々をお過ごしいただけますよう、心より願っております。

これからの宮崎大学整形外科が、先生のもとでより一層発展していくことを願い、私自身もその一助となれるよう努力してまいります。



亀井直輔教授ご就任に寄せて

宮崎大学医学部整形外科学教室 森田雄大

亀井直輔教授

このたびはご就任、誠におめでとうございます。

先生のこれまでの卓越したご研究やご業績について、以前より拝察しておりました。そのため、新たに医局を率いてくださることに大きな期待を寄せております。

これまで私は臨床業務を中心に携わってまいりましたので、医局の雰囲気がどのように変化するのか少なからず緊張を感じておりました。しかしながら、先生が「臨床も研究も大切にする」というお考えをお持ちであることを知り、深く安心するとともに、自らもより幅広く学び、取り組んでいきたいという気持ちが強くなりました。

「楽しく働く」という先生のモットーのもと、日々の業務を充実させながら、さまざまなことに関心を持ち、積極的に挑戦を続けてまいりたいと存じます。さらに、先生が広島大学ご出身であり、幅広いご交友関係をお持ちであると伺っておりますので、他大学との交流を通じて医局としても成長できればと願っております。

私自身、研究面ではまだまだ課題が多くございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



亀井直輔教授就任祝辞

宮崎大学医学部整形外科学教室 横江 琢 示

亀井直輔先生、この度は宮崎大学医学部整形外科学教室教授就任、誠におめでとうございます。これからどうぞ宜しくお願い致します。

亀井教授が掲げられている、「楽しく働く」を実践できるように医局員一人一人が日々挑戦しながら成長していくことが必要であると考えます。楽しければ疲れていても疲れを感じずに頑張れるのは魅力的です。この提言は「世界を視野に地域から始めよう」という宮崎大学のスローガンとも共通するものと考えます。宮崎大学は地方大学であり、医局員も少なく病院数も少ないことを考えると大学の機能である研究活動にさく時間が限られるのも事実であると考えます。しかしながら日常診療だけをこなすだけでは宮崎大学医学部整形外科としての存在意義が問われてしまいます。日常診療において多数存在する clinical question に各々が真摯に向き合い、限られた環境において私たちができることは何なのかと追及することで少しずつ研究活動およびその成果としての学術論文の輩出が増えていくと理想であると考えます。研究活動、グラントの獲得、英語論文作成および指導に卓越された亀井教授を迎えた今、私たちもその船頭の下、皆で刺激しあいながら切磋琢磨していこうではありませんか。

また、「Early Exposure」という若手医師には大変大切な提言もしていただいております。

早期に臨床および研究面で様々な事を経験および習得することで、世界観および人脈が広がり、その後の整形外科医としてのキャリア形成に大きな影響を与えうる考えだと思います。

国内、国外には優秀な整形外科医、想像もつかないアイデアを有する整形外科医がたくさんいることを知り、そのような先生方と交流することはかけがえのない経験および刺激になりうると考えます。一人でも多くの若手整形外科医師がこのような経験を若いうちにすることの重要性を、私も微力ながら訴えていきたいと考えます。

最後になりますが、亀井教授の下、医局員一同が協力して我が医局が多局面においてますます発展していくことを祈願いたします。多くの医学部生が我が医局に魅力を感じ入局していただけるような、そんな存在でありたいと思います。この度は、宮崎大学医学部整形外科学教室教授就任、誠におめでとうございます。引き続きよろしくお願い致します。



亀井直輔教授ご就任に寄せて

宮崎大学医学部整形外科学教室 藤田貢司

亀井先生、このたびは宮崎大学整形外科教授にご就任されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

患者さんへの温かい対応や若手医師への丁寧な指導からは、先生のお人柄の良さと真摯な姿勢がいつも感じられます。

私自身、先生のご縁で広島大学に国内留学する機会をいただいておりますが、広島先生方からは「亀井先生が教授になられて宮崎大学が大変羨ましい」とのお言葉をいただいております。先生が多くの方から信頼され慕われていることがよく伝わってきました。

現在は広島大学で骨軟部腫瘍を勉強させていただいておりますが、臨床・研究ともに非常にハイレベルで、この貴重な経験を宮崎に戻ってからもぜひ活かしていきたいと考えております。

また、医局員がより働きやすい環境づくりに取り組んでおられることを身近に感じております。こうしたご尽力は、医局全体の活性化と今後の発展に大きく寄与するものと確信しております。

教授として新たなご活躍の場で、さらにご発展されることをお祈りするとともに、どうかご健康にも十分お気をつけて、益々のご活躍をお祈りいたします。

改めまして、ご就任誠におめでとうございます。



広島大学の先生方と



亀井直輔教授ご就任をお祝いして

田野病院 渡邊 信二

亀井直輔先生を、宮崎大学医学部整形外科学教室の新たな教授としてお迎えすることとなり、同門および医局員の一人として心よりお祝い申し上げます。先生は長年にわたり整形外科領域において優れた研究業績を積み重ねてこられ、その学術的な功績と豊富な臨床経験、加えて指導者としての卓越したお人柄は、多くの医師・研究者から高く評価されているとお聞きしております。

そのような先生をお迎えできたことは、教室にとってこの上ない喜びであり、今後の飛躍的な発展への大きな原動力になるものと確信しております。特に、日進月歩の医学研究において、基礎と臨床の架け橋となるような先進的な取り組みが進められることで、我が教室が学術的にも国内外での存在感をさらに高めることが期待されます。

また、若手医局員の育成においても、先生のご指導のもと、個々の能力が最大限に引き出され、次代を担う優秀な整形外科医が多数育っていくことでしょう。専門性の深化と同時に、広い視野を持った人材育成が進められることは、教室の継続的な成長にとって何よりも重要です。

さらに、地域に根差した医療の推進や、患者に寄り添った質の高い診療の提供、関連病院との連携強化など、整形外科教室としての社会的責任もますます重要になってきております。新体制のもとで、地域医療への貢献が一層進み、これまで以上に円滑な病診連携が図られることを期待しております。

亀井先生のご就任を機に、我が教室が伝統を守りつつも、時代の変化に柔軟に対応しながら、さらに発展していくことを心より祈念いたします。



亀井直輔教授をお迎えして

野崎東病院 久保 紳一郎

亀井直輔先生、教授ご就任、誠におめでとうございます。

まずは新進気鋭の脊椎外科御専門の教授が着任されたことを、同じ脊椎外科医のひとりとして大変心強く嬉しく思います。

亀井先生は、「優れた臨床研究者」かつ「基礎医学（再生医療）研究者」という整形外科教授の中でも稀有な「2刀流」で、その一方ならぬ熱意は若い整形外科医に必ず伝播するものと確信致しております。近い将来宮崎から基礎と臨床が密接に結びついた素晴らしい研究成果が発信されることが大いに楽しみです。常々「脊椎外科医は除圧と固定しかすることがない」とからかわれますが、将来、椎間板や神経組織に対する再生医療が可能になる日が来るのを密かに期待致しております。

一方、広島からということで宮崎ののんびりした「てげてげ」文化に戸惑われることが多いだろうと少々危惧致しておりました。お隣の大分御出身とお聞きして少しだけ胸をなでおろしておりますが、いかがでしょうか…？

広島大学といえば言うまでもなく日本の手の外科の総本山であり、若かりし頃？私もマイクロサージェリーに憧れて32年前に第7回広島マイクロサージェリー講習会に福田健二先生と二人で参加させて頂きました。当時の生田教授はじめ教室員の先生方にマウスの血管縫合を手取り足取り熱心に御指導して頂きましたが、広島大学整形外科教室全体の熱意と一体感にとっても感動いたしました。その後、私自身は田島教授の下で脊椎の基礎を教わりましたが、当時から広島大学の先生方によって脊椎外科におけるマイクロサージェリーの有利性が報告されていました。そこで、個人面談の際に田島教授に、「マイクロサージェリーをやらせてください」と申し出て、その後手探りで経験を重ねて側弯症などを除くほぼすべての脊椎手術は顕微鏡視下手術に移行していきました。近年、様々な内視鏡手術手技が開発されていますが、私自身は顕微鏡視下手術の安全性・利便性から脱却できずに？現在に至っております。

今後は大学とより密に連携させていただいてより up to date な知識と技術を取り入れていけたらと思っておりますので、御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、教授職は学問の最高職であると同時に最高の激務かとお察し致します。医師の働き方改革が喧伝されている昨今、宮崎での生活を楽しんで頂きつつくれぐれもお身体に気を付けて宮崎大学整形外科教室の発展のためご尽力いただければ幸いです。



亀井直輔先生 教授就任に寄せて

国立病院機構宮崎東病院 黒木浩史

令和6年10月、新たに第4代宮崎大学医学部整形外科教授にご就任された亀井直輔先生に、心よりお祝い申し上げます。

亀井先生は、1997年に広島大学を卒業され、その後長年にわたり脊椎脊髄外科医として、また再生医療を専門とする研究者として多大なご功績を挙げられてこられました。特に、再生医療における先進的な研究は、整形外科分野において広く注目を集めており、これまでの実績は、難治性の疾患と対峙しておられる患者さんに新たな希望を提供しています。

さらに、亀井先生は、宮崎に赴任される前、広島大学医学部整形外科学教室の准教授として多くの後進を指導し、医療現場における実践的な手技の伝承のみならず大学院等での研究の実施、論文の作成にも力を尽くされてきました。これまで、そのご指導の下で育った多くの医師や研究者が、今後の医療界を牽引していくでしょうし、これからは、先生が宮崎大学医学部整形外科学教室をどのように進化させていくのか、非常に楽しみであり期待に胸が膨らみます。

現代社会において、亀井先生のご専門である脊椎脊髄外科と再生医療は、ますます重要な領域となりつつあります。脊椎脊髄疾患に悩む患者さんにとって、そして再生医療を必要とする多くの病者にとって、先生の診療技術や研究成果がもたらす未来には大きな希望を感じます。将来、先生のご活躍がこれら両分野における発展を一層加速させることを確信しております。

最後に、亀井先生のご健康と今後のますますのご成功をお祈り申し上げます。また、亀井先生が率いる宮崎大学医学部整形外科学教室がさらなる成長を遂げ、素晴らしい業績を上げるとともに多くの優れた医療人材を輩出することを心より願っております。



亀井教授就任のお祝い

宮崎県立こども療育センター 川野 彰 裕

この度、亀井直輔先生が第4代の宮崎大学整形外科教授に就任されましたことを、心よりお祝い申し上げます。開講50年という節目の年に、広島大学から天孫降臨の異国の宮崎大学の教授にご就任されたことは何かの導きがあったからではないかと感じました。

亀井教授は私と同世代であり、同じ時代に生まれ、同じ時代の教育、研修を受けてこられたと思いますので、失礼ながら親しみやすさを勝手に思っています。しかしながら、ご存じのように亀井教授は私などとは比較にならないくらいの数多くの実績（診療、研究、論文など）があり、特に再生医療に関しては、最先端の研究で結果を残し評価されております。素晴らしいリーダーを迎え入れたことは宮崎の医療にとって非常に喜ばしいことと思います。

亀井教授が就任されて最初の学会が鹿児島で開催された第148回西日本整災であり、「運動器再生研究と実用化への取り組み」という教育研修講演をされました。若手の先生に聴いてほしいということではありましたが、基礎研究に疎い私には非常にわかりやすい内容で、引き込まれていきました。危うく、自分が担当の小児整形外科セッションの座長をすっぽかすところでした。広島大学から宮崎大学の教授に就任されたということで、私にいろいろと探りを入れてくる九州の他大学の先生もいらっしゃいました（笑）。12月には第89回の宮崎整形外科懇話会をご担当されましたが、奇しくも主題・特別講演が小児整形外科であったため、終了後の会食をご一緒させていただきました。関連病院勤務なので、なかなかゆっくり会食や雑談する機会がないため貴重な時間でした。すごく生真面目であると勝手な印象でしたが、雑談にも大きな引き出しをお持ちのようで、いろんな話で盛り上がり親しみやすさを感じたところでした。

亀井教授は、臨床もさることながら研究や論文作成などの大切さをよく口にされます。私も帖佐前教授のもとで大学院に進学して、研究（臨床研究でしたが）を行い、結果を論文として作成し卒業させていただいた経験があります。普段の診療・臨床の結果をまとめて、発表し、それを文字にすることは医師としては非常に大切なことだと考えています。亀井教授のご指導のもと、宮崎大学整形外科教室からたくさんの研究・論文が発表されることを期待すると同時に、自分自身も今後も臨床・研究・論文作成と一生懸命取り組んでいきたいと思っています。

最後に、亀井教授の今後のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げ、われわれ教室員と共に宮崎大学整形外科教室がますます発展することを祈念しお祝いの挨拶とさせていただきます。



令和6年12月 宮崎整形外科懇話会後の食事会にて



亀井直輔教授御就任をお祝いして

JCHO 宮崎江南病院 益山松三

亀井直輔先生、このたびの宮崎大学医学部整形外科教授への御就任、誠におめでとうございます。

宮崎江南病院は脊椎圧迫骨折や脊柱管狭窄症など脊椎関連疾患の入院症例が多い為、当院で定期的に御指導して頂くことをお願いしてから、はや半年になります。当初予定されていた外来加療の他に、脊椎手術の執刀まで担当して頂き、心より御礼申し上げます。わずか半年の短い期間ではありますが、再生医療研究分野での御実績のみならず、脊椎手術における亀井先生の卓越した技術を目の当たりにして、素晴らしい指導者を宮崎に迎え入れることができた喜びを感じずにはられません。

当院は手外科、膝関節外科、外傷を中心にした手術加療を主に行ってきましたが、亀井教授の御指導のもと、脊椎手術症例もさらに増やして頂ければ幸いです。また、回復期リハビリ病棟・地域包括ケア病棟・地域包括医療病棟の存在をフル活用して、宮崎大学附属病院整形外科・救急部をはじめとした周辺急性期病院からのポストアキュート転院や下り搬送応需を迅速に行い、各病院のベッドコントロールに少しでも貢献することが地域医療における当院の大事な使命だと認識しています。

亀井教授の描かれる宮崎大学整形外科教室の短期、中長期的ビジョンが達成されます様に、関連病院として最大限尽力していく所存です。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。



亀井直輔教授ご就任にあたって

宮崎善仁会病院 黒田 宏

このたびは、宮崎大学 感覚運動医学講座整形外科学分野 教授御就任、心よりお祝い申し上げます。

広島大学において長きにわたり御活躍された先生が宮崎に来て下さり、宮崎の医療を支え、また我々医局員をご指導して頂ける事に感謝いたします。

就任の挨拶にありました、亀井教授の「楽しむためには、適度な挑戦が不可欠です。」という言葉には非常に共感しました。今後も若手の先生たちが成長できる場を提供できるように、頑張りたいと思います。今後の御指導・御鞭撻の程、宜しくお願い致します。



亀井教授就任祝辞

宮崎市郡医師会病院 森 治 樹

亀井教授、就任おめでとうございます。ついに自分より年齢の若い教授が就任したことに驚きとともに月日の流れを感じざるを得ません。慣れ親しんだ広島を離れ宮崎での新しいチャレンジに不安もあるでしょうが、それ以上にやりがいを感じているのではないのでしょうか。臨床一筋の私とは違い、研究にも力を注がれている亀井教授には医局のトップとして整形外科のますますの発展を期待しています。



亀井直輔教授ご就任に寄せて

潤和会記念病院 川野 啓介

亀井教授 このたびは教授ご就任、誠におめでとうございます。

これまでのご研究に対する長年のご尽力と、輝かしい功績が認められたものと存じます。

先生の深い学識と卓越した研究手腕は、多くの医局員にとって常に大きな刺激となっており、今回の教授ご就任は、私達にとっても大変喜ばしい限りです。

今後、先生のリーダーシップのもと、宮崎大学整形外科がますます発展し、新たな知見が次々と生み出されることを確信しております。また、教育者としても、これからの未来を担う若手医師たちの育成にご尽力されることと存じます。

先生の今後のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。



亀井教授就任の祝辞

国立病院機構 宮崎病院 安藤 徹

亀井直輔先生、教授ご就任おめでとうございます。

今後ともよろしくお願いいたします。

教授就任後のご挨拶で当院院長とお伺いしました時は、非常に温和で落ち着いた印象がありました。

研究の第一人者とはこのようなお人柄なのかと感銘を受けたのを覚えています。

初めての宮崎で同志の教室員と新たな未来を創っていくことは時間もかかりご苦労も多いとは思いますが宮崎の医療のためにご尽力いただきますようお願いいたします。

亀井先生のこれまでの豊富なご経験を生かされ益々のご発展、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。



亀井直輔教授就任祝辞

藤元総合病院 整形外科 矢野 浩 明

亀井先生、宮崎大学整形外科第4代教授に就任されましたことを心よりお祝い申し上げます。
この度は誠におめでとうございます。

就任されてまだ間もないですが、宮崎の地には慣れてこられたでしょうか。

先生とお会いして話を伺ったのは、同門会など数回ですが、その話の中で学生時代はバレーボールプレイヤーとして、広島ではカープのメディカルサポート面からもスポーツに関わってこられており、これまでの当教室のスポーツメディカルの取り組みも継承しつつ、新たな取組にも意欲を燃やされているのを感じました。

当院は都城地区の関連病院の中で脊椎関連手術が可能で、黒木先生が中心となって精力的に取り組んでいます。ご多忙とは存じますが、機会がありましたら当院でも手術等ご教授いただければ幸いです。

これから、学会・研究会・同門会・野球大会などで接する機会も増えて来ると思いますが、その際はどうぞよろしくお願い致します。

教室員一丸となって教室を盛り上げていけたらと思っています。これからのますますのご活躍をお祈り申し上げます。



亀井教授就任祝辞

小牧病院 坂本 武郎

このたび、亀井直輔教授が昨年10月に宮崎大学医学部整形外科学教室の教授として着任されたことに、心よりお祝い申し上げます。

亀井教授は、これまで広島大学において整形外科領域、特に脊椎外科および再生医療分野を中心に数多くの実績を挙げてこられました。特に関節外科・再生医療分野における研究は高く評価され、国内外の学会や専門誌において数多くの発表や論文を通じて、その卓越した専門性を示してこられました。また、後進の育成にも情熱を注がれ、多くの優秀な医師・研究者を輩出されています。

宮崎という地は、自然豊かな風土と温かい人々に恵まれた場所ではありますが、一方で、整形外科領域においては高齢化の進展に伴い、脊椎・関節疾患や骨粗鬆症関連骨折など、地域特有の医療ニーズに直面しています。そうした状況の中で、亀井教授のように臨床・研究・教育のすべてにおいて優れたリーダーが新たに加わってくださることは、地域医療にとって非常に心強く、また次世代の医師育成にとっても大きな希望となります。

私は、教授が着任された昨年10月から今年の3月までの半年間、同じ教室で勤務する機会をいただきました。その間、日々の業務を通じて感じたのは、亀井教授の真面目で丁寧な姿勢、そして人を包み込むような温厚なお人柄でした。医局の雰囲気も自然と和らぎ、スタッフ一人ひとりが安心して仕事に取り組めるような空気を作ってくくださったことに感謝しています。年齢的には私の方が上ではありますが、亀井教授の整形外科医としての知見の広さ、そして物事に対する冷静な判断力や落ち着いたご対応には、改めて敬意を抱かずにはいられませんでした。

私は本年4月より大学を離れることとなりましたが、短い期間ながらも一緒にできたことは、私にとって貴重な経験であり、大きな励みでもあります。

これから、亀井教授のもとで教室がさらに活気づき、宮崎の整形外科医療が一層発展していくことを、心より期待しております。

どうか今後ともお体にご留意のうえ、ご自身の持ち味を存分に発揮されながら、宮崎の地でますますご活躍されますことを願っております。

ささやかではありますが、心からの祝意と応援の気持ちを込めて、筆をおかせていただきます。



就任祝いのご挨拶

独立行政法人国立病院機構 都城医療センター

リウマチセンター長 臨床研究部長 **濱田 浩朗**

このたび、広島大学より新たに赴任されました亀井直輔先生を新任の教授としてお迎えできることを、心より嬉しく思っております。梅雨の季節となり、湿気が増えてまいりましたが、これからは髪が燃えるような直射日光が控えておりますのでなにとぞお気を付けください。

先生がこの大学にご就任され、新しい風を服こんでくださることは、私たちにとって大変喜ばしい事であり、また、研究・臨床にとっても大きな転換期を迎えることと期待しております。特に先生は、脊椎外科の専門家として、豊富な経験と深い知識をお持ちであり、また軟骨に関する研究においては、多くの業績を残されてきました。その専門性は、私たちの医療教育や研究に新たな視点をもたらし、さらなる発展を促すことでしょう。

先生がこれまでに培われた技術や知識は、臨床の現場においても大いに活用されることが期待されます。特に、脊椎疾患に悩む患者さんに対して、最新の治療法や手術技術を提供してくださることは、地域医療の向上にもつながります。私たちの大学が目指す「地域に根ざした医療」の実現に向けて、なにとぞご指導を宜しくお願い申し上げます。

また、教育者としての先生のご活躍にも期待しております。特に医局員に対して、リサーチマインドを育成し、医学者として専門的な知識に基づいて理路整然とした論理的思考の展開を構成できる医師となるよう、診断、治療におきましては時に厳しくご指導をお願いしたいと希望している次第です。先生の熱意あふれる教育が、多くの臨床医に影響を与え、次世代の医療従事者を育成する礎となることを切望しております。

これからの活動において、私たち一同は全力でサポートし、共に学び合い、成長していく所存です。どうぞお気軽にご相談いただき、共に新たな研究やプロジェクトに取り組んでいただきたいと思います。

最後に、亀井直輔先生の新たなご活躍を心よりお祈り申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



亀井直輔教授ご就任をお祝いして

橋病院整形外科 副院長 小島 岳 史

このたびは、宮崎大学医学部整形外科教授ご就任、誠におめでとうございます。広島大学整形外科において、長年にわたるご研究とご活躍の集大成として、まさに“教授の座にふさわしい”と同門一同、心よりお祝い申し上げます。

新体制のもと、ますます論文執筆・学会発表・大学院における研究に力を入れていかれるとのこと、臨床現場で日々バタバタしている我々にとっては耳が痛い…いや、大いに刺激をいただいております（笑）。現在、橋病院は人工関節ロボット購入から3年となり、このお祝いの文章を作っている最中にロボット支援手術 1000 例執刀を達成いたしました。患者様の術前、術後、術後1年のJOA、KSS、KOOSのデータは残しております。画像解析も終了しております。あとは亀井教授のご指導のもとに英語論文にするだけでございます。橋病院としても、今後ますます学術活動に取り組み、宮崎大学のスローガンでもあります宮崎から全国へ、そして世界へと情報発信してまいりたいと思っております。

木村教授、田島教授、帖佐教授が50年かけて築き上げてきた宮崎大学整形外科同門の絆を大切にしながら、共に切磋琢磨し、宮崎大学整形外科の名をいっしょに高めていければ幸いです。

どうぞ今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

少しでもサーフィンしたくなったらいつでも声かけてください。厳しく指導いたします。



宮崎大学整形外科教室問題児1～3号と
亀井新教授（就任祝賀会にて）



亀井直輔教授ご就任にあたって

都城市郡医師会病院 海田 博志

亀井先生 整形外科教授ご就任、誠におめでとうございます。

私が宮崎大学整形外科の医局員となりましてから、他大学からの教授就任は初めてのことであり、加えて、ただのいち関連病院でありますので、あまり情報もおりてこず、どうしていいのかよくわからないまま、時だけが過ぎていく日々でした。ご挨拶にいくにあたって、何が失礼に当たらないのか、一医局員ですと呼ばれてから行くべきか非常に迷いましたが、ほどよい時期なのかなと勝手に思い立った11月中旬に差しかかる頃にご挨拶に出向かせていただきました。

私の緊張感はMAXでしたが、実際の先生にお会いすると、温厚さがにじみ出ておられ、いろいろお話を聞いていただき感謝しております。その際、広島大学からこられたということで、私は、てっきり広島出身であるからカープファンと決めつけておりましたが、大分出身であられることや、志布志のことなどお聞きして、勝手に親近感をわかせていただきました。私が、大のホークスファンであることは、緊張していいそびれてしまいました。

また、私の他愛もない話をきいていただく先生から、非常に聡明で誠実な印象をお受けしました。私はもう整形外科20年選手ですので、そんなに未来はないのですが、都城医師会に戻って、その当時勤務していた後輩2人にその印象を伝えさせていただきまして、君たちのためにすごくよかったねと話したことを覚えております。

その後は、就任祝いの席でご挨拶させていただいた以降、お会いできておりませんが、7月の都城地区整形外科医会でまたお会いできると聞いております。

大学での勤務ではありませんし、風聞に疎い方ですので、先生のご活躍の実際を感じる機会は少なく残念に思っておりますが、少しでも大学に貢献できるようにと日々働いております。

手前味噌な文章で甚だ申し訳ございませんが、今後の先生のご活躍・宮崎大学整形外科の発展を切に願ひまして、就任お祝いのご挨拶とさせていただきます。



亀井直輔教授ご就任のお祝い

小林市立病院 上 通 一 師

この度、亀井直輔先生が広島大学から宮崎大学の教授にご就任されましたこと、小林市立病院の科長として、心よりお祝い申し上げます。これまでの広島大学での脊椎再生医療における多岐にわたるご功績とその分野への深い知見、そしてこの宮崎の地域医療にご貢献いただくという熱意が実を結び、この度の教授ご就任に至りましたこと、大変喜ばしく存じます。

小林市立病院は高齢化率の高い宮崎県の中でも特に顕著な西諸県地域の医療を担い、内科常勤医不在の中、非常勤医師の協力を得ながら手術的加療まで行っています。長年にわたり宮崎大学との連携を通じて地域医療を支えてまいりました。亀井先生が、特に脊椎再生医療という最先端の分野において教授としてご指導されることで、医学生や若手医師がより高度な知識と技術を学び、将来の医療を担う人材として大きく成長されることを確信しております。また、先生の専門性が、宮崎の地域医療、特に県西部の医療のさらなる向上に寄与することを大いに期待しております。

今後も、亀井先生のリーダーシップのもと、脊椎再生医療をはじめとする分野でさらなる発展を遂げられ、宮崎大学と地域医療の連携がより一層強化されることを心より期待しております。先生の新たな地でのご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

ますますご多忙になられるかと存じますが、くれぐれもご無理なさらないう、ご健康には十分ご留意ください。



亀井直輔教授ご就任に寄せて

えびの市立病院 黒 沢 治

亀井直輔教授

このたびは、宮崎大学 感覚運動医学講座整形外科学分野 教授御就任、心よりお祝い申し上げます。

広島大学において長きにわたり、臨床のみならず再生医療等、基礎研究でも御活躍され、令和2年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰において、科学技術賞 研究部門を受賞されており、卓越した研究実績等で高い評価を受けられた先生が、宮崎に来て下さり宮崎の医療を支え、また我々医局員をご指導して頂ける事に大変感謝する限りです。

亀井教授の実績に関しましては、多数の受賞・論文・書籍の執筆・産業財産権・科研費獲得実績・競争的資金獲得実績・共同研究実施実績等があり深く敬服するばかりです。

亀井教授の楽しく働くをモットーに我々医局員を牽引して頂ける事を大変嬉しく存じます。今後の御指導・御鞭撻の程、宜しくお願い致します。



亀井教授就任祝辞

高千穂町国民健康保険病院 塩 月 康 弘

亀井先生には、教授御就任の段、謹んでお祝い申し上げます。

先日、亀井教授の御講演を拝聴させていただく機会があり、そこで脊椎脊髄外科のみならず、再生医療について御研究なされていたと伺い強く感銘を受けました。これからの大学での研究にも大きな変革をもたらすものと楽しみにしております。今後ますます臨床、研究に励まれその御手腕を発揮されますようお祈りいたします。

最後に、私の勤務する高千穂町国民健康保険病院につきまして平素から並々ならぬ御支援を賜り、紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。



亀井直輔教授 就任祝辞

県立延岡病院 栗原典近

この度は宮崎大学医学部整形外科教室の教授就任、心よりお祝い申し上げます
ぜひ先生のお力を持ちまして、宮崎県の整形外科教室が発展いたしますことを祈念いたします。

先生は再生医療でもご高名ですが、また私も先生と同じく脊椎外科を長年細々とやらせていただいております。脊椎外科を志す後継者が育つために、今後亀井先生のリーダーシップ発揮されることを期待しております。

当院にローテーションしてくる若い先生たちも脊椎外科に対する拒否反応はなくなってきている印象です。

宮崎県は南北に長い県で、県北と県南は遥か遠く、全く違う風土であり、陸の孤島というべき地域間格差が他県よりかなりついている県です。当院は延岡に加え、西臼杵、日向入郷地区からの紹介は断りたくても他に受け入れる施設がないため、断れないという特殊な地域性があります。

私も延岡病院に20年勤務しておりますが、診療に対する不安や人員不足による疲労感と戦ってまいりました。

今回教授就任後にリモートで面談させていただき、そのような県北の現状をお話させていただいて、その後すぐに増員をしていただいたことは、感謝に耐えませんでした。また先生の本質を見抜く力の凄さ、素早い決断力、行動力を感じました。

私個人としても54歳となり、数年前より次の時代の育成とともに、今後の県立病院内での整形外科のあり方、私個人のことも考えないと行けない時期に来ていると感じています。

当院で対応困難な症例その他いろいろと相談させていただくかと思いますが、よろしくお願いいたします。

亀井先生の今後のますますのご活躍を心から御期待致しております。



教授ご就任おめでとうございます

宮崎県済生会日向病院 内田 秀穂

亀井先生、この度は宮崎大学整形外科教授ご就任、誠におめでとうございます。先生を新しい教授としてお迎えできましたことを教室員一同心より嬉しく有難いことと思っております。先生のご指導の下、これから新しい知識、進んだ技術を学ぶ機会を得ることで、宮大整形外科も新たな進歩ができるものと確信し楽しみにしております。何卒ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

私の勤務しております宮崎県済生会日向病院は門川町という県北地方にありまして、日向・門川地区では唯一の公的病院になります。整形外科は私を含め常勤医2名と宮大より派遣していただいている定期の非常勤医2名の構成で診療にあたっております。手術は骨折ほか外傷性疾患から変性疾患にたいする人工関節手術、また関節鏡手術や脊椎手術、手の外科手術などの専門的手術まで必要な場合は大学 Dr. に応援をお願いして幅広く取り組んでおります。当院は急性期病床に加え、地域包括病床と回復期リハ病棟を有しておりますので、術後の症例や保存的治療の症例も比較的長期の入院が可能です。そのため大学病院で手術された患者様の転院先として十分お役に立つことができますので、今後とも当院への Dr. 派遣等のご援助を宜しくお願い申し上げます。最後になりましたが慣れない環境で体調など崩されませんようご自愛ください。



祝 辞

千代田病院 整形外科 福 田 一

このたび、亀井直輔先生の宮崎大学整形外科学教室教授御就任心よりお祝い申し上げます。

亀井先生は、広島大学大学院医系科学研究科において長年にわたり整形外科領域の研究・教育・診療に尽力され、特に脊椎外科分野において顕著な業績を挙げてこられたとお伺いしています。その卓越した臨床技術と深い学識に基づく研究成果は、国内外の学会において高く評価されており、整形外科医療の発展に多大な貢献をされてこられたこと、また、後進の育成にも熱心に取り組まれ、多くの優秀な医師を輩出されてきたことは、私ども関連病院にとっても大きな励みとなっております。先生の指導のもとで学んだ医師たちは、臨床現場での実践力と研究マインドを兼ね備え、学術研究の益々の発展と地域医療の充実に寄与していくのだろうと思っております。

私はこの4月から出身地である日向市の千代田病院で勤務させていただいております。医局員は私のみですが、リウマチおよび脊椎関節炎に特化した専門外来を担当する首藤敏秀医師、外傷、慢性疾患等広範囲な整形外科疾患を診療する鈴木周一医師、との3人体制で診療をしております。私は専門分野である人工関節手術を少しでも広げていけるように尽力していく所存です。

私どもも、先生のご指導を仰ぎながら、地域医療の発展に貢献できますよう努めてまいる所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、亀井教授の今後益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、略儀ながら書中をもちましてお祝いの言葉とさせていただきます。



新教授ご就任祝辞

美郷町国民健康保険西郷病院院長 外山 宗樹

このたびは、宮崎大学整形外科教授にご就任されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

亀井教授におかれましては、脊椎脊髄外科の分野における卓越したご業績に加え、整形外科における再生医療の研究にも力を注がれ、先進的な医療の発展に多大な貢献をされてこられました。そのような先生を新たに教室の指導者としてお迎えできることは、我々同門にとって大きな喜びであり、これからの教室の発展に対する期待を一層高めております。

私は現在、県北部・美郷町のへき地医療機関にて地域医療に従事しておりますが、脊椎疾患の診療に強い関心を持ち、将来的には脊椎外科を専門とすべく研鑽を重ねているところです。脊椎疾患の診療は、日常生活の質（QOL）に直結する分野であり、まさに教授がご挨拶で述べられている「QOL 向上こそが現代医療の最重要課題である」との言葉に、現場での実感を通じて深く感銘を受けています。

また、若手医師に対する Early exposure を重視され、挑戦の機会を積極的に提供されるというお考えにも、脊椎外科を志す一人として大いに勇気づけられております。整形外科医としての成長には、実地での経験と責任ある場面での挑戦が不可欠であり、教授のもとでそのような環境が整えられていくことは、我々若手にとって何よりの励みです。

「楽しく働く」「ザッソウ（雑談のように相談する）」といった、風通しの良いオープンな職場づくりの理念も、教室の活性化と心理的安全性の確保において極めて重要であると感じております。これまでの伝統を大切にしつつ、亀井教授の新たな視点と構想により、宮崎大学整形外科医局がより開かれた、多様性ある集団として進化していくことを、心より楽しみにしております。そして、同じ志を持つ若手として、直接ご指導を賜る機会があればと願っています。

末筆ながら、教授の今後ますますのご活躍と、教室のさらなるご発展をお祈り申し上げ、祝辞とさせていただきます。



亀井教授ご就任 おめでとうございます

愛泉会 日南病院 柳園 賜一郎

愛泉会日南病院は肢体不自由と知的障害を併せ持った重度心身障害児者の入所施設で、約120名の入所者が暮らしていて、私が以前勤務していた県立こども療育センターの卒業生も多数在籍しています。医師、看護師、リハビリ、保育士、歯科衛生士、栄養士などの多職種で関わっています。入所者も徐々に高齢となり、重篤な内科合併症を持つ方も多く、職員間で連携を取りながら、入所者の暮らしを支えています。宮崎大学附属病院整形外科医局からは、当直の派遣を頂いており、たいへん助かっています。今後ともよろしくお願いいたします。

亀井教授は広島からおみえになったということで、日南市は広島カープのキャンプ地で、繋がりが深いです。今年のキャンプ中には新井監督が当院慰問にきてくださり、野球好きの患者さんがたいへん喜んでおりました。今年のカープも好調が続いており、非常に楽しみです。新井監督の采配をみておますと、選手を信じ切る力が強いと感じます。選手を送り出す時の表情からは不安が微塵も感じられず、選手も実力以上のものを発揮し、チームの雰囲気も家庭的な印象を持ちます。今後の教室運営はご苦勞も多いと思いますが、是非とも宮崎大学附属病院整形外科医局をよろしくお願いいたします。



亀井直輔教授ご就任に寄せて

県立日南病院 松岡 知己

亀井先生教授就任おめでとうございます。

学会で先生の講演を拝聴させていただき、整形外科の治療研究、科学研究は自分が整形外科になってこんな治療ができたらすごいなと思ったことが現実に近いことがわかり、先生の探究心と努力に感服してるところです。

今後も患者さんの健康回復と明るい整形外科のために頑張られてください。

微力ながらそこに協力できたら幸いです。



亀井直輔教授ご就任に寄せて

なんごう病院 川添 浩 史

亀井先生、教授ご就任おめでとうございます。

私たちにとって、教室外からの教授ご就任は初めてのことであり、決定直後は「どのような方が来られるのか」と期待と少々の不安が入り混じった気持ちでした。しかし、ご就任前に伺う先生のご評判は、人格者であり研究業績も申し分のない方だという非常にポジティブなものばかりでした。そのため、ご着任されるときには、宮崎大学整形外科教室をより良い方向へ導いてくださると確信するに至りました。

ご着任後のまだ短い期間ではありますが、先生はすでに宮崎大学整形外科教室の伝統や良い点をご理解くださっていることと存じます。同時に、変革が必要な点にもお気づきになられていることでしょう。宮崎大学整形外科教室だけでなく、宮崎県全体の整形外科がさらに発展するよう、亀井先生ならではの新しい視点でご指導いただきたく存じます。私たちも微力ながら尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



亀井直輔教授ご就任に寄せて

串間市立病院 河野 勇泰喜

ご就任、誠におめでとうございます。多岐にわたるご尽力が評価され、教授という地位に就かれたことに、深く敬意を表します。先生が掲げられている「整形外科における再生医療の応用は、今後の医療の発展に大きな可能性を秘めており、私たちの研究がその一端を担うこと」スローガンの「楽しく働く」を念頭に共に宮崎から世界への貢献を目指したいと思います。これからはますますお忙しくなることと思いますが、どうか体だけは大切にしてください。今後のご活躍をお祈り申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



亀井直輔教授 ご就任のお慶びに寄せて

公立多良木病院 浪平辰州

亀井先生、宮崎大学整形外科教授ご就任おめでとうございます。

心からお喜び申し上げますとともに、今後ますます宮崎大学整形外科学教室の隆盛にご尽力していただけるものと思います。ご健康にご留意の上、一層の手腕を発揮されていかれることを祈念申し上げます。

さて、当多良木には教授ご就任早々に、11月末早速、当地での講演会に講師として来ていただき、骨粗鬆症と脊椎圧迫骨折関連の講演していただきました。

その後の会食ではご専門の脊椎のお話はもちろん、整形全般のお話や再生医療、スポーツ、広島のこと、多彩な趣味のお話などいろいろなことをお話いただき、場を和ませていただきました。本当にありがとうございました。

話しやすい先生でしたねと後日飯田先生と話したものでした。(すいません、失礼でなことを申しまして。。。。)

さて当多良木病院は昭和54年頃から宮崎大学整形外科より医師派遣を継続していただいております。(熊本県でありながら)

平川俊一先生や故戸田勝先生の派遣から始まり脈々と継続され、現在では当地域医療圏での整形外科としての役割は欠かせないものとなっています。

帖佐前教授には准教授時代から何度も手術指導に来院していただき、TKA、THAなどの直接指導を賜ることができ、ありがたく感謝申し上げる次第です。

また、最近では濱中先生や田島先生、長澤先生などたくさんの先生にも専門的手術の手術応援にこころよく来ていただいております。土日の待機医師派遣も来ていただけるようになり宮崎大学整形外科医局には本当に感謝してもしきれないほどです。

なにとぞ、今後とも公立多良木病院・整形外科もお心の端にお留め置きいただければ幸いに存じる次第です。

亀井直輔教授就任祝賀会

令和6年11月30日 宮崎観光ホテル





祝 辞
広島大学学長
越智 光夫 先生



祝 辞
広島大学病院長
安達 伸生 先生



祝 辞
宮崎大学医学部長
盛武 浩 先生



乾 杯
宮崎県医師会長
河野 雅行 先生



祝 辞
同門会 会長
平川 俊一 先生



祝 辞
第2代教授
田島 直也 先生



祝 辞
第3代教授
帖佐 悦男 先生





宮崎大学医学部整形外科学教室 亀井直輔教授 就任祝賀会
令和6年11月30日 於：宮崎観光ホテル



宮崎大学医学部整形外科学教室 亀井直輔教授 就任祝賀会
令和6年11月30日 於：宮崎観光ホテル

亀井教授就任記念

亀井先生について、皆さんに聞いてみました！

亀井先生と初めてお会いになった際の第1印象をお聞かせください。

- 受け皿の広さを感じさせる、おおらかな眼差しでした。
- 笑顔の中に芯を感じました。
- 面談で初めてお会いしましたがシャツがお似合いの方で、なおかつ優しくお話ししていただきました。
- 笑顔が素敵ですが、その奥には知らない土地で不安な気持ちがあったと感じました。
- 穏やかな印象で、親しみやすいと思いました。
- 亀井先生が教授に就任されて間もない2024年11月29日球磨郡に脊椎関連のご講演にきていただきました。初対面にもかかわらず、非常に親しみやすい雰囲気、会終了後会食中も整形外科専門の領域のお話のみならず、広島のお話やスポーツ、ご家族のお話、趣味のことなどいろいろなことをお話ししていただき、飯田先生ともども感激しましたことを覚えています。
- 落ち着いた雰囲気、簡潔に話されていたことが印象に残っています。
- 若手の意見も聞いてくださる寛容な方でした。
- 温和で親しみやすい雰囲気をお持ちの方だと思いました。
- 穏やかかつお話ししやすい雰囲気を持たれていました。
- 穏やかさの中に知性と洞察に満ちた印象を持ちました。
- 優しそうでした。
- 面談時が初対面でしたが、非常に話しやすい印象でした。
- 親しみやすい笑顔を持たれてると思いました。

亀井先生の業績やお人柄について、特に優れていると感じられる点、また尊敬されている点がございましたらお聞かせください。

- 知らない土地でもチャレンジして今までの歴史等も大切にしてくださる所が素晴らしい。
- 初対面の面談で若手の私の話を真剣に聞いてくださったことです。
- 業績に関してはもちろん、人柄も言うことがないくらい素晴らしいと思います。
- 研究の実績が素晴らしいと思います。
- 面談の際にこちらの要望について事前に調べて頂いており、医局員に寄り添った教授であると感じました。
- 気さくに話しかけて頂き、また、丁寧にご指導頂ける所です。
- 基礎研究のトップランナーであることは言うまでもありませんが、若手の研究内容について親身に相談に乗ってくださり、積極的にアドバイスをいただける所を非常に尊敬しております。
- 接する機会がまだほとんどありませんが、アカデミックな風を感じております。
- 落ち着いた雰囲気をお持ちでした。
- 丁寧なご意見をくださる所です。

今後、亀井先生に期待されることや、ご希望をお聞かせください。

- 引き続き宮崎の整形外科を活気づけていただけたら嬉しいです。
- 後輩に勧められる場所作りをよろしくお願いします。
- 亀井先生のこれまでのご経験を学ばせていただきたく思いますのでご指導どうぞよろしくお願いいたします。
- 大学病院のみならず、関連病院の先生方が幸せになるようにしてください。
- 公立多良木病院は県外の関連病院ではありますが整形外科医師は昭和 54 年頃から宮崎大学整形外科教室より派遣されて今日に至っております。地域医療の継続に必須なため派遣継続をぜひよろしくお願い申し上げます。
- 臨床の知識及び技術に加えて、研究や論文等の学術面に関して御指導いただけると幸いです。
- 若手の育成に引き続きご尽力いただきたいです。
- 研究や論文作成など含め、様々な分野にてご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。
- 研究のご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。
- これまで宮崎に無かった新しい分野のご発展のほど、楽しみにいたしております。
- 宮崎の医療を支え、我々医局員を牽引して頂けます事を心よりお願い申し上げます。
- ますますご活躍されることを期待しております。

亀井先生のあまり知られていないエピソードを教えてください。

- お好み焼きは広島風といわれるのは許してくれますが、広島焼と言われるときれるかも。
- お酒が弱いため、飲み会では最初のビールでそのあとはノンアルコールですが、べろべろに酔っ払った亀井先生を見てみたいです。どうなるのかな？
- バレーボールで大分県選抜だったとお伺いしています。

亀井先生へのお祝いの言葉をお願いいたします。

- おめでとうございます。お会いする機会はあまりありませんが、いつも応援しています。
- この度は教授ご就任誠におめでとうございます。
- 教授就任おめでとうございます。宮崎県の整形外科医療のために今後もご尽力のほどよろしくお願いいたします。
- この度のご就任、誠におめでとうございます。
 - ㊦ 垣根を越えて
 - ㊧ 目覚ましい宮大整形の発展のために
 - ㊨ 一致団結して
 - ㊩ 仲良く
 - ㊪ おおらかな気持で
 - ㊫ すごく素敵な事が
 - ㊬ 結構待ち受けている予感がする今日この頃
- 教授就任おめでとうございます。これからも御指導よろしくお願い致します。
- 就任おめでとうございます 宮崎の医療を守っていきたいと思ってます

The background is a solid green color with a pattern of overlapping, semi-transparent hexagons in various shades of green. Several thin, light green lines are scattered across the page, some forming partial hexagons and others being straight segments.

同門会誌第36号



医局長挨拶

宮崎大学医学部整形外科学教室

医局長 黒木 修 司

このたび 2025 年 4 月より宮崎大学医学部整形外科 医局長を拝命いたしました黒木修司と申します。

前任の中村嘉宏先生には、2022 年より 3 年間にわたり、医局の中心としてご尽力いただき、医局員および同門の先生方が臨床・研究・教育に安心して取り組める体制を整えてくださいました。私もその間、外来医長や病棟医長として中村先生と共に医局運営に関わってまいりましたが、このたび自らがその重責を担うこととなり、あらためてその大変さと意義の大きさを実感しております。

私は 2002 年に当教室へ入局し、これまで大学および関連施設において、整形外科医として臨床・研究・教育に携わってまいりました。その過程で、歴代の医局長の先生方には、私自身が迷いや課題を抱えたとき、何度も助言をいただき、支えられてきました。今度は私自身が、医局員や同門の先生方がそれぞれの立場で安心して働き、成長できる環境を整える「調整役」としての役割を果たしてまいりたいと考えております。不慣れな点も多々あるかと存じますが、どうか温かくご指導いただけますようお願い申し上げます。

近年、医療を取り巻く環境は急速に変化しています。医師の働き方改革をはじめ、若手医師の価値観の多様化、医学教育の抜本的な見直しなど、医局としても柔軟な対応が求められる時代となりました。特に宮崎県においては、県内で研修する若手医師の数が限られており、こうした中で当教室が持続的に発展していくためには、「選ばれる医局」であることが重要だと感じております。

2024 年 10 月には、亀井直輔教授が当教室の教授にご就任されました。「楽しく働く」をスローガンに掲げ、風通しの良い組織づくりとともに、臨床・研究の両輪で医局全体をリードしていただいております。2025 年 4 月には、池末和弘先生、関本朝日先生、濱川晃輔先生の 3 名の専攻医の先生方が入局され、さらに 4 名の先生が大学院へ進学されました。これは、亀井教授の方針が若手医師にしっかりと伝わり、共感されている証であり、大変心強く感じております。

今後は、医学生や研修医、若手医師の育成とキャリア形成の支援に、より一層力を入れてまいります。「ここで学びたい」「ここで働きたい」と思ってもらえるよう、質の高い教育体制、豊富な早期臨床経験、そしてライフステージに応じた柔軟な働き方の整備に取り組めます。また、研究や教育に軸足を置く者、家庭や育児と両立しながら働く者、地域医療やスポーツ現場に貢献する者など、多様なキャリアの実現を支援し、誰もがそれぞれの目標に向かって前向きに取り組める環境を整えてまいります。

亀井教授からは、良い環境をつくるだけでなく、その魅力を外部にしっかりと発信していくこ

との重要性もご指摘いただいております。宮崎大学整形外科が誇る教育・研究・診療の質を、県内外の多くの方に知っていただけるよう、学会や講習会だけでなく、SNSなども活用し、積極的に広報や情報発信にも力を入れていきたいと考えております。

つきましては、今後、医局や同門の先生方にはご相談やお願いをさせていただく機会も増えてくるかと存じますが、何卒あたたいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、これまで教室を築き、支えてこられたすべての先生方、そして同門の皆様に心より感謝申し上げます。未熟な点多々ございますが、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



宮崎大学医学部スポーツ メディカルセンターの設立のご報告

宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科分野准教授

宮崎大学医学部スポーツメディカルセンターセンター長 田島 卓也

宮崎県は「3つの日本一挑戦プロジェクト」を推進しており、その中の1つに「スポーツ観光プロジェクト」があります。「スポーツランドみやざき」を掲げ、官民一体となりキャンプサポート・誘致を含めて宮崎県のスポーツ振興を推進しております。宮崎大学医学部は整形外科を中心として宮崎県スポーツ協会医・科学委員会と連携し、田島直也名誉教授、帖佐悦男名誉教授のご指導の下に長きにわたりスポーツ医・科学の面よりサポートを実施してきました。2024年10月には亀井直輔教授が宮崎大学医学部整形外科に赴任され、今後もスポーツメディカルを教室の柱の1つとしてサポートを継続して参ります。

また、宮崎大学は令和5年度にスポーツ庁委託事業「地域におけるスポーツメディカルサポート体制構築」に採択されました。3か年の委託事業になりますが、本事業では宮崎県内のスポーツメディカル関連資格保有者のリソースを活用し、宮崎県民およびキャンプで訪れたアスリートへのメディカルサポートを展開しております。県内のスポーツメディカル資格保有者を統括する医療職能団体や行政機関をはじめ国立スポーツ科学センター/ハイパフォーマンセンタ（HPSC）や日本アンチ・ドーピング機構などの関連団体とコンソーシアムを形成し緊密に連携しながら、子どもから高齢者に対するスポーツ振興、健康増進および健康寿命の延伸を目指し、シームレスな医・科学サポート体制を図るべく各種事業を展開しております。さらにはスポーツ外傷・障害に関する各種研究も進めております。今後、本事業の事務局機能を引き継ぎ、かつさらに発展させるべく2025年4月1日付けで宮崎大学医学部スポーツメディカルセンターが設立されました。設立にあたっては帖佐名誉教授、亀井教授、賀本病院長、盛武医学部長、片岡副学長をはじめ多くの方々にご尽力していただきました。また、令和8年度からは宮崎県のサポートを受けて事業を展開していく予定です。整形外科との兼任でスポーツメディカルセンター長として田島、副センター長として山口奈美医師が任命され業務にあたっています。なお、通常のスポーツ整形外科の外来診療および手術は従来通りに行って参ります。また、大変嬉しいことに2025年5月1日付けで九州初のHPSCネットワーク連携機関（2025年5月現在、全国で20施設）に指定されました。宮崎県のスポーツメディカルの拠点として中央団体との互換性・整合性を重視しながら「スポーツランドみやざき」をメディカル面で強力に支えていくために、スポーツ医・科学に関する最新知見および手技を駆使し、最先端かつハイレベルなスポーツメディカルサポートを展開していく所存です。今後ともご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）ネットワーク連携機関
指定証書授与式
（HPSC 連携・協働推進部の白井克佳部長より）

出向病院担当医師一覧（2025年7月現在）

宮崎市	宮崎江南病院	益山松三、甲斐系乃、吉川大輔、 鎌田 綾、福永 幹、日高三貴、當瀬雅大
	宮崎市郡医師会病院	森 治樹、池尻洋史、岩佐一真、 大野鉄平、榊 昂典
	宮崎善仁会病院	黒田 宏、松岡 篤、木戸義隆、鮫島 央
	県立こども療育センター	川野彰裕、梅崎哲矢、山元楓子
	野崎東病院	田島直也、久保紳一郎、濱中秀昭、増田 寛 三橋龍馬 弓削孝雄（のざきクリニック）
	大江整形外科病院	樋口誠二
	国立病院機構 宮崎東病院	黒木浩史
	潤和会記念病院	帖佐悦男、川野啓介、福嶋研人、坂本竜一（リハ）
	宮崎市立田野病院	渡邊信二、北島潤弥、山下紀美子
県北・ 県央地区	県立延岡病院	栗原典近、小藺敬洋 座間味 陽、肥後 聖、川越 亮、鮫島勇汰
	高千穂町国民健康保険病院	塩月康弘、河野 翔
	国立病院機構 宮崎病院	安藤 徹、泉 俊彦、川越秀一
	済生会日向病院	内田秀穂、大倉俊之
	谷村病院	税所幸一郎
	三股病院	森田信二
	あたご整形外科	木屋博昭
	千代田病院	鳥取部光司、福田 一
県西地区	美郷町国民健康保険西郷病院	外山宗樹
	国立病院機構 都城医療センター	濱田浩朗、吉川教恵、松永美穂
	橘病院	吉田尚紀、小島岳史、石田翔太郎
	藤元総合病院	矢野浩明、黒木智文、川越悠輔
	小牧病院	坂本武郎、深野木快士
	えびの市立病院	黒沢 治
	都城市郡医師会病院	海田博志、森田恭史、田中涼太
県南地区	小林市立病院	上通一師、戸田 雅
	県立日南病院	松岡知己、平川雄介、北堀貴史、土屋慧祐
	なんごう病院	川添浩史、川越隆行
	串間市民病院	河野勇泰喜
熊本県	愛泉会日南病院	柳園賜一郎
	公立多良木病院	浪平辰州、飯田暁人

宮崎大学医学部整形外科学教室 グループ紹介(令和7年8月現在)

下肢班	脊椎班	上肢・スポーツ班
中村 嘉宏	亀井 直輔	田島 卓也
山口洋一郎	黒木 修司	山口 奈美
今里 浩之	比嘉 聖	大田 智美
帖佐 直紀	永井 琢哉	長澤 誠
佐々木一駿	天野 翔太	森田 雄大
関本 朝日	高橋 巧	神谷 俊樹
	松本 尊行	喜多 恒允
	濱川 晃輔	池末 和弘

リハビリテーション部	救命救急センター
荒川 英樹	日吉 優
山口洋一郎	森田 雄大
今里 浩之	
川崎 弘貴	

海外研修(ポルトガル)	国内研修(広島大学)
横江 琢示	藤田 貢司



2024年10月 大学病院ヘリポートにて

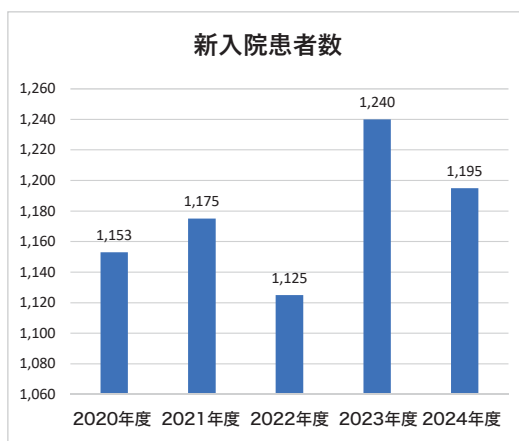
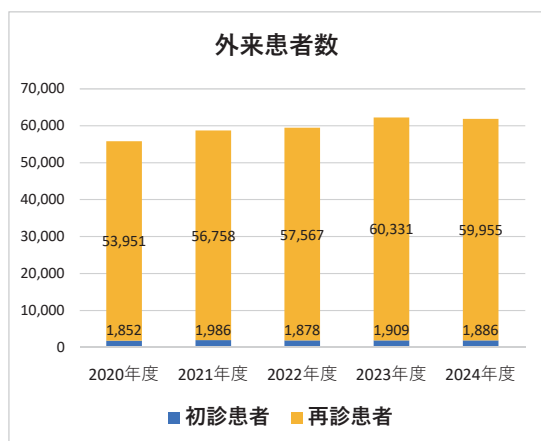
宮崎大学医学部附属病院 整形外科 診療状況

整形外科医師数（2025.5月時点）

下肢	脊椎	上肢・スポーツ	リハビリテーション部	救命救急センター	海外研修	国内研修
6人	8人	8人	4人 (うち2人兼任)	2人 (うち1人兼任)	1人	1人

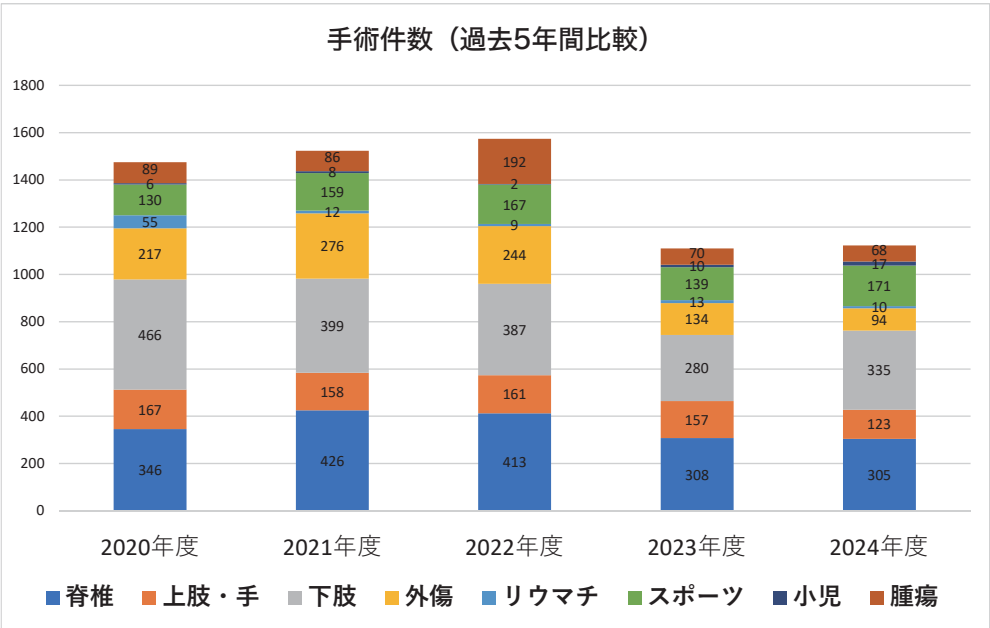
外来・入院稼働状況（過去5年間比較）

年度	外来（人）				入院（人）		
	初診患者	再診患者	計	1日平均患者数	新入院	1日平均患者数	病床数/床（2023.10）
2020年度	1,852	53,951	55,803	230.6	1,153	48.9	62
2021年度	1,986	56,758	58,744	242.7	1,175	47.0	58
2022年度	1,878	57,567	59,445	243.6	1,125	45.7	53
2023年度	1,909	60,331	62,240	256.1	1,240	51.0	53
2024年度	1,886	59,955	61,841	256.1	1,195	51.6	53



手術件数（過去5年間比較）

年度	脊椎	上肢・手	下肢	外傷	リウマチ	スポーツ	小児	腫瘍	合計
2020年度	346	167	466	217	55	130	6	89	1,476
2021年度	426	158	399	276	12	159	8	86	1,524
2022年度	413	161	387	244	9	167	2	192	1,575
2023年度	308	157	280	134	13	139	10	70	1,111
2024年度	305	123	335	94	10	171	17	68	1,123



初診受付について

■初診患者予約制（令和2年6月より開始）

ご紹介いただく際には、初診予約申込書と診療情報提供書をFAXにてお送りください。

<初診予約申込書提出先> FAX：0985-85-9715（予約専用）

詳細は宮崎大学医学部整形外科学教室のホームページ
（「診療案内」>「外来診療」ページ）よりご確認ください。

転院依頼について

当院への転院のご相談については、主治医から直接お問い合わせください。
その後、入院支援担当者からご連絡いたします。

医療法人けいあい かいクリニック（甲斐 睦章）

【1】病院または医院の特色

2013年の開院当初はリウマチ科と整形外科を中心に診療を行ってまいりましたが、2022年に施設を増設し、より幅広い医療ニーズにお応えできるよう体制を拡充いたしました。新たに、2名の内科医（循環器内科：木田修先生、呼吸器内科：飯干宏俊先生）をお迎えし、内科診療を開始しました。また、リハビリテーション施設も充実させ、5名の理学療法士による運動器疾患に対する機能回復、社会復帰、スポーツ障害に対しては復帰に向けた段階的なトレーニングで競技復帰をサポートしております。

【2】先生の医院のおすすめの治療や得意分野

＜関節リウマチ＞

早期診断、MTXを中心とした早期治療介入、生物学的製剤、JAK阻害剤の投与を積極的に行っています。

＜整形外科一般＞

DEXAを利用した骨粗鬆症治療

354.13平米の広いリハ室を備えており、運動器の機能回復を目指します。

＜呼吸器内科＞

リウマチやその治療に合併する間質性肺炎や日和見感染症。

難治性の持続する咳、喫煙によるCOPDや肺気腫、気管支喘息に対する吸入薬物療法。

肺癌の診断などの診療。禁煙外来、睡眠時無呼吸症候群の診断と治療、在宅酸素療法

＜循環器内科・内科＞

心臓病、腎臓病、高血圧管理、関節リウマチの合併症管理

【3】新規治療、機器の導入状況

DEXA；GE社 PRODIGY C

【4】リハビリテーションの現状

現在、当院には理学療法士が5名在籍しており、1日1名あたり18名を目標に、1週間で約90名、5名で約450名の患者様を対応させていただいております。

対象となる疾患は、変形性関節症、腰椎症、肩関節周囲炎、運動器不安定症や人工関節手術後にも力を入れています。また、サッカーのユースチーム帯同トレーナーが在籍しているため、スポーツ外傷に対するリハビリテーションも行っております。

【5】多く見られている症例

<関節リウマチ> 900名ほどが通院中

治療実績：生物学的製剤400例、JAK阻害剤66例

<呼吸器内科> リウマチ性間質性肺炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、循環器内科、心臓病、腎臓病、高血圧症

【6】診療受診について

予 約 制 導 入	予約可
診 療 受 付 時 間	月・火・水・金 <午前> 9:00～12:30 (受付11:30まで)
	<午後> 14:00～18:00 (受付17:00まで)
	木・土 <午前> 9:00～12:30 (受付12:00まで)
	日曜・祭日 休診

【7】先生の近況を教えてください。(趣味、マイブームなど)

一緒に働いてくれる先生を募集しています。

【1】病院または医院の特色

都城泉丘高校1年先輩の東国原氏が県知事で宮崎西高が甲子園に出場した2007年（平成19年）に宮崎市花山手に開院以来、19年目、時空の経過を痛感しています。

開院以来のスタッフは私と運動療法及び事務担当の配偶者のみとなりました。

スタッフは看護師5、理学療法士3、看護助手3、事務1、計13名です。

66歳になり、いつまで診療できるか、いつまでやるか、成り行きに任せているところです。

【2】先生の医院のおすすめの治療や得意分野

来る者は拒まず、という方針でやっています。

変性疾患、骨粗鬆症、外傷等で特にこれといった特色はないと思います。

最近、スリランカの若者で母趾陥入爪の患者がしばしば訪れます。

【3】新規治療、機器の導入状況

開院時に電子カルテにしておいてよかったと思っています。

機種はソフトテックス。

その他、機器としてDEXA、x-pはDRフラットパネルセンサ（Fuji）。

新規治療と言えるものは特にありません。

【4】リハビリテーションの現状

当院には3名のPTが勤務しています。

機器としてはエルゴメーター、トレッドミル、ホットパック、干渉波、SAFS、超音波機器、スーパーライザー、他にバランスボール等です。

そのほかに筋力、持久力、平衡機能、柔軟性等を個別に評価する運動療法を行っています。

【5】多く見られている症例

腰椎、膝関節、股関節、頸椎の変性疾患の患者が多く見えます。

最近は鎮痛のための薬剤が多岐にわたり、また患者が高齢で合併症も多いことから

その選択に苦慮しています。投薬をなるべく減らすか短期間にして、リハや運動療法を中心に治療するようになっていきます。ヒアルロン酸の関注もかなりの数です。

下肢痛を訴え、坐骨神経痛や脊柱管狭窄症と自己診断する患者の中に足根洞症候群や成人型扁平足、Morton病等の症例も多数含まれているように思われます。

足底の違和感、下肢痛で即、LCSに直結するのは危険です。

骨粗鬆症も高齢患者の数に比例して増えていきます。

しばしば骨折の患者も見えます。以前は手術治療を選択していたような症例でも開業後は、いかに保存的に治療するか悩んでいます。

【6】診療受診について

予 約 制 導 入	予約可 (リハビリテーションⅡのみ) その他は予約不可		
診 療 受 付 時 間	月・火・水・金	午前	8:45～12:00 (受付開始 8:15 から)
		午後	14:45～18:00 (受付開始 14:15 から)
	木・土	午前	8:45～12:00 (受付開始 8:15 から)
	日曜・祭日	休診	

【7】先生の近況を教えてください。(趣味、マイブームなど)

少し前から風月に興味がわき、方々を旅行しつつ、城や街並みを散策しています。

最近では、岐阜城、彦根城、弘前城。弘前城の北方に岩木山が聳えています。雲に覆われ、頂上は見えませんでした。旅の先々で雨男の本領を発揮しています。

先週はゴルフのついでに八代城。八代城には城郭はなく、石垣と堀だけが残っています。

川越整形外科医院（川越 正一）

【1】病院または医院の特色

有床診療所から無床にH27年に変更しました。宮崎西高校の南側に立地しています。
当院創立時から朝の8時から診療しています。

【2】先生の医院のおすすめの治療や得意分野

普通の治療を普通に行っています。

【3】リハビリテーションの現状

PT3人での予約制で行っています。

【4】多く見られている症例

一般の変性疾患や炎症疾患、学生のスポーツによる外傷が多いです。

【5】診療受診について

予 約 制 導 入	予約可（リハビリのみ）		
診 療 受 付 時 間	月・火・水・金	午前	8：00～12：00
		午後	14：00～18：00
	木・土	午前	8：00～12：00
	日曜・祭日	休診	

【6】先生の近況を教えてください。（趣味、マイブームなど）

県整形外科医会の関連で、会員の先生方に仕事などのご依頼を申し上げています。
ご協力をいただけている先生方、ありがとうございます。

【1】病院または医院の特色

当院は宮崎市谷川の大淀中学校前にあります無床診療所で、2005年8月に開業し今年でちょうど20年になります。現在のスタッフは7名、そのうち3名は男性で開業当初から働いてくれています。近くに小・中学校、高校のほか幼稚園や警察学校などがありますので、比較的若い人の外傷が多いかと思います。

【2】先生の医院のおすすめの治療や得意分野

大学在局中は手の外科やマイクロサージャリーを担当しておりました。手の外科に限ったわけではありませんが開業してからはまずは保存療法が基本で、手術が必要な方で可能な場合は自院で、それ以外のとくに入院が必要な症例は近くの宮崎江南病院や医師会病院をお願いしております。

【3】多く見られている症例

一般的な整形外科と同じく、やはり腰痛、膝関節痛、肩関節痛が多いと思います。手術症例ではばね指、ドケルバンが多く、たまに手根管症候群という感じです。

【4】診療受診について

予 約 制 導 入	予約不要		
診 療 受 付 時 間	月・火・水・金	午前	9：00～12：30
		午後	14：00～17：30
	木・土	午前	9：00～12：30
	* 初診の受付は終了の30分前までです。		
	日曜・祭日	休診	

【5】先生の近況を教えてください。（趣味、マイブームなど）

何故か以前から自宅の駐車場にネコが住み着くことが多く、車の移動時に危ないので子猫を保護していたらいつの間にか家ネコがたくさんになってしまい、毎朝5時頃に起きてネコの世話や掃除をしています。宿泊を伴う学会や旅行にはあまり行けなくなりました。また最近スーツを着る機会が増えてきたのですが、コロナ禍を理由にして運動をしなくなったせいでスーツがきつくなってきましたので、運動を再開しました。

こざくら整形外科（小櫻 博幸）

【1】病院または医院の特色

主に宮崎市郡医師会病院と県立宮崎病院にご支援いただいて日頃の診療をしています。

【2】先生の医院のおすすめの治療や得意分野

創傷処置における湿潤療法、膝関節外傷の診断

【3】リハビリテーションの現状

Pt.2名ですので、36名（1日）です。

【4】多く見られている症例

仙腸関節症の方が多いようです。

【5】診療受診について

予 約 制 導 入	予約可		
診 療 受 付 時 間	月・火・水・金・土	午前 8:30～12:30	
		午後 14:00～18:00	
	水・土の午後、日・祭日	休診	

【6】先生の近況を教えてください。（趣味、マイブームなど）

近況2018年より江部先生が提唱している糖質制限食を実行していたのですが、左肩の三角筋に腫瘍ができ、精査を進められているところです。



“高木奨励賞”を受賞して

宮崎県立こども療育センター 川野 彰 裕

第58回（令和6年度）「ねむの木賞・高木賞」の贈呈式が、去る令和6年11月12日に東京品川のザ・プリンスさくらタワー東京において常陸宮妃殿下のご臨席のもと行われました。今回、“高木奨励賞”を受賞させていただき、贈呈式に参加しましたのでご報告をさせていただきます。

“高木賞”は、日本で初めて肢体不自由児療育の体系をたてられ、療育事業に偉大な貢献をされ、日本肢体不自由児協会創設者の元東京帝国大学教授高木憲次先生の御遺徳を永く記念するため昭和42年に設けられたものです。今回、“高木賞”は長年、宮城県と東北の肢体不自由児療育に貢献された宮城県立拓桃療育センター元施設長の佐藤一望先生が受賞されました。私はこれまでの小児整形外科疾患や肢体不自由児・者に対する診療、研究、教育活動を評価され、今後も頑張りたいということなので“高木奨励賞”を受賞させていただきました。ちなみに“ねむの木賞”とは「ねむの木の子守歌」を作詞された上皇后陛下の御意志を記念するための、永く障がい児者の日常生活にかかわった優秀な女性職員に対する賞であります。今回は全国から4名の方が受賞されました。

贈呈式は常陸宮妃殿下のご臨席を賜り、日本肢体不自由児協会の岩谷力会長から賞状が授与されました。厚生労働省、文部科学省およびこども家庭庁からも祝辞をいただき、“ねむの木賞”および“高木賞”の受賞者代表から謝辞があり無事に終了しました。私は妃殿下のすぐ御前に着座していたため、終始、緊張状態での贈呈式でありました。妃殿下が御退場される時、受賞者一人一人に“お体に気を付けて職務に励んでください”とお声をかけていただき、身が引き締まり背筋が伸びる感覚でした。妃殿下の“凜”とした御姿が非常に印象的で、このような素晴らしい贈呈式に参加できて一生の思い出になりました。

私は平成8年に大学を卒業し整形外科に入局いたしました。専門医取得後の平成15年から県立日南病院勤務時代に長鶴義隆先生から小児整形外科疾患、特に小児股関節に関して基礎から診断・治療をご教授いただきました。学会での発表や論文作成もたくさん経験させていただきました。平成21年からは県立こども療育センターで長鶴門下生の柳園賜一郎先生の元、小児整形外科に加え、障がい児者に対する療育に関して温かくご指導いただきました。今年で医師として30年目を迎えますが、その大半を小児や障がい児に対する治療に携わっており、サブスペシャリティとして小児整形関係の学会や研究会の評議員や幹事をさせていただき、充実した整形外科医人生を送っています。“高木奨励賞”の名を汚さぬように今後も頑張りたいと思いました。

最後になりますが、“高木奨励賞”にご推挙いただきました心身障害児総合医療療育センター

(東京)の小崎慶介先生、旭川荘療育・医療センター(岡山)の赤澤啓史先生、そして推薦状を書いていただきました帖佐悦男先生にこの場をお借りまして感謝申し上げます。引き続き小児骨関節疾患への診療に取り組み、障がいを持った子どもたちへ寄り添った療育を行うよう努力してまいります。同門会の先生におかれましても、障がい児療育、医療へのご理解とご協力ならびに引き続きのご指導のほどよろしくお願いいたします。



第58回(令和6年度)「ねむの木賞」「高木賞」贈呈式
令和6年11月12日 於 ザ・プリンスさくらタワー東京



日本運動器科学会 学術プロジェクト研究助成を受賞して

宮崎大学医学部整形外科学教室 田島 卓也

この度、一般社団法人 日本運動器科学会（旧日本リハビリテーション学会）の2023年度 学術プロジェクト研究助成（研究期間：2年間）に採択され、無事に研究が終了いたしましたので、ここにご報告させていただきます。本グラントは「運動器科の分野に関わる、優れた独創的なプロジェクトに対し、一定額の助成をおこなうもので、臨床研究・基礎研究・疫学研究・医療工学・バイオメカニクス研究等、幅広く募集」され、全国公募により採択が決定します。採択数は年間1-2件程度であり、競争率の高いグラントでもあります。

我々は【バランス能力を重視した身体運動により操作する新感覚ロボット（ロボット）を用いた「子どもロコモ」発生予防プロジェクト ―運動習慣のないスマホ世代への導入による運動機能向上の検証―】というテーマで幸運にも本プロジェクトに採択されました。

近年、子どもたちは運動習慣の相違により「スポーツ活動過多により若年ながらスポーツ外傷・障害を抱えた群」と「運動習慣がないことによる運動器機能不全群」の2つに大別され、運動不足は子どもながらにメタボリックシンドロームやロコモティブシンドロームの原因になりえます。文部科学省・スポーツ庁より、平成20年と比較し令和元年では体力合計点は小中学生の男女とも低下していたと報告され、運動不足に拍車がかかっているとされています。成長過程の各々のステージで適切な運動内容が推奨されており、発育発達期以前ではバランスや反射神経をはじめとした調整力中心の動きづくりが推奨されています。我々は宮崎大学工学部の山子剛教授が開発した【重心移動でロボットを操作するロボットシステム「ロボット」】を用いたトレーニングを小学生に導入し、バランス能力や下肢筋力の向上を図り、「子どもロコモ」を予防することを目的として研究を行いました。

宮崎市教育委員会の協力の下、小学生3-4年生111名を対象とし、コントロール群・こどもロコモ体操群（毎日のこどもロコモ体操実施）・ロボット群（週に1回のロボットトレーニング実施：10分/回）に分類し、初回、1週、3週、6週で各種タイトネス、立ち上がりテスト、2 step テスト、片足立ち（開眼・閉眼）テスト、こどもロコモチェックを評価しました。データ欠損をはじめいくつかの除外項目の結果、最終的にコントロール群は27名、こどもロコモ体操群は16名、ロボットトレーニング群は13名でした。郡内比較でコントロール群は初回測定と6週目の測定において閉眼片足立ちでのエラー回数が有意に減少し、ロボットトレーニング群において、2 step 値（初回と3週目）、長座体前屈（初回と3週目）が有意に改善していました。さらに閉眼片足立ちでのエラー回数が有意に減少しました（初回と6週目）。本研究結果より、発育期の児童に対しロボットトレーニングを実施することによって、バランス能力や筋力の向上、およびタイトネスを改善する可能性が示唆されました。

整形外科医局の先生方、工学部の皆様、リハビリテーション部の皆様、ロコモナースおよび事務スタッフの皆様のごサポートにより学術プロジェクト研究助成を遂行することができ、大変嬉しく思います。今後も教室の発展のためにより一層精進したいと思います。



Outstanding Young Investigator Award 受賞のご報告

宮崎大学医学部整形外科学教室 横江 琢 示

2022 年度に続き、2024 年度も日本スポーツ整形外科学会 (JSOA) の Outstanding Young Investigator Award (OYIA) に選出していただきましたのでご報告させていただきます。この賞は 45 歳以下の JSOA 会員のうち、1 年に 2 本以上の Impact Factor (IF) を有する英文誌に論文が accept された研究者の中から毎年 3 名程度選出される学会賞です。2024 年度は蒲田久典 先生 (筑波大学)、西野壱哉 先生 (大阪公立大学) と私 (宮崎大学) の 3 名が受賞となりました。自分の主戦場で 2 度もこのような大変名誉ある賞を受賞でき、非常に嬉しく思います。これも自分の行いたい研究を自由にさせていただける環境のお陰と考えています。地方大学である宮崎大学医学部附属病院は、都心部の大学病院と比べ日常診療、手術に割く時間が多いのは事実であると考えます。しかしながら大学病院の任務である、教育、研究も重要であることは言うまでもなく英文誌の accept 数はわが医局で依然不足しているのが現状です。私が偉そうに出来る事ではありませんが、明らかになっていないことだらけの医学において、何かしらの基礎または臨床研究を行い、少しでも前進していくことが現在および未来の患者さんのためになります。Academic working の代名詞である亀井教授の下、少しでも多くの医局員がアカデミックな活動に従事していこうではありませんか。若手医師の先生方、是非とも一緒に研究に着手し、そして英文誌に accept される研究を行いましょう。しかしながら英語論文を accept させるのは簡単な事ではありません。英語論文に慣れていない先生は、まず英語論文を日常的に読むところから始めてください。There is no royal road to learning です。Look at the world, start with the community という宮崎大学のスローガンのもと、一緒に頑張りましょう。何か相談がある先生 (戦士) はいつでも気楽にご相談いただければと思います。いつでもサポートさせていただきます。

最後になりますが、OYIA 受賞に際しご協力していただきましたすべての先生方および事務の方、そして家族に深く御礼申し上げます。引き続き peer review journal に accept される研究が行えるよう、そして若手の先生の刺激および指導に尽力してまいります。同門会の先生方におかれましては引き続きご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



2024 JSOA の授与式にて



第36回九州・山口スポーツ 医・科学研究会優秀演題賞を受賞して

宮崎大学医学部整形外科学教室 田島卓也

この度、2024年12月14日に開催されました第36回九州・山口スポーツ医・科学研究会で優秀演題賞を受賞させていただきましたので、ここにご報告させていただきます。

九州・山口スポーツ医・科学研究会は1988年に九州一周駅伝へのメディカルサポートを契機に設立されたと伺っております。長い歴史を持つ研究会であり、九州・山口地方のスポーツ医・科学、スポーツ整形外科を推進する役目を担っております。本研究会の設立には宮崎大学の田島直也名誉教授、福岡大学の高岸直人名誉教授をはじめ、本邦のスポーツ医・科学、スポーツ整形外科を黎明期より支えてこられた先生方がご尽力されております。毎回、九州管内の整形外科医師、理学療法士やアスレティックトレーナーを中心に多くの演題発表があり、活発な討論が繰り広げられる熱い研究会です。当大学でも1991年（第4回）に田島直也名誉教授、2007年（第20回）、2018年（第31回）に帖佐悦男名誉教授が主催されており、以前は本研究会の事務局が宮崎大学内に設置されておりました（現在は事務局は福岡大学）。我々、宮崎大学整形外科スポーツ整形外科グループをはじめ、宮崎県内の関連病院の先生方も毎回積極的に参加されております。数年前より優秀演題賞が設定され、毎回3名の演者が座長および学会長の投票にて優秀演題賞に選出されます。同門の受賞として過去には第32回本研究会では小島岳史先生、第33回研究会で森田恭史先生、第34回研究会では横江琢示先生および小島岳史先生が各々優秀演題賞を受賞されています。

同門の先生方の活躍に触発されて、今回は「スポーツによる膝複合靭帯損傷例の特徴と傾向」として演題発表した結果、幸運にも優秀演題賞を受賞させていただきました。

膝複合靭帯損傷は高度な関節不安定性を呈し、膝関節の機能破綻を惹起します。今回は2007年1月-2024年8月に当院で手術的加療を実施した膝複合靭帯損傷例106例を対象に評価を行いました。スポーツが原因の症例は56例（男性42、女性14）、平均年齢は27.3 ± 12.3歳であり、受傷原因競技はラグビーおよびバレーが各18%、柔道とサッカーが各14%で、この4種目で64%を占めていました。損傷靭帯の組み合わせはACL + MCLが全体の半数を占め、ACL + PLCが21%で続いており、ACL + PCL、ACL + PCL + MCL、PCL + MCLが各5%でした。KD分類ではKD-1が45例で全体の約8割を占めており、KD-2とKD-3は各3例で5.4%であり、KD-4、KD-5は認めませんでした。膝伸展機構の損傷を合併したKD分類では分類できないものは5例、8.9%でした。受傷原因がスポーツ以外の交通事故・転落事故・労災の50症例との比較では、KD-5はスポーツ以外群でのみ見られ、KD分類で分類不能群はスポーツ以外の原因での受傷が2倍多くみられました。統計解析では、関節周囲骨折はスポーツ以外群で有意に多く、合併症無しはスポーツ群で有意に少なく、原因の相違による傾向の違いが認められました。

地道に症例を積み重ねてこのような報告ができるのも、患者さんをご紹介いただきました同門の先生方のおかげであると改めて感謝申し上げます。今後も教室の発展のためにより一層精進したいと思いますので、ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



第18回 宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して

宮崎大学医学部整形外科学教室 山口 洋一朗

このたび栄えある「第18回宮崎整形外科医学奨励賞」を拝受する運びとなりましたことを、心より御礼申し上げます。

本賞は、県内における整形外科分野の研究活動および臨床活動を奨励する目的で設けられたものと伺っておりますが、今回このような名誉ある賞に私の取り組みをご評価いただいたことは、今後の臨床・研究活動において大きな励みとなりました。

特にご評価いただいた研究は、「インターネット検索において、日米整形外科学会の公式ホームページが適切に検索上位に表示されているのか」を検証した英語論文であり、情報の信頼性やアクセス性といった現代医療における重要な要素に着目したものでした。研究内容そのものは情報医療に関するものでしたが、私自身の活動はその後さらに広がりを見せ、深層学習（deep learning）を用いた臨床データ解析や、現在取り組んでいる生成AIに関する研究へと発展しております。AIの力を活かすことで、限られた医療資源の中でもより効率的で正確な診療を行える可能性があり、整形外科医の日常診療を支える強力なツールになり得ると確信しております。

受賞にあたっては、発表の場をいただき、生成AIの基本的な仕組みや、臨床応用における可能性、さらには研究倫理や限界についても簡潔にご紹介させていただきました。わずか15分ほどの講演ではありましたが、多くの先生方にご興味を持っていただき、講演後にも貴重なご意見やご質問をいただけたことは、今後の研究の方向性を考えるうえでも非常に有意義でした。

今回の受賞を機に、より一層責任感を持って臨床および研究に取り組み、AI技術を実臨床へと橋渡しするための応用研究をさらに深めてまいりたいと考えております。また、整形外科領域にとどまらず、リハビリテーション分野においても学術的・臨床的な貢献ができるよう、引き続き研鑽を積んでまいります。最後に、本賞を通して私の研究を評価してくださった関係者の皆様、そして日頃よりご指導くださっている先生方に、改めて心より感謝申し上げます。





第18回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して(学位取得のご報告も含めて)

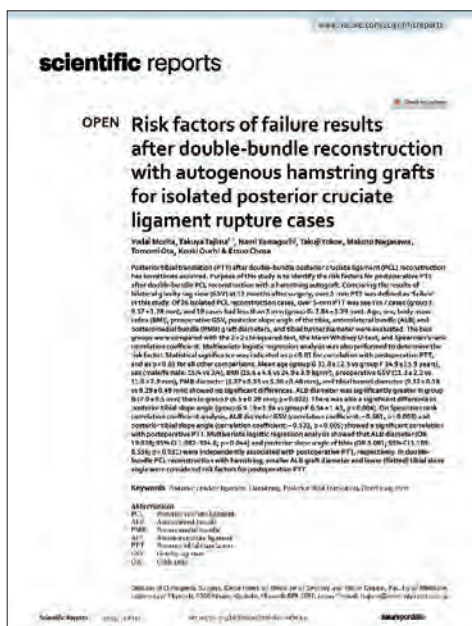
宮崎大学医学部整形外科学教室 森田雄大

このたびは、栄えある宮崎県整形外科医学奨励賞をいただき、心より感謝申し上げます。同門会や教室の先生方、これまでご指導くださった皆様、本当にありがとうございます。今回の受賞にあたり、本年の同門会では「膝とスポーツと私」というテーマでお話しさせていただきました。ここでは、これまでの自分の歩みを振り返りながら少しまとめてみたいと思います。

私は2010年に宮崎大学医学部を卒業し、研修医を経て2012年に整形外科に入局しました。1年半ほど大学で各グループを回った後、県立延岡病院、多良木病院にて、外傷や人工関節を中心に勉強させていただきました。当時は知識も経験も足りず、ご迷惑をおかけしたことも多々あったかと思いますが、先生方の温かいご指導のおかげで、毎日学びの多い時間を過ごすことができました。2017年からは大学のスポーツグループに所属し、大学院にも進学しました。関連病院では関節鏡手術の症例が少なく、ほとんどゼロからのスタートでしたが、田島先生、山口奈美先生の手技を参考にさせていただき、Cadaverトレーニングにも参加して、他大学の先生方の考え方や技術を学びました。Cadaverトレーニングでは、臨床や研究について他大学の先生方と語り合うことができ、大きな刺激を受けました。後輩の先生方にも、ぜひこうした機会を手術トレーニングだけでなく交流の場としても活用してほしいと思っています。

日々の診療の中で特に大きな転機となったのは、変性半月板損傷への対応の変化です。これまでは関節鏡で半月板縫合や部分切除を行ってきましたが、短期的には順調でも、時間が経つにつれて痛みが出たり、変形性膝関節症(OA)が進行したりする症例を経験しました。変性半月板損傷の多くは下肢アライメント異常を伴っており、現在では膝周囲骨切り術と関節鏡手術を組み合わせるようにしています。この併用により患者さんの満足度が上がり、私自身も単独手術より痛みの改善効果を強く感じています。骨切り術を始めるにあたっては、手術見学を通じて県外の先生方とご縁ができ、今も定期的に骨切りに関する抄読会に参加し、勉強を続けています。宮崎県内では膝周囲骨切り術はまだ広く普及していないため、研究会などを通じて、その有用性を広めていけたらと考えています。スポーツ関連では、現在、柔道を中心に大会での救護活動や、中高生を対象としたメディカルチェックを大学として行っています。2027年には宮崎国スポ・障スポが開催されますので、田島先生をはじめ、私もチームの一員として力を尽くせるよう頑張りたいと思っています。最後に学位についてですが、昨年、後十字靱帯(PCL)に関する論文がアクセプトされ、無事に学位を取得することができました。これもひとえに田島先生のご指導、ご支援のおかげです。現在、田島先生と取り組んでいる基礎研究については、まだ結果が出ていませんが、今後も臨床と合わせて引き続き全力で取り組んでいきたいと考えています。

医師として15年目を迎え、これまで本当に多くの方々に支えられてきました。この場を借りて、これまでのご指導・ご支援に心から感謝申し上げますとともに、これからは後輩の育成にも力を入れていきたいと感じています。今後とも向上心を忘れず、日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。





学位取得の報告 ～ 50 の手習い～

野崎東病院 濱 中 秀 昭

専門医を取得して翌年に大学病院に戻るようにその当時の医局長であった渡邊先生から言われたのを覚えています。もともと入局時大学病院では下肢グループに属しており脊椎外科など全くしていませんでしたが、その時の人事で脊椎グループに帰ってきました。全く脊椎をやりたいと医局に言ったこともなく、その当時にはヘルニアの手術ができるようになればいいやってくらい思っていました。すぐに大学病院はやめて市中病院での勤務を考えていたので大学院への進学や博士号の取得などは全く考えていませんでした。

そのうちに、久保先生や黒木浩史先生が大学を去られていつの間にか、脊椎グループのチーフになっていました。自分自身がアカデミアではなく、大学病院勤務が合わないはずと心のどこかで思っており、帖佐教授にはずっと市中病院に出してほしいとお願いしていました。しかし、帖佐教授から言われていたのは、英語論文を書けば出してやると言われていました。最初は反発から何とか書かずに出たいと考えてましたが、どうしても出れそうになかったために英語論文を書こうと思いました。しかし、英語論文を書くトレーニングを受けたわけではなく、学会発表するときに英語論文のAbstractを少し読んで何となくわかった気である程度の英語力であったためにどうしていいかわかりませんでした。そこで、いつも隣の席にいてくれた田島卓也先生にどうしたらいいのかを聞きました。「まずは、日本語でいいのでしっかりと論文を書きましょう。あと、倫理委員会にきちんと通しましょう。あとどの雑誌に投稿するか考えてください」と言われました。倫理委員会に関しては、大学の事務さんにおんぶにだっこですが手取り足取り教えていただき倫理委員会に申請する文書を作成しました。論文に関しては以前学会で発表した演題を自分なりに書いてみました。それを田島先生に添削してもらい、何度も手直しをしていただきました。英語論文のコツは、言いたいことをはっきりと最初にズバット言うことが重要ですよと教えていただき、日本の玉虫色の結果でなくしっかりとアピールすることが大事だと教えていただきました。数回の添削後に、英語に翻訳することは、時間と労力から考えて業者に発注しています。結構なお金がかかりますが、費用に関しては田島先生の研究費から出していただきました。何から何までおんぶにだっこでした。最初の投稿雑誌からは、エディターキックを食らいました。これは編集者からレビューワに査読に回ることなく門前払いを食らうことです。ショックでしたが、これはよくあることで、だめなら次という精神で行くしかないと言われ励まされました。次の論文に出すために投稿規定に沿って論文を修正し再度提出しました。幸い査読に回り、次にレビューワからメジャーリビジョンが回ってきます。すべて英語で帰ってくるので翻訳ソフトが必須でした。田島先生に教えてもらいながらレビューワの質問に回答し論文を修正しました。数回のメジャーリビジョンの後に、ようやくマイナーリビジョンにたどり着きました。そして、何とかアクセプトされたときは、非常にうれしかったことを覚えています。すべて、初めてのことで英語論文を書



日本整形外科学会 「学術賞」を受賞して

潤和会記念病院 帖 佐 悦 男

このたびは、日本整形外科学会より名誉ある「学術賞」をいただき、大変光栄に存じます。誌面をお借りして御礼申し上げます。

まず初めに、本賞にご推薦くださいました亀井直輔先生、共に歩んできた教室員・同門の先生方、教室スタッフをはじめとする関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

医師になり日整会に入会してから40年以上が経ちました。その間、日整会をはじめとする学術集会に参加し、多くの出会いや発表の機会をいただきました。これらの経験が自己研鑽につながり、今日の礎となっております。発表の基礎となる臨床・研究は、決して一人では成し遂げられません。教室の先輩、仲間、さらには国内外の学会や留学先の先生方、産官学連携の中でご支援くださった皆様からも多大なご指導を賜りました。こうしたご縁と支えがあつてこそ、今回の受賞に至ったと実感しております。改めて、深く御礼申し上げます。

宮崎大学医学部(旧宮崎医科大学)は、令和6年に創設50周年を迎えました。地方の新設大学ではありますが、“よく学び・よく遊ぶ”という姿勢を大切にしつつ、地域社会への貢献やグローバルな視点を意識し、教室員一丸となって研鑽を重ねてまいりました。「世界を視野に地域から始めよう!」という本学のスローガンのもと、「研究・教育・臨床」の各分野において活動してきた研究成果の一部を、地元で開催された第37回日本整形外科学会基礎学術集会にて発表の機会をいただきました。大変光栄な場であったとともに、教室の皆さんの研究成果を会員の皆様にご紹介できたことを、何より嬉しく感じております。

このたびの受賞は、単なる個人の成果ではなく、これまで支えてくださった多くの方々との共同の結晶であると深く認識しております。

今後もこの受賞を励みに、しばらくは臨床を中心に研鑽を積み、微力ながら宮崎大学医学部整形外科学教室の発展に貢献できますよう努めてまいります。

最後になりますが、教室・同門をはじめ、関係の皆様に改めて深く感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





なでしこジャパン 2025 SheBelives Cup @ USA 帯同報告

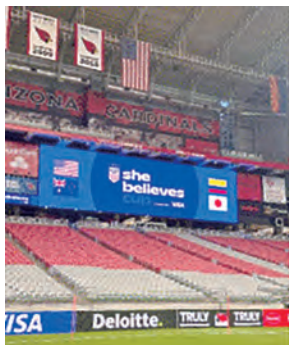
宮崎大学医学部整形外科学教室 山口 奈美

SheBelives Cup とは、2016 年から毎年アメリカで開催されているナショナルチームによる女子サッカーの国際大会で、開催国のアメリカを含めた 4 チームの総当たり戦で行われます。日本は 2019 年からこの大会に参加しており（コロナ禍は辞退）、オリンピックと同様、中 2 日で 3 都市を移動しながらのタイトなスケジュールで開催されます。今回 2 月 17 日～2 月 28 日の日程で SheBelives Cup に参加するサッカー日本女子代表に帯同したので報告いたします。

今回の大会は、昨年のオリンピック終了後にテクニカルスタッフが刷新され、新しい監督を迎えて初めての代表活動という位置づけでした。参加国は、アメリカ・オーストラリア・コロンビア・日本の 4 カ国で、試合は Houston・Glendale・San Diego の 3 都市で行われました。1 試合目の 3 日前に Huston に到着し、同日中にアメリカやヨーロッパのチームに所属している選手達が合流してきました。代表活動は international match window の期間中に行われますが、直前まで所属チームの試合が行われており、合流直前のアクシデントで急遽選手が変更になることやケガを抱えて代表に合流することも頻発します。今回も出国直前にアクシデントの情報が入り、監督と相談して選手を変更することになりました。選手がチームに合流したタイミングで、外傷や障害を含めたコンディションをチェックしテクニカルチームに報告するとともに、フィジカルコーチと相談してトレーニングの強度を決めていきました。

3 都市を飛行機で移動しながらの試合で、各都市間で寒暖差や時差がある条件でしたが、今回の活動期間中は軽微な外傷やコンディション不良はあったものの、途中離脱やケガで別メニュー調整が必要な選手が発生しなかったことは幸いでした。個人的にこの大会は 3 回目（2020、24 年）の帯同になり、これまで 1 勝もできずに大会を終了していましたが、今回は 3 戦 3 勝で初優勝という結果でした（2023 年の準優勝が最高成績）。今後 2026 年にワールドカップ予選（アジアカップ）、2027 年にワールドカップ、2028 年にオリンピック（予選）と国際大会が続きますが、メディカルチームやテクニカルスタッフと協力しながら選手がより良いコンディションでプレイできるようサポートしていきたいと思います。

最後になりましたが、帯同に伴う不在の間サポートしてくださった先生方、スタッフの方々に深謝いたします。ありがとうございました。





2024 侍ジャパン 野球日本代表帯同報告

宮崎大学医学部整形外科学教室 長 澤 誠

2024年8月に開催された「第6回 U15 野球ワールドカップ」、および11月に開催された「第3回 世界野球プレミア12」に侍ジャパンのチームドクターとして帯同いたしましたので、ご報告申し上げます。

U15 ワールドカップは2年に1度開催される、15歳以下（中学3年生）の選手による世界大会で、リトルシニアリーグやボーイズリーグなど中学硬式野球の精鋭たちで構成されます。侍ジャパン U15 代表は、トップチームと同様に井端弘和監督、吉見一起投手コーチが指揮を執られ、私は2022年大会に続いて2回目の帯同となりました。

大会はコロンビアのバランキージャという都市で行われ、ロサンゼルス空港での8時間のトランジットを含め、30時間以上に及ぶ長時間の移動を経て現地入りしました。移動の疲労から体調を崩す選手も見られましたが、選手たちの努力とチームの結束により、U15 日本代表として初のワールドカップ優勝を成し遂げることができました。

U15 代表に選出される選手たちは、全員が高校野球の名門校へ進学し、その中には1年生から甲子園に出場する選手もいます。彼らの今後の活躍を見守ることは、私自身の楽しみのひとつです。一方、プレミア12はワールド・ベースボール・クラシック（WBC）と並ぶ、侍ジャパンのトップチームが参加する国際大会であり、今回は宮崎・清武町のSOKKENスタジアムでのキャンプを皮切りに、名古屋、台湾、東京と移動して試合が行われました。日本代表は予選ラウンド、スーパーラウンドを通じて無傷の8連勝を果たし、決勝へと進出。宮崎県出身で読売ジャイアンツのエース・戸郷翔征投手を先発に立て、台湾との決勝に臨みましたが、惜しくも敗れ準優勝となりました。

今年11月には強化試合、来年3月にはWBCの宮崎キャンプが予定されており、プロ野球に限らず、さまざまな競技のキャンプ地における医療体制を整備していくことは、私たちにとって非常に重要な役割であると実感しております。

最後になりますが、私の不在中にさまざまな面でご配慮・ご支援くださった先生方、快く送り出してくださる教室の皆様にご心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





第 50 期ラグビー高校日本代表 チームドクター帯同報告

宮崎大学医学部整形外科学教室 今 里 浩 之

私はラグビー高校日本代表のチームドクターとして、3月6日から直前合宿。10日から25日までイングランド遠征へ帯同いたしました。試合は下記の3試合行い、最後のU19イングランド代表とのゲームをターゲットとするツアーでした。

3月13日 VS Oxford University at Oxford university

3月16日 VS U19 Saracens at Dartford Valley Rugby Club

3月22日 VS U19 England at Cambridge rugby club

このツアーでは、1度、イングランドの病院に選手と2人で受診する機会を得ました。救急外来の入り口から、説明もしどろもどろになりながら英語で説明しながら、採血・Xp・心電図をしていただき、選手も大きな問題なく帰宅することができました。私自身は何となくでも戦えるなと変な自信を手に入れました。このツアーの経験を通じて、一人の整形外科医として感じたことは、まだまだ成長をしようと、もがいていかないといけないなということでした。英語は全然得意ではないですが、気合で多少はいけるし（でも、本当の意味ではいけていないので勉強したい）、自分をあきらめずにもっと努力しようと思いました。ラグビードクターだけでなく、普段の人工関節や下肢外傷・診療までまだまだ謙虚に成長しようとエナジーもっていきたいと思います。

このような経験をいただいた、田島先生ありがとうございます。そして、送り出していただいた亀井教授そして下肢グループの皆様本当にありがとうございました。

日々の診療や研究と一緒に皆様と成長し、力になればと思います。



Oxford にて
高鍋高校 HO 高山君と二人で



U19 イングランド戦前のメディカルブリーフィング
それっぽい微笑みでディスカッションを乗り切る私



UBE Cadaver Surgical Training に参加して

宮崎大学医学部整形外科学教室 永井 琢哉

整形外科手術における内視鏡技術の進歩とその臨床的な有用性、そして現場でのニーズを日々強く実感しております。なかでも近年注目されている UBE (Unilateral Biportal Endoscopy) は、5mm 程度のカメラを挿入する孔と、同じく 5mm 程度の手術器具を挿入する孔を別々に設ける 2 孔式の内視鏡手術です。このアプローチにより、手術操作の自由度が向上するだけでなく、灌流液が一方方向にスムーズに流れるため、常にクリアな視野が確保できるという特徴があります。

UBE により対応可能な手術は多岐にわたり、腰椎椎間板ヘルニアをはじめ、腰部脊柱管狭窄症に対する除圧術や、椎体間固定術にも応用が進んでいます。内視鏡下で神経構造を明瞭に確認しながら、安全かつ低侵襲で病変部へアプローチできる点が、今後の標準的治療となり得る要素と感じております。

本年 5 月に、名古屋市立大学で開催された「UBE Cadaver Surgical Training」に参加する機会を得ました。実際のご遺体を用いた手術実習では、椎弓切除、黄色靱帯切除、神経周囲の剥離といった一連の流れを通して、内視鏡下での具体的な操作感を学ぶことができました。特に、30 度斜視鏡の視点の取り方や、二つのポータルを意識した手技の流れ、灌流系の調整といった細部は、文献や動画のみでは得られない臨場感のある学びとなりました。手術中の判断や立体的な構造把握にも影響を与える、極めて有意義な経験であったと感じております。

現在、宮崎県内では UBE を常設している施設はまだなく、地域での普及はこれからの課題です。そのような中、亀井教授が UBE 機器の導入に向けたグラントを獲得してくださり、近い将来、宮崎大学にも機器が整備される運びとなりました。まずは、安全に手術を提供できるよう、自身の技術研鑽に努めるとともに、若手医師への教育や地域医療全体への還元を見据え、UBE の普及と発展に尽力してまいります。今後とも、同門の先生方のご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





第46回九州手外科研究会を終えて

宮崎江南病院 甲斐 糸乃

このたび、無事に第46回九州手外科研究会を開催できましたこと、まずは心より御礼申し上げます。今回の研究会が成功裏に終えることができたのは、ひとえにご支援くださった同門会の皆さま、運営に携わってくださった宮崎大学整形外科医局員の皆様ならびに医局事務スタッフの皆さまのおかげです。そして何より、事務局を担当して頂いた島田さんの力なくしては研究会の無事開催はなし得ませんでした。この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。研究会について少し振り返らせて頂きます。今回の研究会では46題の演題を九州内外から登録頂きました。「朝から夕方まで1つの会場で」が九州手外科研究会の基本であり、これにランチョンセミナー・特別講演を合わせるとかなり濃密なスケジュールになりました。ポスターも考えましたが、せっかくなら皆さんに全部の演題を聞いてもらいたいという、会長のわがままを押し通させて頂き8:50から18:00までという長丁場になりました。

ランチョンセミナーでお話し頂いた昭和医科大学横浜市北部病院副院長の川崎恵吉先生は、橈骨遠位端骨折・舟状骨骨折の権威であり、私が橈骨遠位端骨折の奥深さと難しさを学び、しっかりと考えて治療にあたるきっかけを与えてくださった先生です。と言っても、当初は一方的に知っていただけなので接点はありませんでした。橈骨遠位端骨折を扱う宮崎県の先生方にも是非川崎先生の講演を聞いて欲しいという思いを以前から持っており、宮崎で講演して頂く事は、私の念願でもありました。幸運な事に、Cadaverセミナーで川崎先生とご一緒させて頂く機会を得ることができ、このチャンスを逃してなるものかと、初対面にも関わらず「是非宮崎で講演をしてください!」とお願いしご快諾をいただけた時はとても嬉しかったです。今考えれば、「なんだこいつは!?!」と思われてもおかしくない状況だったのですが、川崎先生のお人柄に救われました。そして、研究会で講演を聴いた若い先生から「勉強になりました。橈骨、深いですね」と言ってもらえることができ、念願が果たせた気がしました。

特別講演は大田先生が中心に動いてくださり、熊本大学名誉教授の安東由喜雄先生にアミロイドーシスのお話をして頂きました。現在、日本手外科学会の中でも手根管症候群とアミロイドーシスはトピックとなっており、参加された先生方からも「とても勉強になった」とお声を頂き、私も嬉しくなりました。

何事もなく、全てが順調に終わりました。と終えたいところですが、本当は色々ありすぎて、途中で投げ出したくなる事も多々ありました。研究会の準備に加え、臨床、学会発表の準備もいくつか重なっており、ストレスのやり場に困りました。毎晩お菓子を一袋食べきらなければ落ち着かないという謎の病気?を発症し、それは今も治らず続いています。とはいえ、今回の

経験は私にとって大きな学びと、かけがえのない人脈を与えてくれるものであった事は間違いありません。この経験が無駄にせず、今後も臨床、学術活動に尽力していければと思っております。

末筆ながら、ご協力くださったすべての皆さまに重ねて御礼申し上げます。





第 26 回同門会テニス大会報告

尾田整形外科 尾田 朋 樹

令和6年11月23日（祝・勤労感謝の日）、毎年恒例の同門会テニス大会が開催されました。今回はコート確保の関係でシーガイアテニスクラブのインドアコートで開催、屋外に比べ爽快さは劣りますが、安定した室内環境で打球音も心地よく、楽しいひと時を過ごすことができました。第26回大会ということですので既に26年前、私もテニス歴は長く、記憶が曖昧ですが、ひょっとすると第1回大会からの最古参メンバーかもしれません。思い返せば平成7年7月、赴任した藤元早鈴病院（都城市）での福田健二先生との出会いが契機だったように思います。川野啓一郎先生、神菌豊先生、松本英裕先生、弓削孝雄先生がレギュラーメンバーとして加わり、麻生邦典先生、渡部正一先生、谷島満先生を笑顔で勧誘、帖佐悦男先生、桑畑睦郎先生、益山松三先生にもゲスト参加して頂いたことがありました。現在は柏木輝行先生が加わったレギュラーメンバーを中心に、随時、同門会以外の友情参加メンバーの協力を得て、毎年11月23日（祝・勤労感謝の日）に同門会テニス大会を開催しています。聞くところによると、同門会ゴルフ大会も参加メンバーの減少に頭を抱えているそうで、最近は開催されていない同門会麻雀大会は言わずもがな、少子高齢化は人口問題だけではないようです。かつての神菌豊先生のように「テニス・ゴルフ・麻雀の3冠を目指す！」と豪語する「漢」はもう現れないのでしょうか。テニススクールでも部活でも、硬式テニス経験者のご参加を、皆で首を長く伸ばしてお待ちしています。





第31回同門会ゴルフ大会を終えて

江夏整形外科クリニック 江夏 剛

同門会ゴルフ大会が令和6年12月1日にレイクサイドゴルフクラブにて開催されました。12名の参加で無事にけが人が出ることもなく、終わることができました。

メンバーにもお天気にも恵まれ、結果は42-40、トータル82のスコアで10年ぶり2回目の優勝カップを掲げさせていただきました。

ゴルフは年をとってもできるスポーツなのでと、約40年前に父から教わりました。中学1年ころからゴルフ練習場についていき、父から譲り受けた7番アイアンとパーシモン（柿の木）のドライバーで練習したのを覚えています。今では結構見かけますが、ゴルフ場でジュニアがラウンドするのはほとんど見ることはなかったので、父からは100を切るくらいの実力がないと連れていけないときつく言われていました。家ではパター、アプローチの練習をこまめに行い、高校1年生になったときに初めて母智丘カントリークラブに連れて行ってもらいました。ゴルフ場に行くまでも入場するときのドレスコード、挨拶などみっちりトレーニングされ、前日にはジャケットを購入したのを覚えています。そのおかげもあり、今でもどのゴルフ場に行く際もジャケット着用で行くようにしています。父の見立ても相当なもので、結果は43-54の97が私の最初のスコアで、100を切れていました。

私にゴルフを教えてくれた父も亡くなり今年で17回忌を迎えました。ゴルフをするたび父とまたゴルフをしたいなと思うので、二人いる息子にもゴルフをさせ、最近では年に1-2回はラウンドする日を作っている昨今です。





第1回教室杯ゴルフ大会を終えて

潤和会記念病院 帖佐悦男

令和7年4月13日に開催されました第1回教室杯において、幸運にも優勝の機会に恵まれましたので、ご報告申し上げます。前日は新教室員の歓迎会があり、大変嬉しい気持ちで一杯でした。

当日は天候が心配されましたが、参加者の日ごろの行いが良かったおかげか、雨もあがり、開催することができました。ただし、開催地の青島ゴルフ倶楽部は太平洋に面しており、普段でも風が強いとのことでした。当日は雨上がりの影響かわかりませんが物凄い風の中での開催になりました。

平川俊一先生と三股恒夫先生と同じ組でスタートすることとなり、ご指導を仰ぎつつ、ご迷惑をおかけしないよう「10kmを走る覚悟」でプレーに臨みました。

昨年末の忘年会ゴルフ以来、クラブを握っていなかったためスコアはいつもの通りでしたが、ショートホールで「8」を叩く一方で、3ホールでパーを取ったり、ニアピンを獲得できたりと、楽しくプレーすることができました。

今回はダブルペリア方式だったため、偶然にも隠しホールに恵まれ、ハンディキャップの影響でネットスコアが伸び、優勝につながったのだと思います。

一緒にラウンドして下さった平川先生や三股先生のおかげで、終始気持ちよくプレーすることができました。この場をお借りして心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

ゴルフの魅力の一つは、コミュニケーションを取りながら運動ができることだと思います。私自身、今年こそゴルフを楽しみたいと思っておりますので、一緒にラウンドをお願いいたします。





第98回日整会サッカー大会を終えて

県立日南病院 平川雄介

第98回日整会のサッカー大会に参加させていただきました。

3月の南九州予選までは横江キャプテンでしたが、4月からのポルトガル留学で不在となるため代理でキャプテンをさせていただきました。主務の松本尊行先生に尽力いただき無事終えることができました。

1回戦は千葉大学との試合でした。前日のキャプテン会議では千葉大学サッカー部も高齢化が進んでいるとお話でしたが、20歳台が3人以上在籍しており、宮大は1人（しかもGK）でした。都市部と地方では高齢化に大きな認識の違いがあることを痛感させられました。試合は最初から猛烈に攻められ続けましたが、カウンターから川越（亮）先生のクロスから喜多先生がループで合わせて先制することができました。その後さらに猛烈に攻められ、少し荒いプレーが増えましたが怪我人もでることなく試合終了となりました。結果は1-3で敗退でしたが昨年が0-12で負けたことを考えると大きな成長と捉えております。また来年も出場できるように日々の診療と共に頑張っていこうと思います。

最後に日整会に参加できるようにご高配頂きました各病院の先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。





第98回日本整形外科学会学術総会 親善モルック大会に参加して

野崎東病院 三橋 龍馬

第98回日本整形外科学会学術総会の一環として開催された「第一回親善モルック大会」に、我々のチーム「宮崎ロコモルック（調査隊）」も参加してきました。（三橋の失態により参加希望届を出すのが遅れ、予想より参加希望チームが多かったため参加希望届け期間締め切り前に定員に達してしまった後にキャンセル待ちの形で何とか参加できたことは大きな声では言えません）

モルックとはフィンランド発祥のスポーツで、見た目はシンプルながら戦略性に富み、大人も子どもも楽しめる競技です。

私はキャプテンとして、Amazonで公式モルックセットを自費で購入し、準備万端で大会に臨みました。チーム名「ロコモルック」は、「ロコモ（運動器症候群）予防」と「モルック」、そして我々が地元・宮崎のローカルでサーフィンの盛んな“ロコ”な雰囲気をかけ合わせた、こだわりのネーミングです。ただいま Chat GPT でロゴマークを作成中です。

練習は、岡田整形外科の福嶋院長のご厚意により練習場をお借りすることができ、万全の体制で本番を迎えました。メンバーは黒木浩史先生、吉川大輔先生、長澤誠先生、そして私・三橋の4名です。

初戦は中東遠病院院長補佐チームとの対戦。1セット目は34-50で惜しくも敗れましたが、2セット目は吉川先生の華麗なウィニングショットが炸裂し、50-16で勝利。セットカウント1-1とし、予選突破の可能性を残す結果となりました。

続く二回戦は、主管校メンバーも在籍多数の強豪「釧路モルキーたんちょうズ」との対戦。1セット目は、私のキャプテンらしからぬ痛恨の凡ミスで流れを相手に渡してしまい、32-50。2セット目も23-50と完敗を喫し、残念ながら予選敗退となりました。せっかく応援に来ていただいた帖佐先生が会場に到着したころには敗退が決定しており、まことに申し訳ない気持ちになりました。

悔しい結果ではありましたが、学会ならではの親睦と笑いにあふれた時間を共有できたことは何よりの財産です。（昔は野球大会参加のため4時に起きることは非常に苦痛でしたが加齢により早起きがさほど苦にならなくなっていることで月日の流れを感じました）

来年こそは予選突破を目指して、今からこっそり特訓を始めようと思います。

今後は山口洋一朗先生にAIを駆使した作戦を練ってもらい、暇さえあれば町中の公園で練習→反省会（＝飲み会）を定期的開催予定です。

来年の日整会でモルックが採用されるかどうかはまだ未定なのですが野球予選を勝ち抜いた際にはバットをもつかモルック棒をもつかかなり悩むことになるかと予想されます。それぐらいモルックは楽しい競技です。

興味のある先生は、ぜひ三橋までご連絡ください。一緒にモルックで熱く、そして楽しく盛り上がりましょう！





2025 年 1 月 11 ~ 13 日 医局旅行 in 金沢

宮崎大学医学部整形外科学教室 佐々木 一駿

今回の医局旅行は、昨年地震のため断念した金沢となり、新入医局員として参加させていただきました。医局からはお子さん含め、総勢 23 名が参加しました。宮崎空港から羽田経由で小松空港に降り立つと、冷たい空気とともに雪が見え、北陸にやってきたんだという実感が湧いてきます。早速バスへ乗り込み、最初の目的地、九谷焼専門店（九谷満月：昼食会場）へ。昼食では、みんなで乾杯し、のどぐろの釜めしなどの名物をいただきました。お皿は、九谷焼が使われており、有田焼の基になったとも言われていて料理も美味しく見えるものでした。次に、ゆのくにの森で民芸体験、輪島塗のお箸への沈金体験をしました。普段は騒がしい若手も黙々と作業し思い思いの柄を彫っていました。その後は、日本自動車博物館へ。ここは、日本初の自動車博物館で、20 世紀に国内外で活躍した 500 台もの車が展示されていました。故ダイアナ妃が実際に乗車したとされるロールスロイスやトヨタ 2000GT、懐かしい大衆車、珍しい外車などが展示されていました。子供たちは、建物前の駐車場一面に浅く積もった雪を集めては遊び、宮崎ではできない体験をしていました。

1 日目の宿泊は加賀温泉。到着後は、こっそり近くの試飲ができる酒屋へ。石川県には、酒造りの神様といわれる「農口尚彦」という杜氏がつくるお酒が知られていますが、他には、山中教授がノーベル賞受賞時に振る舞われた kiss of fire という日本酒もあり試飲してきました。飲みやすいです。大浴場でゆっくり過ごした後、大広間で夕食。各家庭の子供たちが仲良くなって遊んでいる様子が微笑ましく見られました。食後は 1 つの部屋に帖佐前教授、亀井教授、師長さんも含め、皆で集まって語らいました。旅館ならではの夜でした。

翌日は金沢市民の台所、近江町市場で自由行動より始まり。地産の食材がずらりと並び、大変活気があって賑わっていました。せっかくの北陸ということで、昼からお寿司を食べ、乾杯し、市場ならではの剥きたてのエビやウニを食べました。次の目的地、金沢 21 世紀博物館では現代的なアート作品を中心に、ただ鑑賞するだけでなく、見て、聞いて、様々な芸術に触れることができる空間でした。最後に、金沢にある 3 つの有名な茶屋街のうちの 1 つ、ひがし茶屋街へ向かいました。歴史を感じる美しい街並みを横目に、金箔ソフトを食べたり、立ち飲みしたり、雑貨を眺めて過ごしました。2 日目の夕食はカニ料理、2 次会では金沢おでんを食べ、金沢の食と文化を堪能した日でした。

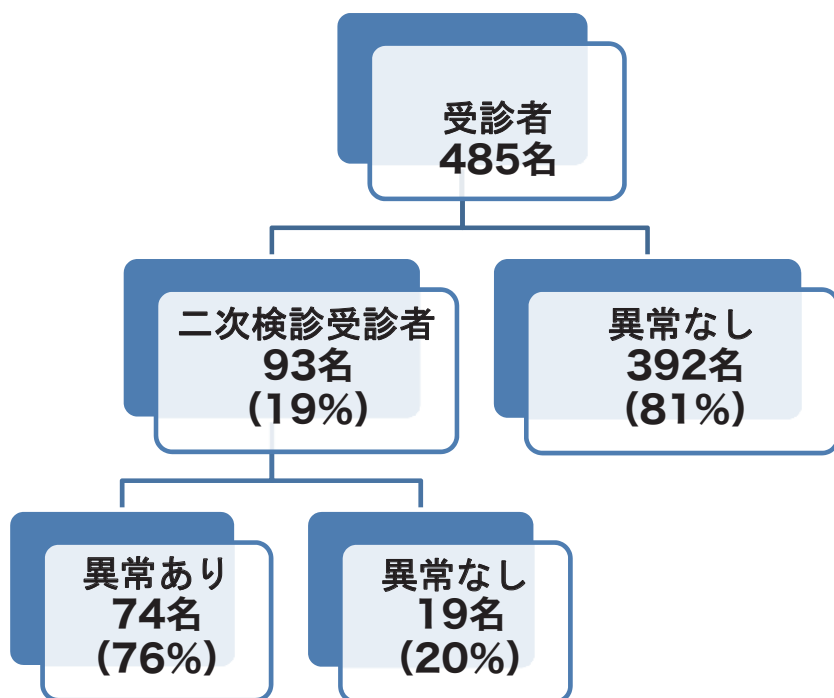
最終日は兼六園。澄み切った青空と残雪のコントラストという、まさに映えスポット。庭と呼ぶには豪華で厳かな場所でした。1 周を 1 時間程度ゆっくり歩き、園内で昼食を済ませてから空港、無事に宮崎へ戻ってきました。

金沢に古くから伝わる言い伝えに「弁当忘れても傘忘れるな」というものがあるそうです。急に天気が変わって雨や雪が降ることがある、北陸地方の気候を表現した言葉です。今回の旅では天気急変はなかったものの、人生も仕事も何が起こるかわかりません。心には傘を忘れずに過ごしていこうと思いながら帰路につきました。

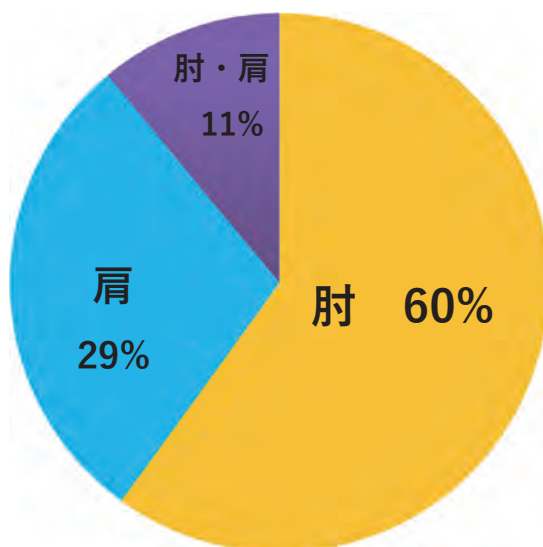


令和 6 年度宮崎県少年野球検診結果報告（2024 年 12 月 15 日実施）

1、受診者の内訳

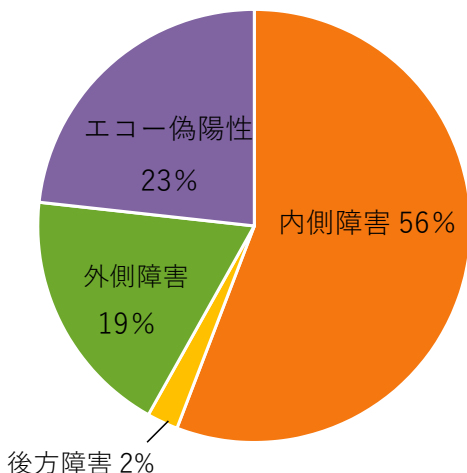


2、二次検診で、異常があった選手(74名)の異常部位



二次検診受診者の 71 % に肘の異常を認めました。

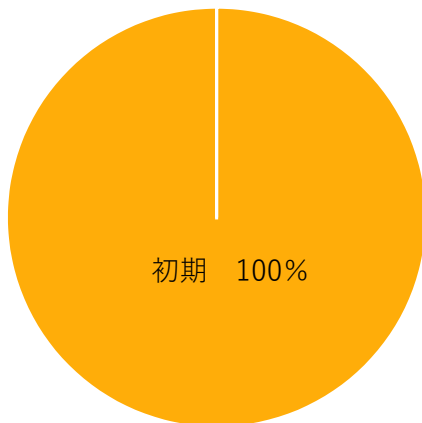
3、二次検診で肘に異常を認めた選手 (52名) の内訳



- ・ **内側障害**：肘の内側の靱帯、骨端軟骨の障害。投球を控えると治りやすい。
- ・ **外側障害**：上腕骨小頭離断性骨軟骨炎。肘外側の軟骨障害。年齢や進行状態など発見の時期に応じた投球禁止が必要である。**場合によっては手術が必要となり、後々障害が残ることがある。**
- ・ **エコー偽陽性**：明らかな外側障害ではないが、疑わしく、経過観察が必要である。

短期間の投球禁止で治る内側障害は56%でしたが、長期間の投球禁止、場合によっては手術が必要となる外側障害を19%（8肘）に認めました。

4、肘外側障害の病期



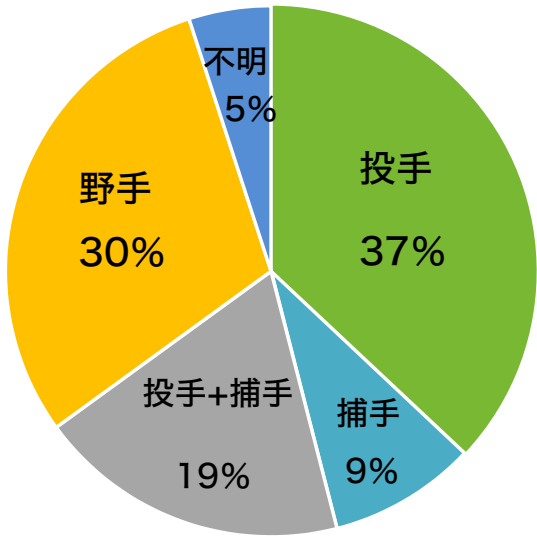
外側障害は初期、分離期前期に発見されれば手術せずに、障害なく治ることが多いです。

しかしその時期は症状が出にくく、症状が出たときには進行しています。そのため、検診で、**初期、分離期前期に見つけることが重要です。**

以前の検診で早期に発見され、手術をせずに（保存的に）野球に復帰している子どもたちがたくさんいます。

外側障害8肘全例が初期に手術せず治癒する確率が高いことが分かりました。検診は早期発見に効果があったと言えます。

5、肘に異常がある選手のポジション

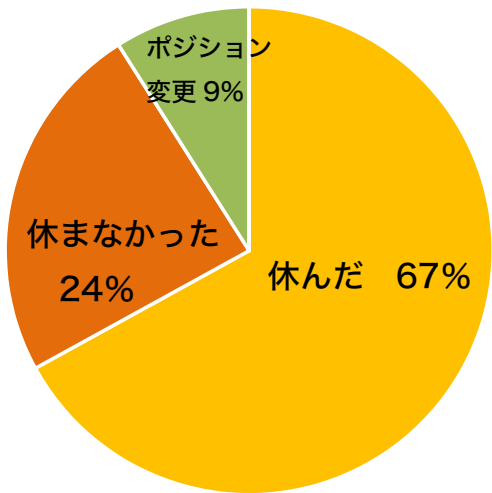
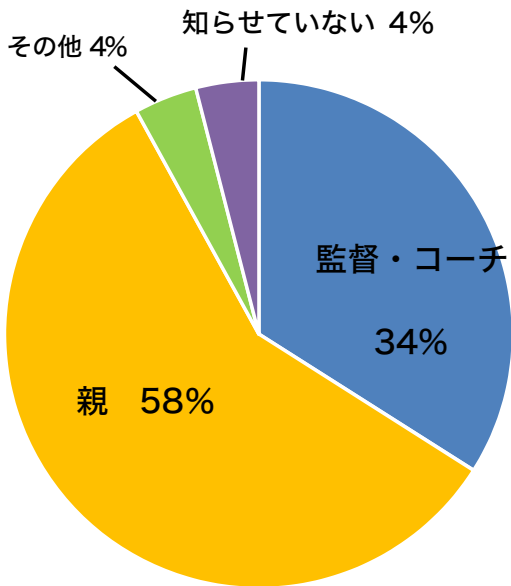


肘の異常は投球機会が多い投手か捕手の65%に認めました。

6、肘に痛みがあったときの対応(選手問診票より)

問：誰かに知らせましたか。
(734名中186名が回答*複数回答含む)

問：練習は休みましたか。
(734名中139名が回答*複数回答含む)



96%の選手が、監督もしくは親に痛みのあることを伝えているにもかかわらず、24%の選手は練習を続けていました。

7、結果より

痛みがあっても練習を続けている人の割合は、これまでの検診結果より少なくなっていました。

保護者や指導者の皆様のおかげで、これまでの検診に効果があったものと考えます。

投球休止で改善する内側障害が子供には多く、休める環境ができると外側障害への悪化も予防できます。予防には誰かにSOSを出せる、投球を休止しやすい環境作りが野球肘には重要です。

小学生の野球障害のほとんどは肘障害です。肘には成長軟骨が多く、負担がかかりやすいために生じます。今回の調査で投球機会と関係していた肘障害の中でも短期間の休息で改善する内側障害が56%で、長期間の投球禁止や場合によっては手術が必要な外側障害が19%でした。検診で発見された外側障害は全て手術せずに治癒する初期、分離期前期であり、早期発見に検診は有効でした。

子供たちが肘痛を自覚した時に、報告しやすく投球を控えやすい環境作りが予防に大切です。選手が大好きな野球を長く続けられるように、指導者、保護者、医療者が協力して選手を守っていきましょう。早期発見、早期治療のため肘に支障があるときは整形外科受診、検診への参加よろしく願いいたします。

リトルリーグと全日本軟式野球連盟の投手規則

○ リトルリーグ (2017年度より)

リトル年齢投球制限

- ・ 11～12歳 1日 85球
- ・ 9～10歳 1日 75球

リトル年齢 14歳以下の投手(1日)

- ・ 66球以上の投球、4日間の休息が必要
- ・ 51～65球の投球、3日間の休息が必要
- ・ 36～50球の投球、2日間の休息が必要
- ・ 21～35球の投球、1日間の休息が必要
- ・ 1～20球の投球、休息日は必要ない

※ 1試合中に4イニング以上捕手を務めた選手は、その日は投手を務めてはならない。

○ 全日本軟式野球連盟

投手の投球制限について 2020年改正

- ・ 70球以内 (4年生以下 60球以内)
- ・ 試合中規程投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。





ふなもと整形外科開院のご挨拶

ふなもと整形外科 船元 太郎

このたび福田健二先生からふくだ整形外科を承継、開業いたしました。福田先生には開業に当たりスタッフ、各関係者（社）、医院運営に関する多くのことをご伝授頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。開院に際し整形外科教室や同門会、同門の先生方をはじめ、多くの関係者の方々にお祝いをして頂きました。紙面をお借りして感謝申し上げます。

開院して3週間が過ぎたところですが落ち着いた状況とはとても言えません。ただ目の前の課題を処理していくばかりです。しかしながら少しばかり考える時間もできましたので開院前後を振り返りたいと思います。

準備のために医院であれこれ準備していると何人もの近隣の方々が診察目的に訪れました。また、看板を掛けた頃から「いつ開院するのか」と聞かれることが増え、その期待に応えなければならないと身が引き締まる思いでした。

準備では医療人育成推進センターで力を入れていたシナリオシミュレーションの経験をもとに模擬診療を繰り返しました。電子カルテの特性に合わせて患者や情報の受け渡しを企図しましたが、シミュレーションの限界を感じ不安を抱えながらの開院となりました。

開院日には寂しすぎず多すぎない程度の患者さんに来院して頂きました。シミュレーションで不安に思っていたところはやはり問題が発生しました。一番大きな問題は採血オーダーが外注先に連携せず検査オーダーが成立しなかったことでした。シミュレーション時は問題なかったのですが、外注先へのオーダーがウィルスのな動作と認識されたのが原因で、その日はシステムのセキュリティを緩める対処でなんとかオーダーできました。この間患者さんにはお持ちしていただくしかなく、説明しようにも原因がわからなかったためシステムのトラブルとしか言えず、不快な思いをさせてしまいました。とはいえ、準備だけしていた日々よりも患者さんと向き合えるようになった開院後の方がストレスは小さくなりました。これはスタッフも同じのようです。課題が少なくなったわけではなく、むしろ増えているかもしれませんが、具体的な課題は漠然とした不安よりも対処できそうな気がします。今はon the job trainingの期間と捉えてスタッフともどもよりスムーズに診療できるよう日々修正を加えております。

これまでの勤務医としての経験を通じて、地域医療の重要性を認識しておりました。地域医療では、患者様一人ひとりに寄り添い、安心して治療を受けていただける環境を提供することが大切だと考えています。わかりやすい説明を心がけ、地域の皆様に信頼される医療を提供できるよう、誠心誠意努力してまいります。

開院にあたり、これまで温かいご支援を賜りました皆様に心より感謝申し上げます。

今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





賛助会員入会ごあいさつ



社会医療法人同心会 古賀総合病院
古賀 倫太郎

初めまして、この度、宮崎大学医学部整形外科同門会に賛助会員として入会させていただくことになりました古賀総合病院の古賀倫太郎と申します。前会員であった当院の今村前院長先生から引き継ぐ形で入会させていただくことになりました。私自身は消化器外科医で肝胆膵領域の悪性疾患を専門に診療を行っておりますが、最近では専ら理事長の職務が中心となり、病院を中心に介護老人保健施設、訪問看護ステーション、駅前クリニック、健診センター、メディカルフィットネス、看護学校の運営に奔走する毎日です。趣味は「下手の横好き」と言えるほど熱心でもないのですが、休日に時々ゴルフをたしなむ程度にやっており、会長の平川先生をはじめ、医局OBの先生方には宮崎市郡医師会しのめゴルフ同好会でご指導頂いております。

宮崎大学医学部整形外科学講座はこれまで培われてきたスポーツ医学の強みを基盤にこれからの「人生百年時代」の健康寿命延伸のため、脊椎脊髄外科、特に再生医療を中心に最先端かつ高度な医療の提供を目指されていると伺っております。宮崎県においては高齢化率が34%に達し、県民の3人に1人が65歳という状況になっており、私どもの病院でも日常診療において、高齢者救急や急性期疾患に併存するフレイルなどが問題となっております。私の専門領域の学会においてもフレイルはトピックスの一つであり、整形外科領域の診療の重要性が高まっていることを非常に感じます。これからも宮崎大学医学部整形外科学講座との連携を深め、医局の発展に少しでも貢献できればと考えております。微力ではございますが、どうぞご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

賛助会員入会ごあいさつ



倉内整形外科病院
寶 亀 淳

この度、宮崎大学医学部整形外科教室同門会に賛助会員として入会させていただきました倉内整形外科病院の寶亀淳です。

平成5年に杏林大学を卒業し同大学整形外科医局に入局。その後、関連先にて研修をし平成13年より実家であります倉内病院と母校外来との二拠点生活の後に令和元年より完全に倉内病院にて勤務しております。

当院の概要について述べさせていただくと、昭和48年に私の祖父であります倉内省三が病院を開業。昭和58年に法人化。平成11年に私の父親であります寶亀玲一が理事長・院長に就任し、同年6月に新築移転。令和4年4月より私が院長に就任しております。

当院は許可病床60床、整形外科及びリハビリテーション科、麻酔科（ペインクリニック専用施設10床）を標榜しております。

宮崎大学整形外科医局の先生方におかれましては祖父の時代には田島直也教授に、父親の代におきましては帖佐悦男教授に大変お世話になり感謝申し上げます。

私が平成13年に都城で勤務を始めてからも医局関連先であります都城医療センター、またその後移転併設されました都城市郡医師会病院整形外科の先生方には患者様の受け入れに関しまして日ごろから大変お世話になっており感謝申し上げます。

今回賛助会員としての入会にあたりましては、私の4歳下である弟（寶亀登）が現在も他県との二拠点生活ではありますが当院の常勤医として勤務し始めたこともあり合わせて入会のお願いとさせていただいた次第であります。

現在の医療状況を鑑みますと我々のような小規模病院は経営的にも非常に厳しい状況にあると考えられますが、地域の患者様の為に整形外科としてQOLの向上など必要な役割を実践していけるよう大学医局の皆様また地域基幹病院および都城市内開業医の先生方とともに医業を実践していけたらと考えております。

患者様の紹介に関しましても紹介先の医療機関にメリットがあり、研修でいらしている先生方のためになるような症例を紹介できるよう努めたいと思います。

医局におかれましては昨年10月より亀井直輔新教授を迎え新しい体制での船出のタイミングに私どもも微力ながら協力できますよう努めて参ります。

整形外科教室の皆様方には重ねて御礼を申し上げますとともに今後ともよろしくご指導を賜りますようお願い申し上げます。



賛助会員入会ごあいさつ



倉内整形外科病院
寶 亀 登

同門の皆様はじめまして、先日は同門歓迎会に参加させて頂き有難うございました。

また推薦して頂いた亀井直輔教授、中村嘉宏先生に併せて感謝致します。

私は父が鹿大に勤務していた関係もあり幼少期から高校まで鹿児島で過ごしています。倉内整形は母の実家です。大学卒後は平成9年に母校の杏林大学に入局しています。脊椎班に主におりましたがマンパワーが少なかったこともあり外傷・関節も少々といったところです。当院は姉がペインクリニックをしていることもあり脊椎疾患が割と多く、保存治療から内科合併症によりますが脊椎手術も多少行っております。これまでも特に都城市内の同門の先生にはお世話になり仲良くさせて頂いておりました。

現在も医局・同門の先生方にはサポートを頂いておりますが、今後も微力ながら地域医療に貢献して参りたいと思いますのでご協力のほどお願い申し上げます。

新入会員自己紹介（正会員）



名 前：池末 和弘

生年月日：1996 年 11 月 8 日

卒業高校：福岡県立東筑高等学校

卒業大学：宮崎大学

今年度宮崎大学整形外科に入局させていただきました、池末和弘と申します。

北九州市出身で東筑高校を卒業後、同志社大学で1年間、宮崎大学で6年間大学生活を過ごし、初期研修は沖縄県立中部病院で行いました。

小学生の頃からずっと野球を続けており、野球を通じてたくさんの経験や出会いに恵まれてきました。今後は野球に恩返しできるような活動にも携わっていきたいと思います。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



名 前：関本 朝日

生年月日：1997 年 12 月 10 日

卒業高校：宮崎県立宮崎西高等学校

卒業大学：鹿児島大学

この度宮崎大学整形外科に入局させていただきました、関本朝日と申します。

私は熊本で生まれ、宮崎市で育ちました。鹿児島大学医学部を卒業後、宮崎大学病院で初期研修を行いました。大学時代はダンスサークルと管弦楽部・市民吹奏楽団（ホルン）に所属していました。

整形外科医を志したきっかけは、研修医2年目での整形外科研修です。多岐にわたる分野で、幅広い年齢層の患者さんの生活、趣味、仕事をサポートできることに魅力を感じました。

先生方のような、確かな技術を持った優しい整形外科医になれるよう、日々研鑽を積んでいきます。今後ともご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。

新入会員自己紹介（正会員）



名 前：濱川 晃輔

生年月日：1997 年 11 月 25 日

卒業高校：宮崎県立宮崎西高等学校

卒業大学：宮崎大学

今年度宮崎大学整形外科に入局させていただきました濱川晃輔と申します。

宮崎市出身で宮崎西高校・宮崎大学医学部を卒業し、県立宮崎病院で初期研修を行いました。中学・高校では剣道部、大学では剣道部・ラグビー部に所属しておりました。

怪我をすることが多く、整形外科を受診することも度々あり、整形外科に興味を持ちました。また、スポーツと今後も関わっていきたいという気持ちとカッコいい先輩方の姿を見てこの道を選びました。趣味は筋トレと釣りで最近少しずつ仕事に慣れ、筋トレを再開できました。手術で邪魔にならないような体型を作っていきたいと思います。

就職し2ヶ月が経とうとしていますが、まだまだわからないことが多く、日々勉強の毎日ですが、楽しく過ごしております。教室及び同門会の先生方にはご迷惑をおかけすることが多々あるとは思いますが、早く一人前になれるよう精進していきますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



同門会総会 議事報告

令和7年度総会：令和7年4月12日（土）17：00～17：30 宮崎観光ホテル

1. 令和6年度（R6.4/1～R7.3/31）事業報告

(1) 会員状況（令和7年2月28日現在）

正会員：201名、賛助会員：46名

(2) 入会・退会

正会員入会：	佐々木一駿 先生	榊 昂典 先生	鯨島 勇汰 先生
	田中 涼太 先生	土屋 慧祐 先生	山下紀美子 先生
	坂本 竜一 先生	天野 翔太 先生	亀井 直輔 先生
正会員退会：	谷口 昇 先生	田中 正一 先生	
賛助会員入会：	菅田 真生 先生	古賀倫太郎 先生	
賛助会員退会：	矢野 良英 先生	前原 尉 先生	今村 卓郎 先生

(3) 慶弔

御結婚 令和6年8月11日 榊 昂典 先生

(4) 事業報告

令和6年4月6日（土）：第1回役員会、同門会総会、奨励賞、新入医局員歓迎会
「宮崎観光ホテル」
11月：同門会名簿・会則発行
11月23日（土）：第26回同門会テニス大会（優勝者：尾田 朋樹 先生）
11月30日（土）：亀井 直輔教授 就任祝賀会、第2回役員会
「宮崎観光ホテル」
12月1日（日）：第31回同門会ゴルフ大会（優勝者：江夏 剛 先生）
令和7年1月：第35号同門会誌発行
3月5日（水）：第3回役員会「ホテルメリージュマングリン」

(5) 第17回宮崎整形外科医学奨励賞

受賞者：川野 啓介 先生、永井 琢哉 先生

座長：日吉 優 先生

(6) 教室支援（留学・学会・研究助成など）

- ・第46回九州手外科学研究会（令和7年2月1日、宮崎市民プラザ）
- ・記念祝賀会関連（帖佐先生を囲む会、亀井教授就任祝賀会）
- ・英語論文支援経費（2件）

- ・短期留学支援費（1 件）

(7) 会計報告

令和 6 年度決算は監査報告があり、総会（R7.4/12）にて承認された。

2. 令和 7 年度（R7.4.1 ～ R8.3.31）事業計画・予算

(1) 令和 7 年度の予算案は総会（R7.4/12）にて承認された。

(2) 役員会開催

第 1 回役員会（令和 7 年 4 月 12 日、宮崎観光ホテル）

第 2 回役員会（令和 7 年 10 月頃、未定）

第 3 回役員会（令和 7 年 11 月 29 日、宮崎観光ホテル）

第 4 回役員会（令和 8 年 3 月頃、未定）

(3) 総会、歓迎会、講演会、忘年会開催

令和 7 年 4 月 12 日（土）：同門会総会、奨励賞、新入教室員歓迎会
「宮崎観光ホテル」

11 月 29 日（土）：はまゆう整形外科セミナー、忘年会
田島直也先生米寿祝賀会併催「宮崎観光ホテル」

(4) 第 18 回宮崎整形外科医学奨励賞

受賞者：山口 洋一郎 先生、森田 雄大 先生

座 長：永井 琢哉 先生（第 17 回受賞者）

表彰式および講演は、令和 7 年 4 月 12 日の新入教室員歓迎会で実施

(5) 親睦行事（予定）

令和 7 年 11 月（未定）：第 27 回同門会テニス大会

令和 7 年 11 月 30 日（日）：第 32 回同門会ゴルフ大会

(6) 会則並びに同門会誌発行

①第 36 号（令和 7 年 8 月頃） ②会則名簿（令和 7 年 11 月頃）

(7) 教室支援（留学・学会・研究助成など）

- ・第 150 回西日本整形・災害外科学会学術集会

（令和 7 年 11 月 15 ～ 16 日、宮崎市民プラザ）

- ・記念祝賀会関連
- ・英語論文支援経費
- ・短期留学支援費

教室同門の研究実績

[2023.1 ~ 2023.12]

◆原 著

- 1) Efficacy of Diagnosing Carpal Tunnel Syndrome Using the Median Nerve Stenosis Rate Measured on Ultrasonographic Sagittal Imagery: Clinical Case-Control Study
Toshiyuki Okura, Tomohisa Sekimoto, Tomomi Matsuoka, Hajime Fukuda, Hiroaki Hamada, Takuya Tajima, Etsuo Chosa
Hand (NY), 18 (1_suppl) : p133S–138S, 2023, 1
- 2) Leg Muscle Activity and Joint Motion during Balance Exercise Using a Newly Developed Weight-Shifting-Based Robot Control System
Go Yamako, Kirari Ito, Takanori Muraoka, Etsuo Chosa
International Journal of Environmental Research and Public Health, 20 (2) : p915, 2023, 1
- 3) Influence of the Tibial Tunnel Angle and Posterior Tibial Slope on "Killer Turn" during Posterior Cruciate Ligament Reconstruction: A Three-Dimensional Finite Element Analysis
Fan Yang, Takuji Yokoe, Koki Ouchi, Takuya Tajima, Etsuo Chosa
Journal of Clinical Medicine, 12 (3) : p805, 2023, 1
- 4) A Traumatic Neuroma Formation Following Fasciotomy for the Treatment of Tibialis Anterior Muscle Herniation: A Case Report
Takuji Yokoe, Takuya Tajima, Nami Yamaguchi, Yudai Morita, Etsuo Chosa
medicina, 59 (3) : 2023, 2
- 5) Insertion sites of the muscles attached to the clavicle: a cadaveric study of the clavicle
Hiroyuki Imazato, Nobuyasu Takahashi, Akira Sawaguchi, Yusuke Hirakawa, Yoichiro Yamaguchi, Masaru Hiyoshi, Takuya Tajima, Etsuo Chosa
BMC Musculoskeletal Disorders, 24 (1) : 2023, 3
- 6) Effect of the volume of resected discoid lateral meniscus on the contact stress of the tibiofemoral joint: A finite element analysis
Takuji Yokoe, Koki Ouchi, Taisei Matsumoto, Takuya Tajima, Etsuo Chosa
The Knee, p57–63, 2023, 3

- 7) Risk factors of failure results after double-bundle reconstruction with autogenous hamstring grafts for isolated posterior cruciate ligament rupture cases
Yudai Morita, Takuya Tajima, Nami Yamaguchi, Takuji Yokoe,
Makoto Nagasawa, Tomomi Ota, Kouki Ouchi, Etsuo Chosa
Scientific reports, p6192, 2023, 3

- 8) Three-dimensional fine structures in deep fascia revealed by combined use of cryo-fixed histochemistry and low-vacuum scanning microscopy
Hiroyuki Imazato, Nobuyasu Takahashi, Yusuke Hirakawa,
Yoichiro Yamaguchi, Masaru Hiyoshi, Takuya Tajima, Etsuo Chosa,
Akira Sawaguchi
Scientific reports, 13 (1) : p6352, 2023, 4

- 9) Retrograde Autologous Talar Osteocancellous Bone Grafting for the Treatment of Osteochondral Lesions of the Talus: A Technical Note
Takuji Yokoe, Takuya Tajima, Nami Yamaguchi, Yudai Morita,
Etsuo Chosa
Journal of Clinical Medicine, 12 (10) : p3431, 2023, 5

- 10) Risk factors associated with throwing injuries in young baseball players
Makoto Nagasawa, Takuya Tajima, Shuichi Kawagoe, Nami Yamaguchi,
Yudai Morita, Takuji Yokoe, Tomomi Ota, Toshihiko Izumi,
Yasuyuki Ishida, Etsuo Chosa
Journal of Clinical Medicine, 32 (8) : p1673–p1680, 2023, 5

- 11) 脆弱性骨折に対する当院の取り組み—活動を見直し, OLSからFLSに的を絞って得られた効果についての検討—
小牧亘, 帖佐悦男
骨折, 45 (3) : p936–p940, 2023, 5

- 12) Ureter position and risk of ureteral injury during lateral lumbar interbody fusion
Hideaki Hamanaka, Takuya Tajima, Syuji Kurogi, Kiyoshi Higa,
Takuya Nagai, Tomofumi Kuroki, Hiroki Takamori, Syoichiro Mukai,
Toshiyuki Kamoto, Etsuo Chosa
Journal of Orthopaedic Science, 29 : p775–p780, 2023, 5

- 13) Shear stress in the medial meniscus posterior root during daily activities
Takuji Yokoe, Koki Ouchi, Yoichiro Yamaguchi, Masahiro Enzaki,
Takuya Tajima, Etsuo Chosa
The Knee, 43 : p176–p183, 2023, 6

- 14) 宮崎式サーフィン競技安全度評価を1シーズン使用してみて
小島岳史, 柏木輝行, 柏木悠吾, 福嶋研人, 吉田尚紀, 石田翔太郎, 帖佐悦男,
田島卓也
九州・山口 スポーツ医・科学研究会誌, 34 : p28–p32, 2023, 7

- 15) The effect of six dried and UV-C-irradiated mushrooms powder on lipid oxidation and
vitamin D contents of fish meat
Shuhei Kido, Etsuo Chosa, Ryusuke Tanaka
Food Chemistry, 398 : p133917, 2023, 8

- 16) Is the Small Ossicle of Type 1 Accessory Navicular a Cause of Foot Pain?—A Case
Report
Takuji Yokoe, Kazushi Uemichi, Takuya Tajima, Etsuo Chosa
medicina, 59 (9) : p1562, 2023, 8

- 17) Tmem161a regulates bone formation and bone strength through the P38 MAPK pathway
Takuya Nagai, Tomohisa Sekimoto, Syuji Kurogi, Tomomi Ohta,
Shihoko Miyazaki, Yoichiro Yamaguchi, Takuya Tajima, Etsuo Chosa,
Mai Imasaka, Kumiko Yoshinobu, Yoshitaka Hishikawa, Taro Funamoto
Scientific reports, p14639, 2023, 9

- 18) 頸部傍脊椎領域原発悪性リンパ腫に対し椎弓形成術を施工した小児の1例
飯田暁人, 濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 黒木智文, 日高三貴, 帖佐悦男
整形外科と災害外科, 72 (4) : p735–p738, 2023, 9

- 19) 腰椎前側方固定術後のインストゥルメント 周囲感染の治療経験
鮫島央, 濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 黒木智文, 日高三貴, 帖佐悦男
整形外科と災害外科, 72 (4) : p749–p753, 2023, 9

- 20) 県境をまたいで転送されたGustilo III B足関節開放骨折—南九州重度四肢外傷トラウマネット
ワーク初回症例—
村岡辰彦, 上野宜功, 増田圭吾, 井上三四郎, 日吉優, 今里浩之, 石原和明,
天辰愛弓, 瀬戸山傑
整形外科と災害外科, 72 (3) : p384–p386, 2023, 9

- 21) 股関節高位脱臼に対して大腿骨遠端短縮骨切りを併用した人工関節再置換術の1例
座間味陽, 中村嘉宏, 坂本武郎, 舩元太郎, 日吉優, 山口洋一朗, 今里浩之,
平川雄介, 帖佐悦男
整形外科と災害外科, 72 (3) : p424-p426, 2023, 9

- 22) 第2趾DIP関節脱臼に対する観血的整復術後の早期スポーツ復帰の一例
川越亮, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠, 森田雄大, 横江琢示, 帖佐悦男
整形外科と災害外科, 72 (3) : p485-p487, 2023, 9

- 23) 当院における高齢者の頤椎・頸髄損傷
石原和明, 北島潤弥, 森田恭史, 福永幹, 小菌敬洋, 栗原典近
整形外科と災害外科, 72 (3) : p576-p578, 2023, 9

- 24) Increasing baseline aortic valve peak flow velocity is associated with progression of
aortic valve stenosis in osteoporosis patients—a possible link to low vitamin D status
Toshihiro Tsuruda, Taro Funamoto, Chiyoko Suzuki,
Yoshimasa Yamamura, Michikazu Nakai, Etsuo Chosa, Koichi Kaikita
Archive of Osteoporosis, 18 (129) : 2023, 10

- 25) Do standardization of the procedure reduce measurement variability of the sonographic
anterior drawer test of the ankle?
Shuhei Iwata, Satoshi Yamaguchi, Seiji Kimura, Soichi Hattori,
Jun Sasahara, Ryuichiro Akagi, Kentaro Amaha, Tomonori Atsuta,
Noriyuki Kanzaki, Koji Noguchi, Hirokazu Okada, Toru Omodani,
Hiroshi Ohuhi, Hiroyuki Sato, Satoshi Takada, Kenji Takahashi,
Yuichi Yamada, Tetsuro Yasui, Takuji Yokoe, Shun Fukushima,
Daisuke Iida, Yoshimasa Ono, Yohei Kawasaki, Yuki Shiko, Takahisa Sasho,
Seiji Ohtori
Journal of Orthopaedic Science, 29 (6) : p1438-p1444, 2023, 11

- 26) 都城市における世界骨粗鬆症デー (WOD) に合わせた啓発活動の取り組みについて
小牧 亘, 前原孝政, 太田尾祐史, 内村裕起, 大久保節子, 山下理恵, 南中道里香,
森本直美, 野崎千穂, 胡摩窪冬杏, 深野木快士, 植村貞仁, 帖佐悦男
宮崎整形外科研究会誌, 28 : p3-p5, 2023

- 27) 組織を中心に検討した非定型大腿骨骨折の骨癒合遷延の要因—長期ビスホスホネート服用を
含めた骨細胞壊死傾向の関与について—
小牧 亘, 深野木快士, 植村貞仁, 帖佐悦男
宮崎整形外科研究会誌, 28 : p6-p11, 2023

- 28) 骨粗鬆症対象患者を見直すことにより、骨粗鬆症診療システムを再構築できた経験
前原孝政, 小牧亘, 深野木快士, 植村貞仁, 太田尾祐史, 内村裕起,
大久保節子
骨粗鬆症学会誌1号, 1 : p27-p34, 2023
- 29) Conjoined nerve root in a patient with lumbar disc herniation accompanied by a
lumbosacral spine anomaly: a case report
Hiroshi Kuroki, Takuya Nagai
Journal of Medical Case Reports, 17 : article number 82, 2023
- 30) Remnant-Preserved Single-Bundle Anterior Cruciate Ligament Augmentation in Multi-
ligamentous Knee Reconstruction
Tajima T, Yamaguchi N, Morita Y, Yokoe T, Nagasawa M, Ota T, Kawagoe S,
Nakamura Y, Chosa E.
J Knee Surg, p1095-p1101, 2023
- 31) Seita J. Objective detection of high-risk tackle in rugby by combination of pose
estimation and machine learning
Nishio M, Nonaka N, Fujihira R, Murakami H, Tajima T, Yamada M,
Maeda A,
New Frontiers in Artificial Intelligence pp, (13859) : p215-p228, 2023
- 31) 交通外傷による下腿切断症例における膝関節靱帯断裂と義肢歩行に関する研究－遷延する歩
行障害と社会復帰の改善および変形性膝関節症予防を目指して
田島卓也
医研センタージャージャーナル 研究助成特集号, p5-p14, 2023

◆総 説

- 1) ビスホスホネート (BP) 製剤の中止基準
小牧 亘
medicina, 60 (9) : p1474-p1479, 2023
- 2) 第 37 回 日本整形外科学会基礎学術集会を終えて
帖佐悦男
日本整形外科学会雑誌, 97 (4) : p298-p301, 2023

3) 海外遠征帯同時の準備・注意点

山口奈美, 帖佐悦男

臨床スポーツ医学, 40 (4) : p350-p354, 2023, 4

4) 人工股関節再置換術における合併症対策ー弛みのないセメントレスシステムを安全に抜去する手術手技ー

中村嘉宏, 帖佐悦男

別冊整形外科 (人工関節における進歩), 83 : p164-p170, 2023, 4

5) 側弯症学校健診の課題と展望

黒木浩史

関節外科 基礎と臨床, 42 (4) : p24-p31, 2023, 4

6) 変形性股関節症の画像診断 (X線像, CT, MRIなど)

帖佐悦男

臨床雑誌「整形外科」増刊, 74 (6) : p609-p615, 2023, 5

7) ナショナルチームドクター・トレーナーが書いた種目別スポーツ障害の評価とリハビリテーション

帖佐悦男

臨床雑誌整形外科, 74 (8) : p892-p892, 2023, 7

8) 肩関節の機能解剖

宮崎茂明, 落合優, 石田康行, 荒川英樹, 帖佐悦男

リハビリテーション診療に必要な動作分析 2023年7月増刊号,
(289) : p93-p98, 2023, 7

9) X線診断Q&A

船元太郎

臨床雑誌整形外科, 74 (9) : p999-p1000, 2023, 8

10) 安静臥床の病態生理とリハビリテーション治療

荒川英樹

宮崎県医師会医学会誌, 47 (2) : p135-p141, 2023, 9

11) 学会で発表することの意義

田島卓也

臨床雑誌整形外科, 74 (10) : p1072-p1072, 2023, 9

12) 偽関節治療のエキスパートを目指そう

帖佐悦男

関節外科 基礎と臨床, 42 (11) : p5-p5, 2023, 11

13) 偽関節の保存療法

日吉優, 帖佐悦男

関節外科 基礎と臨床, 42 (11) : p23-p30, 2023, 11

14) わが国の側弯症検診

黒木浩史

臨床整形外科, 58 (11) : p1361-p1366, 2023, 11

15) 世界の側弯症学校検診 ―歴史的背景と昨今の情勢―

黒木浩史

Journal of Spine Research, 14 (11) : p1346-p1353, 2023, 11

◆学会報告（口演）

1) 当院における重度心身障害者に対するITB療法の治療経験

比嘉聖, 永井琢哉

第38回九州小児整形外科集談会, 2023, 1, 福岡

2) 当院における小児脊髄損傷のヒト自己骨髄由来間葉系幹細胞（ステミラック注）適応2症例の経験

永井琢哉, 濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 黒木智文, 日高三貴, 帖佐悦男

第38回九州小児整形外科集談会, 2023, 1, 福岡

3) 当センターにおける股関節の軟部組織手術後に再手術を行った症例の検討

梅崎哲也, 川野彰裕, 川越悠輔, 帖佐悦男

第38回九州小児整形外科集談会, 2023, 1, 福岡

4) 宮崎県における乳児股関節健診・検診の取り組みと現状

川野彰裕, 梅崎哲也, 川越悠輔, 帖佐悦男

第38回九州小児整形外科集談会, 2023, 1, 福岡

5) 橈骨遠位端骨折に合併した尺骨遠位端骨折に対する治療についての検討

甲斐糸乃, 戸田雅, 鎌田綾

第44回九州手外科研究会, 2023, 1, 沖縄

- 6) 手指の骨髄炎に対する高圧酸素療法の有効性
戸田雅, 甲斐糸乃, 信國里沙
第44回九州手外科研究会, 2023, 1, 沖縄
- 7) 上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の手術成績
長澤誠, 大田智美, 帖佐悦男
第35回日本肘関節学会学術集会, 2023, 2, 山形
- 8) Sauè-Kapandji術後に橈骨頭の前方偏位を認めた3例
甲斐糸乃, 大田智美, 帖佐悦男
第35回日本肘関節学会学術集会, 2023, 2, 山形
- 9) ジャパンラグビーリーグワンのメディカルコントローラー外傷および変形性関節症への対応を含めー
田島卓也
第7回ラグビードクターカンファランス, 2023, 2, 福岡
- 10) 腰痛患者へのマッケンジー療法介入による症状の変化について
早野浩, 一井竜弥, 山元ありさ, 出口彩乃, 佐藤有紀, 河原勝博
第45回宮崎リハビリテーション研究会, 2023, 2, 宮崎
- 11) 術前のアルブミン低値が人工股関節全置換術前・後の痛み、動作、メンタルへ及ぼす影響
安達亮太, 柏木輝行, 小島岳史, 塩崎猛
第45回宮崎リハビリテーション研究会, 2023, 2, 宮崎
- 12) 人工股関節全置換術・人工膝関節全置換術を施行された患者は尿失禁が改善する可能性がある
岩下睦美, 塩崎猛, 柏木輝行, 小島岳史, 元山翔太
第45回宮崎リハビリテーション研究会, 2023, 2, 宮崎
- 13) 大腿骨近位部骨折術後患者の下肢荷重力と膝関節伸展筋力は日常生活活動能力と相関関係がある
梅北岳人, 柏木輝行, 小島岳史, 塩崎猛
第45回宮崎リハビリテーション研究会, 2023, 2, 宮崎
- 14) 視床出血により片麻痺を呈した症例に対し、カペナースプリント改良版を用いて作業活動が改善した事例
嘉月惟能, 久留聖也, 浪平辰州, 岩佐一真
第45回宮崎リハビリテーション研究会, 2023, 2, 宮崎

15) 当院デイケア利用者に対する立ち上がり動作に関連する因子の検討

満安隆之, 砂川一馬, 圓福陽介, 宮里京子, 大山香代子, 村永千世恵, 松山孝志,
植村貞仁, 深野木快士, 小牧亘
第45回宮崎リハビリテーション研究会, 2023, 2, 宮崎

16) 股関節固定・強直後THA患者の治療成績、患者満足度評価

日吉優, 帖佐悦男, 中村嘉宏, 坂本武郎, 山口洋一郎, 今里浩之, 平川雄介
第53回日本人工関節学会, 2023, 2, 神奈川

17) Trunnionosisに対する治療戦略偽腫瘍再発の観点からスリーブ変更だけでいいのか？ステム抜去か？

中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 日吉優
第53回日本人工関節学会, 2023, 2, 神奈川

18) 緩みのある高位脱臼したTHAに対して大腿骨遠位短縮骨切り併用し再置換施行した一例

中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 日吉優
第53回日本人工関節学会, 2023, 2, 神奈川

19) ピナクルGRIPTIONcupを用いた人工股関節全置換術の早期臨床成績（国内多施設前向き共同研究）

兼氏歩, 今井浩, 洲鎌亮, 福井清数, 秋山治彦, 吉谷純哉, 藤井英紀, 渡邊実,
前田昭彦, 中村嘉宏, 谷口直史, 安田純子
第53回日本人工関節学会, 2023, 2, 神奈川

20) 片側 mechanical lateral ankle laxity 症例の健常側 lateral ankle laxity の評価：ストレス超音波検査による両側足正常コントロールとの比較

横江琢示, 田島卓也, 山口奈美, 森田雄大, 帖佐悦男
第9回九州足の外科学研究会, 2023, 2, 福岡

21) FLS介入患者における腰椎骨密度の変化率に与える因子の検討

蓑原勝哉, 太田尾祐史, 圓福陽介, 東友和, 植村貞仁, 深野木快士, 小牧亘
第45回宮崎リハビリテーション研究会, 2023, 2, 宮崎

22) 当院デイケア利用者に対する立ち上がり動作に関連する因子の検討

満安隆之, 砂川一馬, 圓福陽介, 宮里京子, 大山香代子, 村永千世恵, 松山孝志,
植村貞仁, 深野木快士, 小牧亘
第45回宮崎リハビリテーション研究会, 2023, 2, 宮崎

- 23) サーフィン大会中の心肺蘇生処置の対応経験
一井竜弥, 河原勝博, 小島岳史
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 24) 青島太平洋マラソンの救護活動を経験して
伊波わか葉, 川口翼, 鶴木彩, 落合優, 竹下いづみ, 宮崎茂明, 黒木修司,
荒川英樹, 帖佐悦男
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 25) 車椅子競技選手に対するメディカルチェックの介入について
佐藤勇貴, 松元春香, 川添浩史
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 26) 宮崎式サーフィン競技安全度評価を1シーズン使用してみても
小島岳史, 柏木輝行, 柏木悠吾, 福嶋研人, 吉田尚紀, 石田翔太郎, 帖佐悦男,
田島卓也
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 27) サーフィン競技会における宮崎式安全評価法の使用2年目
石田翔太郎, 小島岳史, 田島卓也, 帖佐悦男
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 28) ラグビー競技での当院における脳振盪の実態
岩佐一真, 今里浩之, 田島卓也, 森田恭史, 横江琢示, 森田雄大, 山口奈美,
比嘉聖, 中村嘉宏, 帖佐悦男, 吉川大輔
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 29) GPSを用いた高校男子サッカー選手のパフォーマンス分析の有用性についてー第100回全国
高校サッカー選手権大会宮崎県大会を通してー
菅原康史, 竹井友理恵, 西岡健太, 尾崎勝博, 小島岳史, 田島卓也
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 30) 全国高校サッカー選手権大会参加チームに対するメディカルチェックの10年
喜多恒允, 日吉優, 永井琢哉, 深尾悠, 樋口誠二, 藤田貢二, 横江琢司, 川越亮,
飯田暁人, 宮本浩幸, 原田昭彦, 樋口潤一
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎

- 31) 侍ジャパン U15ワールドカップ2022 帯同報告
長澤誠, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 森田雄大, 横江琢示, 帖佐悦男
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 32) ハムストリングス腱坐骨結節付着部不全剥離損傷術後に対するリハビリテーション経過と成績
谷合司聖, 高橋淳二, 甲斐紀章, 黒木香玲, 中山富貴, 島袋渉, 宮本浩幸, 樋口潤一
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 33) エリート柔道選手におけるハムストリングⅢ型3度損傷の小経験
座間味陽, 森田雄大, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠, 横江琢示, 帖佐悦男
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 34) 後脛骨筋脱臼の術後に足根管症候群をきたし手術加療を要した1例
三橋龍馬, 福田一, 高橋巧, 久保紳一郎, 田島直也, 田島卓也
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 35) Sports Clinicにおける膝前十字靱帯損傷患者の検討
樋口潤一, 宮本浩幸, 谷合司聖, 高橋淳二, 甲斐紀章, 黒木香玲, 島袋渉,
中山富貴, 高野絹代, 宇都宮葵
第68回宮崎県スポーツ学会, 2023, 3, 宮崎
- 36) 宮崎大学における重度四肢外傷治療の実情と今後の課題
日吉優, 帖佐悦男, 中村嘉宏, 今里浩之, 平川雄介, 山口洋一朗, 森田雄大,
落合秀信
第57回宮崎救急医学会, 2023, 3, 宮崎
- 37) 脛骨付着部を温存した自家半腱様筋腱グラフトによる逆V字型MCL浅層再建術の術後短期成績
森田雄大, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠, 横江琢示, 帖佐悦男
第48回九州膝関節研究会, 2023, 3, 福岡
- 38) 骨粗鬆症性椎体骨折に対するBalloonKyphoplastyの治療成績－BKP単独, BKP＋椎弓切除,
BKP＋後方固定症例の比較検討－
濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 黒木智文, 帖佐悦男
第52回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2023, 4, 北海道
- 39) 透析患者の頭蓋骨CT画像における骨の変化－ハローピンやメイフィールド固定におけるピン
穿破のリスク因子の検討－
濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 黒木智文, 帖佐悦男
第52回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2023, 4, 北海道

- 40) 若年の腰痛患者の診断の際にMRIを使用しなかったら？
三橋龍馬, 高橋巧, 福田一, 久保紳一郎, 田島直也, 田島卓也, 帖佐悦男
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川
- 41) 子供の運動器が危ないー運動の大切さとなぜ子供の頃からロコモ予防が必要かー
帖佐悦男
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川
- 42) 思春期特発性側弯症に対する生理的胸椎後弯形成におけるCoplanar法の有用性ー多施設共同研究ー
山田勝崇, 森平泰, 野尻英俊, 森野忠夫, 中村英一郎, 友利正樹, 大谷和之,
明田浩司, 永井琢哉, 種市洋
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川
- 43) Lumbar modifier BまたはC胸椎特発性側弯症に対する選択的胸椎固定術のLIVは何を基準とするべきか
森平泰, 新井秀和, 山田勝崇, 野尻英俊, 森野忠夫, 中村英一郎, 友利正樹,
大谷和之, 明田浩司, 永井琢哉, 種市洋
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川
- 44) Influence of Tibial Tunnel Angle and Posterior Tibial Slope on “Killer Turn” During PCL Reconstruction: Three-Dimensional Finite Element Analysis
Yang Fan, Takuji Yokoe, Koki Ouchi, Takuya Tajima, Etsuo Chosa
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川
- 45) 高齢者下肢開放骨折の患者立脚型評価による治療成績
大野一幸, 石井桂輔, 黒住健人, 乾貴博, 渡部欣忍, 帖佐悦男
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川
- 46) 整形外科術後患者におけるCOVID-19クラスターによるリハビリ休止の影響の検討
川上広高, 神園純一, 徳久陽一郎, 高田壽愚瑠, 安武祐貴, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川
- 47) 脊椎術後患者における低ナトリウム血症の発生率と危険因子の検討
眞田雅人, 富永博之, 河村一郎, 徳本寛人, 佐久間大輔, 小倉拓馬, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 48) 小児後頭軸椎固定術後のアライメント変化に関して
比嘉聖, 濱中秀昭, 黒木修司, 永井琢哉, 日高三貴, 高橋巧, 帖佐悦男
第97回西日本脊椎研究会, 2023, 6, 福岡
- 49) 思春期特発性側弯症に対するCoplanar法による頸椎アライメントへの影響 (2年間の短期成績)
永井琢哉, 濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 日高三貴, 帖佐悦男, 黒木智文
第97回西日本脊椎研究会, 2023, 6, 福岡
- 50) 頸椎に及ぶ近位胸椎カーブを有する特発性側弯症の検討
山元拓哉, 河村一郎, 富永博之, 嶋田博文, 八尋雄平, 谷口昇
第97回西日本脊椎研究会, 2023, 6, 福岡
- 51) 頸椎症性脊髄症急性憎悪症例における頸椎アライメントの検討
眞田雅人, 河村一郎, 富永博之, 徳本寛人, 小倉拓馬, 黒島知樹, 谷口昇
第97回西日本脊椎研究会, 2023, 6, 福岡
- 52) 胸腰椎破裂骨折に対する経皮的椎弓根スクリューを用いた後方固定術における椎間関節の骨癒合の検討
黒木智文, 濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 日高三貴, 帖佐悦男
第145回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 53) Bertolotti症候群に対して横突起切除術を試行した1例
日高三貴, 濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 黒木智文, 帖佐悦男
第145回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 54) 橈骨遠位端骨折の術中にFlexor Carpi Radialis Brevisを認めた1例
北堀貴史, 森治樹, 池尻洋史, 帖佐直紀, 喜多恒允
第145回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 55) 骨粗鬆症性椎体骨折に対する手術加療の小経験
松本尊行, 川野啓介, 大野和男, 帖佐悦男
第145回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 56) 高齢者の下腿開放骨折に対する治療として四肢切断を選択した1例
北島潤弥, 栗原典近, 小園敬洋, 石原和明, 福永幹, 森田共史
第145回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2023, 6, 福岡

- 57) 膝関節周囲骨折に対して1期的にロボット支援MakoTKAを施行した2例
小島岳史, 柏木輝行, 柏木悠吾, 福嶋研人, 吉田尚紀, 帖佐悦男
第145回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 58) 肩甲上神経麻痺に鏡視下手術を行った3例
長澤誠, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 森田雄大, 横江琢示, 帖佐悦男
第145回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 59) 足関節不安定性を有する距骨三角靭帯付着部裂離骨折の1例
北堀貴史, 森治樹, 池尻洋史, 川越悠輔, 鮫島央
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 60) 手根管開放術後における手指腱鞘炎リスク因子の検討
戸田雅, 益山松三, 甲斐糸乃, 吉川大輔, 鎌田綾
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 61) 膝後十字靭帯ガングリオンの診断で手術目的に当院に紹介受診されたが超音波ガイド下の注射施行後に症状改善した2例
三橋龍馬, 福田一, 増田寛, 久保紳一郎, 田島直也, 野崎正太郎, 川添浩史
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 62) 若年の腰痛患者の早期診断にMRIを使用しなかったら？
三橋龍馬, 福田一, 増田寛, 久保紳一郎, 田島直也, 野崎正太郎
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 63) 当科における自家培養軟骨移植術での治療経験と短期成績
松永美穂, 森田雄大, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠, 横江琢示, 帖佐悦男
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 64) 内科外来における骨粗鬆症診療
石原和明, 飯田暁人, 井口公貴, 北島潤弥, 大倉俊之, 小藺敬洋, 栗原典近,
塩月康弘
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 65) 当院における骨粗鬆症性椎体骨折に対する手術加療の取り組み
松本尊行, 川野啓介
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎

- 66) 大腿骨近位部骨折に対する緊急手術加算制度導入前後での待機日数および術後経過の比較検討—Before and after study in Miyazaki Medical Association Hospital—
喜多恒允, 森治樹, 池尻洋史, 北堀貴史, 鮫島央, 船元太郎, 帖佐悦男
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 67) 非定型大腿骨骨折の骨癒合遅延の要因についての検討—病理所見を含めて
小牧亘, 深野木快士, 植村貞仁, 森本直美, 曾根崎あけみ, 帖佐悦男
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 68) THA1558症例から学ぶこと (脱臼について)
黒木啓吾, 柏木輝行, 小島岳史, 吉田尚紀, 柏木悠吾, 平川俊一, 帖佐悦男
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 69) THA1558症例から学ぶこと (再置換について)
柏木悠吾, 柏木輝行, 小島岳史, 吉田尚紀, 黒木啓吾, 平川俊一, 帖佐悦男
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 70) Ankle fusion plate lateral TTの使用経験
石原和明, 飯田暁人, 井口公貴, 北島潤弥, 大倉俊之, 小藺敬洋, 栗原典近, 岡村龍
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 71) 当センターにおける麻痺性足部変形に対する前脛骨筋移行術の治療成績
梅崎哲矢, 川野彰裕, 福嶋研人
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 72) ストレス超音波検査による足関節外側靱帯不安定症の評価
横江琢示, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠, 森田雄大, 帖佐悦男
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 73) 重度外反母趾手術後のX線学的検討
岡村龍, 小藺敬洋, 大倉俊之, 石原和明, 北島潤弥, 井口公貴, 飯田暁人, 栗原典近
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎
- 74) 整形外科関連疾患およびロコモティブシンドロームと神経障害性疼痛
田島卓也
西諸医師会西諸内科医会WEB合同学術講演会, 2023, 6, 宮崎

- 75) 麻痺性股関節亜脱臼・脱臼に対する軟部組織手術後に再脱臼にて追加手術を行った8例
梅崎哲矢, 川野彰裕, 川越悠輔, 福嶋研人, 帖佐悦男
第62回日本小児股関節研究会, 2023, 6, 千葉
- 76) スポーツによる膝複合靱帯損傷例の特徴と傾向
田島卓也, 山口奈美, 森田雄大, 横江琢示, 大田智美, 長澤誠, 帖佐悦男
日本スポーツ整形外科学会2023, 2023, 6, 広島
- 77) プロサッカー選手におけるスポーツ傷害調査
山口奈美, 田島卓也, 大田智美, 長澤誠, 森田雄大, 横江琢示, 帖佐悦男
日本スポーツ整形外科学会2023, 2023, 6, 広島
- 78) 循環器疾患患者の身体機能、運動機能評価～主にフレイルとロコモティブシンドロームを用いて～
石塚優樹, 小川灯子, 宮崎茂明, 川崎弘貴, 鳥取部光司, 荒川英樹, 帖佐悦男
第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 79) 臨床力のあるリハビリテーション科医はプロによるリハビリテーション診療（PROr）の要である
田島文博, 美津島隆, 中村健, 伊藤倫之, 山内克哉, 上條義一郎, 西村行秀, 三上幸夫, 荒川英樹, 小川貴洋
第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 80) 精神疾患におけるリハビリテーション医療の新展開・精神科理学療法
荒川英樹
第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 81) 神経サルコイドーシスにより口腔期障害を主とする摂食嚥下障害, 構音障害呈した症例
柳橋奈帆, 坂元由貴, 金岡敦, 荒川英樹, 鳥取部光司, 帖佐悦男
第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 82) 学童期における運動器疾患の早期発見とロコモティブシンドローム予防
帖佐悦男
第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 83) 鎖骨骨折に対する VA-LCP Clavicle Plate 2.7(DePuy Synthes)の治療経験
福永幹, 石原和明
第49回日本骨折治療学会学術集会, 2023, 6, 静岡

- 84) 日本の四肢長管骨開放骨折後における深部感染予測指標を開発する：多施設前向きコホート研究 (DOTJ)

乾貴博, 石井桂輔, 鈴木卓, 渡部欣忍, 松井健太郎, 河野博隆, 帖佐悦男,
骨折治療学会レジストリ委員会
第49回日本骨折治療学会学術集会, 2023, 6, 静岡

- 85) 病理所見を含めて検討した非定型大腿骨骨折の骨癒合遷延の要因について

小牧 亘, 帖佐悦男
第49回日本骨折治療学会学術集会, 2023, 6, 静岡

- 86) 組織を中心に検討した非定型大腿骨骨折の骨癒合組織を中心に検討した非定型大腿骨骨折の骨癒合遷延の要因 一長期ビスホスホネート服用を含めた骨細胞壊死傾向の関与について一

小牧 亘, 深野木快土, 植村貞仁, 帖佐悦男
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎

- 87) THA1558症例から学ぶこと2 再置換術について

柏木悠吾, 柏木輝行, 小島岳史, 吉田尚紀, 黒木啓吾, 平川俊一, 帖佐悦男
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎

- 88) Ankle fusion Plate lateral TT の使用経験

石原和明, 飯田暁人, 井口公貴, 北島潤弥, 大倉俊之, 小菌敬洋, 栗原典近, 岡村龍
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎

- 89) 当センターにおける麻痺性足部変形に対する 前脛骨筋移行術の治療成績

梅崎哲矢, 川野彰裕, 福嶋研人
第86回宮崎整形外科懇話会, 2023, 6, 宮崎

- 90) 循環器疾患患者の地域生活における運動器障害の危機管理～循環器疾患のロコモティブシンドローム～

荒川英樹, 帖佐悦男
第34回日本運動器科学会, 2023, 7, 東京

- 91) 精神科療養病棟における運動器障害の危機管理～精神疾患患者のロコモティブシンドローム～

荒川英樹, 帖佐悦男
第34回日本運動器科学会, 2023, 7, 東京

- 92) 骨粗鬆症性脊椎圧迫骨折患者の10m歩行テストに関連する因子の検討
 圓福陽介, 渡辺一徹, 野海渉, 茂利久嗣, 太田尾祐史, 蓑原勝哉, 前原孝政,
 満安隆之, 東友和, 植村貞仁, 深野木快士, 小牧亘
 第36回日本臨床整形外科学会学術集会, 2023, 7, 千葉
- 93) FLS介入患者における腰椎骨密度の変化率に与える因子の検討
 蓑原勝哉, 太田尾祐史, 圓福陽介, 東友和, 植村貞仁, 深野木快士, 小牧亘
 第36回日本臨床整形外科学会学術集会, 2023, 7, 千葉
- 94) 大腿骨転子部骨折受傷当日に手術を行うことができた3例
 上通一師, 岩佐一真, 遠藤譲治, 山内佑太
 第58回宮崎救急医学会, 2023, 8, 宮崎
- 95) QT延長症候群に低K血症がきっかけで発症したと思われたTorsades de PointesによるCPAの一例
 小田竜, 前川和也, 日高浩人, 宮路優太, 緒方柳介, 長田直人
 第58回宮崎救急医学会, 2023, 8, 宮崎
- 96) なぜ子供の頃からロコモ予防が必要かー子どもの体力・運動器検診の結果からー
 帖佐悦男
 第94回日本小児科学会宮崎地方会, 2023, 9, 宮崎
- 97) 当科における椎間板内酵素（コンドリナーゼ）注入療法の治療成績
 高橋巧
 第12回九州M I S T研究会, 2023, 9, 福岡
- 98) 仙腸関節および胸鎖関節の骨破壊と骨増殖性病変を伴い、強直性脊椎炎とSAPHO症候群の鑑別に苦慮した1例
 首藤敏秀, 樋口誠二, 鈴木周一
 第66回九州リウマチ学会, 2023, 9, 福岡
- 99) 関節リウマチに対するフィルゴチニブのPROに対する治療効果ーRAPID3による1年時評価ー
 日高利彦, 橋場弥生, 久保和義, 甲斐泰文, 松岡篤, 黒田宏
 第66回九州リウマチ学会, 2023, 9, 福岡
- 100) Remnant-Preserved Single-Bundle Anterior Cruciate Ligament Augmentation in Multiligamentous Knee Reconstruction
 Takuya Tajima
 The 20th KOSSM-JSOA Combined Symposium of Orthopaedic Sports Medicine, 2023, 9, 韓国

- 101) 骨粗鬆症はハローベストのスカルピン頭蓋骨穿破のリスクとなる
濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 黒木智文, 日高三貴, 帖佐悦男
第25回日本骨粗鬆症学会, 2023, 9, 愛知
- 102) レセプトデータからみた骨粗鬆症投薬状況の実態: The Nobel Study
吉村典子, 飯高世子, 堀井千彬, 田中栄, 帖佐悦男, 西村邦宏
第25回日本骨粗鬆症学会, 2023, 9, 愛知
- 103) B K P 術後にセメント塊が脱転し再手術を施行した症例
吉田尚紀, 柏木輝行, 小島岳, 福嶋研人, 柏木悠吾, 濱中秀昭, 帖佐悦男
第25回日本骨粗鬆症学会, 2023, 9, 愛知
- 104) 世界骨粗鬆症デー (WOD) に合わせた都城市における啓発活動の取り組みについてー骨粗鬆症マネージャーの立場からー
前原孝政, 小牧亘, 太田尾祐史, 内村裕起, 木幡玲子, 山下理恵, 南中道里香, 森本直美, 野崎千穂, 胡摩窪冬杏
第25回日本骨粗鬆症学会, 2023, 9, 名古屋
- 105) 世界骨粗鬆症デー (WOD) に合わせた都城市における啓発活動の取り組みについてー医師の立場からー
小牧 亘, 前原孝政, 太田尾祐史, 内村裕起, 木幡玲子, 山下理恵, 南中道里香, 森本直美, 野崎千穂, 胡摩窪冬杏
第25回日本骨粗鬆症学会, 2023, 9, 名古屋
- 106) 用手的リンパドレナージの微弱電流刺激による補助効果の検討
野海渉, 小牧亘
第64回全日本病院学会, 2023, 10, 広島
- 107) The Ratio of Stress to Nonstress Anterior Talofibular Ligament Lengthon Ultrasonography : Normative Values
Takuji Yokoe
The 67th Annual Congress of the Korean Orthopaedic Association 2023, 2023, 10, 韓国
- 108) コロナ禍におけるロコモの増加ーロコモ検診の結果からー
船元太郎, 山口洋一朗, 帖佐悦男
第38回日本整形外科学会基礎学術集会, 2023, 10, 茨木

- 109) 日常生活の上肢リサーチ動作に対する加齢の影響
中武潤, 前田翔吾, 荒川英樹, 鳥取部光司, 帖佐悦男
第38回日本整形外科学会基礎学術集会, 2023, 10, 茨木
- 110) 人工膝関節置換術は変形性膝関節症患者のロコモティブシンドロームを改善する: ロコモ度3に着目した前向きコホート研究
宮崎茂明, 吉永砂織, 鶴田来美, 本部エミ, 藤井良宜, 荒川英樹, 坂本武郎, 中村嘉宏, 日吉優, 帖佐悦男
第38回日本整形外科学会基礎学術集会, 2023, 10, 茨木
- 111) Tmem161aはP38MAPK経路を介し骨形成と骨強度を制御する重要な因子である
永井琢哉, 関本朝久, 山口洋一朗, 黒木修司, 船元太郎, 田島卓也, 今坂舞, 吉信公美子, 荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男
第38回日本整形外科学会基礎学術集会, 2023, 10, 茨木
- 112) 全身関節弛緩性と足関節外側靭帯不安定性の関連: ストレス超音波検査による前距腓靭帯の評価
横江琢示, 帖佐悦男
第48回日本足の外科学会学術集会, 2023, 10, 大阪
- 113) 外反母趾に対しロッキングプレートを使用したMTP関節固定術のX線学的検討
岡村龍, 小藺敬洋, 大倉俊之, 石原和明, 北島潤弥, 井口公貴, 飯田暁人
第48回日本足の外科学会学術集会, 2023, 10, 大阪
- 114) 当院における人工関節周囲骨折の治療経験—再置換術の適応
福永幹, 今里浩之, 藤田貢司, 山口洋一朗, 日吉優, 船元太郎, 中村嘉宏, 坂本武郎, 帖佐悦男
第50回日本股関節学会学術集会, 2023, 10, 福岡
- 115) GanzPAOの手技と進化
坂本武郎, 帖佐悦男, 中村嘉宏
第50回日本股関節学会学術集会, 2023, 10, 福岡
- 116) Pelvic Discontinuityを合併する人工股関節置換術の手技的問題点—骨盤輪をどう安定化させるか? 臼蓋再建法は?—
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 日吉優, 山口洋一朗, 今里浩之, 藤田貢司, 福永幹
第50回日本股関節学会学術集会, 2023, 10, 福岡

- 117) 脳性麻痺股関節障害に対する臼蓋形成術を併用した骨性手術の治療成績～成人期を迎えた症例の検討～
川野彰裕, 梅崎哲矢, 福嶋研人, 帖佐悦男
第40回日本脳性麻痺の外科研究会, 2023, 10, 東京
- 118) スポーツ外傷・障害に対するリハビリテーション医療 (教育研修講演)
田島卓也
第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2023, 11, 宮崎
- 119) 大腿骨近位部骨折術後の疼痛に関連する因子の検討
渡辺一徹, 太田尾祐史, 東友和, 深野木快土, 植村貞仁, 小牧亘
第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2023, 11, 宮崎
- 120) 当院におけるPRP療法の治療効果に与える因子の検討
東友和, 太田尾祐史, 渡辺一徹, 小牧亘
第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2023, 11, 宮崎
- 121) 大腿骨近位部骨折術後の疼痛に関連する因子の検討
渡辺一徹, 太田尾祐史, 東友和, 深野木快土, 植村貞仁, 小牧亘
第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2023, 11, 宮崎
- 122) 患肢救済に難渋し切断までに3か月を要したが、早期の独歩獲得に至った大腿切断患者の一例
川崎 弘貴, 金井 一男, 荒川 英樹, 帖佐 悦男
第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2023, 11, 宮崎
- 123) FLS活動開始後の外来患者数の変化が当院運営におよぼす影響と職員意識調査について
太田尾祐史, 渡辺一徹, 満安隆之, 太田尾祐希, 前原孝政, 蓑原勝哉, 圓福陽介,
茂利久嗣, 野海渉, 東友和, 松元美里季, 有田江里菜, 植村貞人, 深野木快土,
小牧亘
第57回日本作業療学会, 2023, 11, 沖縄
- 124) 下肢変形に対し複数回の骨端成長軟骨発育抑制術を要した関節弛緩を伴う脊椎骨端骨幹端
異形成症の兄弟例
福嶋研人, 川野彰裕, 梅崎哲矢, 帖佐悦男
第35回日本整形外科学会骨系統疾患研究会, 2023, 11, 兵庫

- 125) 下肢変形に対し複数回の骨端成長軟骨発育抑制術を要した関節弛緩を伴う脊椎骨端骨幹端異形成症の兄弟例
福嶋研人, 川野彰裕, 梅崎哲矢, 帖佐悦男
第35回日本整形外科学会骨系統疾患研究会, 2023, 11, 兵庫
- 126) リファピシン使用によりステロイド作用が減弱し治療に難渋した手関節非定型抗酸菌症の1例
松永美穂, 大田智美, 田島卓也, 山口奈美, 長澤誠, 森田雄大, 横江様示, 帖佐悦男
第146回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2023, 11, 沖縄
- 127) 腰椎手術中・術後に止血困難で治療に難渋した血小板機能異常症の経験
肥後聖, 比嘉聖, 濱中秀昭, 黒木修司, 永井琢哉, 日高三貴, 高橋巧, 帖佐悦男
第146回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2023, 11, 沖縄
- 128) 受傷4か月後に診断され観血的整復を要した小児外傷性股関節脱臼の1例
大野鉄平, 中村嘉宏, 今里浩之, 福永幹, 藤田貢司, 山口洋一郎, 日吉優,
船元太郎, 坂本武郎, 帖佐悦男
第146回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2023, 11, 沖縄
- 129) 肝硬変を基礎疾患に持つ多発腫瘍の2例
飯田暁人, 石原和明, 小園敬洋, 大倉俊之, 北島潤弥, 井口公貴, 栗原典近
第146回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2023, 11, 沖縄
- 130) 思春期特発性側弯症手術において術前CTは術中の回旋の指標となるか？
永井琢哉, 比嘉聖, 黒木智文, 高橋巧, 帖佐悦男
第57回日本側弯症学会学術集会, 2023, 11, 大阪
- 131) 思春期特発性側弯症の後方矯正固定術後患者における運動機能回復過程－lenke分類ごとの特徴比較－
鵜木彩, 永井琢哉, 黒木智文, 比嘉聖
第57回日本側弯症学会学術集会, 2023, 11, 大阪
- 132) 胸椎低後弯思春期特発性側弯症に対する生理的胸椎後弯形成における Vertebral Coplanar Alignment の有効性
山田勝崇, 内野洋介, 森平泰, 高田知史, 野尻英俊, 志村有永, 村上悠介,
明田浩司, 片柳順也, 友利正樹, 都島幹人, 中村英一郎, 永井琢哉, 大谷和之,
種市洋
第57回日本側弯症学会学術集会, 2023, 11, 大阪

- 133) 思春期特発性側弯症に対するVertebral coplanar alignmentにおけるPonte osteotomyの影響
友利正樹, 森平泰, 高田知史, 山田勝崇, 内野洋介, 野尻英俊, 志村有永,
村上悠介, 明田浩司, 片柳順也, 都島幹人, 中村英一郎, 永井琢哉, 大谷和之,
種市洋
第57回日本側弯症学会学術集会, 2023, 11, 大阪
- 134) Lenketype1のVCA法矯正では主胸椎カーブの矯正率の高さは術後肩バランス不良のリスク
とはならない (第二報)
志村有永, 野尻英俊, 森平泰, 新井秀和, 高田知史, 山田勝崇, 近藤直也,
森野忠夫, 中村英一郎, 友利正樹, 大谷和之, 明田浩司, 永井琢哉, 豊田宏光,
種市洋
第57回日本側弯症学会学術集会, 2023, 11, 大阪
- 135) Lenketype2におけるVCA法での矯正での術後肩バランス不良の危険因子
志村有永, 野尻英俊, 森平泰, 新井秀和, 種市洋, 高田知史, 山田勝崇, 近藤直也,
森野忠夫, 中村英一郎, 友利正樹, 大谷和之, 明田光司, 永井琢哉, 豊田宏光
第57回日本側弯症学会学術集会, 2023, 11, 大阪
- 136) Coplanar法におけるロッドの直径や材質による治療成績の検討
村上裕介, 森野忠夫, 森平泰, 高田知史, 山田勝崇, 内野洋介, 野尻英俊,
志村有永, 明田浩司, 片柳順也, 友利正樹, 都島幹人, 中村英一郎, 永井琢哉,
大谷和之
第57回日本側弯症学会学術集会, 2023, 11, 大阪
- 137) 胸腰椎ダブルカーブを有する特発性側弯症に対する術式の検討—後方単独と前後合併の比較—
高田知史, 森平泰, 山田勝崇, 内野洋介, 野尻英俊, 志村有永, 村上裕介,
明田浩司, 片柳順也, 友利正樹, 都島幹人, 中村英一郎, 永井琢哉, 大谷和之,
種市洋
第57回日本側弯症学会学術集会, 2023, 11, 大阪
- 138) LumbermodifierBまたはC胸椎特発性側弯症に対する選択的胸椎固定術におけるLIV—サブ
タイプ別の解析—
森平泰, 高田知史, 山田勝崇, 内野洋介, 野尻英俊, 志村有永, 村上裕介,
明田浩司, 片柳順也, 友利正樹, 都島幹人, 中村英一郎, 永井琢哉, 大谷和之,
種市洋
第57回日本側弯症学会学術集会, 2023, 11, 大阪

- 139) 慣性センサを用いたカヤック競技中のパドリング動作分析
上橋海正, 宮崎茂明, 帖佐悦男, 山子剛
第50回日本臨床バイオメカニクス学会, 2023, 11, 兵庫
- 140) 生体力学的な予測から考えるTHA機種選択
山子剛, 帖佐悦男
第50回日本臨床バイオメカニクス学会, 2023, 11, 兵庫
- 141) 術後CT画像に生じるメタルアーチファクトがステム周囲の応力解析に及ぼす影響
鎗水浩平, 村田竣弥, 和佐宗樹, 岡上裕介, 帖佐悦男, 山子剛
第50回日本臨床バイオメカニクス学会, 2023, 11, 兵庫
- 142) Tapered-Wedge型ステム設置後における患者個別の骨密度予測
村田竣弥, 和佐宗樹, 岡上祐介, 帖佐悦男, 山子剛
第50回日本臨床バイオメカニクス学会, 2023, 11, 兵庫
- 143) パラサーフィン大会のメディカルサポート報告ーパラリンピック新種目採用を見据えてー
中村志保, 小島岳史, 石田翔太郎, 一井竜弥, 帖佐悦男
第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023, 11, 神奈川
- 144) 宮崎県におけるラグビープロチームのキャンプメディカルサポート
今里浩之, 田島卓也, 吉川大輔, 帖佐悦男
第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023, 11, 神奈川
- 145) 成長期の腰椎分離症の骨折線角度についての検討: 野球選手とサッカー選手の比較
三橋龍馬, 田島直也, 帖佐悦男, 田島卓也
第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023, 11, 神奈川
- 146) 全国高校サッカー選手権大会県代表チームに対するメディカルチェックの調査報告
喜多恒允, 樋口潤一, 横江琢示, 三橋龍馬, 田島卓也, 帖佐悦男, 立石智彦
第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023, 11, 神奈川
- 147) Perthes病の治療開始までの経過から見てきたもの
梅崎哲矢, 川野彰裕, 福嶋研人, 帖佐悦男
第34回日本小児整形外科学会学術集会, 2023, 11, 兵庫
- 148) 麻酔科医に知ってほしいロコモ(運動器疾患)予防の大切さ
帖佐悦男
日本臨床麻酔学会第43回大会, 2023, 12, 宮崎

- 149) 破局的思考が内側楔状開大式脛骨粗面下骨切り術の術後成績に与える影響について
石田翔太郎, 三谷玄弥, 濱橋恒介, 十河泰之, 高垣智紀, 滝澤大智, 田島卓也,
帖佐悦男
第1回日本膝関節学会, 2023, 12, 神奈川
- 150) All inside deviceを用いてMMPRTを縫合する時の内側半月後根部と膝窩部神経血管束との
位置関係について
三橋龍馬, 田島卓也, 帖佐悦男
第1回日本膝関節学会, 2023, 12, 神奈川
- 151) サーフィン大会中の心肺蘇生処置の対応経験
一井竜弥, 小島岳史
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 152) 宮崎県におけるラグビープロチームのキャンプメディカルサポート
森田恭史, 田島卓也, 今里浩之, 岩佐一真, 吉川大輔, 三橋龍馬, 中村嘉宏,
帖佐悦男
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 153) サーフィン大会帯同で妥当な日当を支給するための取り組み一般社団法人宮崎サーフメ
ディカルチームを設立して
小島岳史, 石田翔太郎, 帖佐悦男, 田島卓也
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 154) 宮崎県の高校ラグビーにおけるメディカルサポート体制—5年間の外傷調査—
森田恭史, 今里浩之, 中村嘉宏, 田島卓也, 帖佐悦男, 吉川大輔, 岩佐一真
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 155) 成長期の野球選手に発生した半膜様筋腱付着部裂離骨折の一例
井手貴之, 中條正英, 中村俊介, 谷口昇
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 156) 少年野球検診の投球障害に関する危険因子
長澤誠, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 森田雄大, 横江琢示, 肥後聖, 帖佐悦男
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 157) 大学野球選手における超音波を用いた棘下筋の動態解析
宮崎宣丞, 上釜浩平, 町田透, 前迫真吾, 海江田英泰, 谷口昇
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡

- 158) 鹿児島県内の小学生野球選手における疼痛関連因子の検討
新留卓弥, 田丸智章, 宮崎雅司, 宮崎宣丞, 上釜浩平, 町田透, 海江田英泰, 谷口昇
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 159) 野球選手の肩関節窩離断性骨軟骨炎の1例
海江田光祥, 東郷泰久, 小倉雅, 藤井康成, 谷口昇
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 160) 大腿骨膝蓋面に生じた骨軟骨病変に対して自家骨軟骨柱と吸収ピンが骨接合に必要であった1例
肥後聖, 横江琢示, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠, 森田雄大, 帖佐悦男
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 161) 大学生サッカー選手における膝伸展機構の潜在的障害調査
中條正英, 井手貴之, 中村俊介, 谷口昇
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 162) 大学野球選手における超音波を用いた投球障害肩発生因子の検討
上釜浩平, 町田透, 宮崎宣丞, 前迫真吾, 海江田英泰, 谷口昇
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 163) 徒手前方引き出しテストとストレス超音波検査による足関節回旋不安定性の関係
横江琢示, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠, 森田雄大, 帖佐悦男
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 164) 大学生サッカー選手における足関節・足部メディカルチェック～超音波検査を含めた実態調査～
井手貴之, 中條正英, 中村俊介, 谷口昇
第35回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2023, 12, 福岡
- 165) ガングリオンを伴った静脈性血管瘤の一例
鯨島央, 森治樹, 池尻洋史, 北堀貴史, 川越悠輔
第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎
- 166) 外傷性母趾種子骨脱臼を認めた一症例
黒木啓吾, 柏木輝行, 小島岳史, 吉田尚紀, 柏木悠吾
第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎

- 167) 高熱・炎症反応高値を示し鑑別に苦慮した両側単純性股関節炎の一例
川越悠輔, 森治樹, 池尻洋史, 北堀貴史, 鮫島央
第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎
- 168) 人工関節周囲感染に対しCLAPを施行しインプラントが温存できた3例
小牧亘, 深野木快土, 植村貞仁, 福富雅子, 帖佐悦男
第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎
- 169) 当院でのRA患者に対するオゾラリズマブの治療経験
甲斐睦章
第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎
- 170) 大腿骨近位部骨折に対するラーニングカーブの検討
柏木悠吾, 柏木輝行, 小島岳史, 吉田尚紀, 黒木啓吾
第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎
- 171) 私の人工股関節全置換術 (THA) の工夫 ～正確なカップ設置を目指して～
福田一, 田島直也, 久保紳一郎, 増田寛, 三橋龍馬
第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎
- 172) ロボット支援UKAの設置正確性
小島岳史, 柏木輝行, 柏木悠吾, 黒木啓吾, 吉田尚紀
第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎
- 173) 児湯郡地域における肩関連疾患治療の現況とこれから
川越秀一, 泉俊彦, 三股奈津子, 安藤徹
第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎
- 174) 医療安全の観点から考える安全な人工関節手技ー不確実な手技を排除し必ず抜ける抜去法
Femoral flap osteotomyに関してー
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 舩元太郎, 山口洋一朗, 今里浩之, 藤田貢司, 福永幹, 松永美穂
第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎
- 175) 医療安全の観点から見た舟状骨偽関節
甲斐糸乃, 鎌田綾, 戸田雅, 吉川大輔, 益山松三
第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎

176) 入院中の管理困難な症例における取組みについて

座間味陽, 松岡知己, 平川雄介, 川越隆行

第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎

177) 整形外科病棟におけるインシデントレポート

石原和明, 飯田暁人, 井口公貴, 北島潤弥, 大倉俊之, 小藺敬洋, 栗原典近

第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎

178) 脊椎手術におけるインシデントレポートの検討

濱中秀昭, 黒木修司, 比嘉聖, 永井琢哉, 高橋巧, 松本尊行, 大野鉄平, 帖佐悦男

第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎

179) 医原性上肢末梢神経損傷の2例

大田智美, 田島卓也, 山口奈美, 長澤誠, 森田雄大, 横江琢示, 大野鉄平, 帖佐悦男

第87回宮崎整形外科懇話会, 2023, 12, 宮崎

◆学会報告（ポスター）

1) 重篤な脊椎多発性圧迫骨折を示した性腺機能低下症の兄弟発症性に対する保存的治療の経過

黒木修司, 黒木智文, 永井琢哉, 比嘉聖, 濱中秀昭, 帖佐悦男

第52回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 2023, 4, 北海道

2) 緩みのないセメントレスシステムをETOで安全に抜去できるかー大腿骨解剖学を基礎にした確実安全な抜去手技の提案ー

中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 日吉優, 山口洋一郎, 今里浩之, 平川雄介

第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

3) 小児の後頭骨軸椎固定術後のアライメント変化とリモデリングに関して

比嘉聖, 濱中秀昭, 黒木修司, 永井琢哉, 黒木智文, 帖佐悦男

第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

4) 凍結固定組織化学と低真空走査型顕微鏡の併用で示す筋膜の三次元微細構造

今里浩之, 高橋伸育, 澤口朗, 平川雄介, 山口洋一郎, 日吉優, 中村嘉宏,

船元太郎, 坂本武郎, 帖佐悦男

第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

5) 柔道競技における膝前十字靭帯損傷の特徴

森田雄大, 田島卓也, 山口奈美, 黒木修司, 大田智美, 長澤誠, 横江琢示, 帖佐悦男

第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 6) 人工股関節置換術における前方アプローチは側臥位アプローチに比べ中殿筋断面積の改善に有利か
日吉優, 帖佐悦男, 坂本武郎, 中村嘉宏, 船元太郎, 山口洋一朗, 今里浩之,
平川雄介
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 7) PS-mobile TKA (Vanguard PSRP) において術中軟部組織バランスが術後早期臨床成績に及ぼす影響
今村勝行, 永田政仁, 梶博則, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 8) 定量的骨SPECT/CTを用いた変形性膝関節症に対する疼痛評価
中條正英, 中村俊介, 藤元祐介, 有馬大智, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 9) PS-mobile TKA (Vanguard PSRP) においてposterior condylar offset (PCO) 減少が術後早期臨床成績に及ぼす影響
今村勝行, 永田政仁, 梶博則, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 10) 整形外科的選択的痙性コントロール手術を用いたアテトーゼ頸髄症の動的因子対策
寺原幹雄, 井尻幸成, 村角恭一, 田邊史, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 11) 慢性足関節不安定症におけるQCT/FEA解析を用いた距骨下関節軟骨下骨の骨密度評価
中村俊介, 佐久間大輔, 中條正英, 藤元祐介, 有馬大智, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 12) 骨粗鬆症椎体骨折後の生命予後に関与する危険因子の検討ー退院時歩行速度が骨粗鬆症性椎体骨折後の生命予後に関与するー
富永博之, 河村一郎, 上園忍, 山下芳隆, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 13) ドイツ整形災害外科学会の提唱する骨粗鬆症性椎体骨折スコアリングシステムの有用性
八尋雄平, 嶋田博文, 山元拓哉, 坂本光, 砂原信彦, 中村雅洋, 河村一郎,
富永博之, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 14) 更年期手指関節症に対するホルモン補充療法の治療効果－1年経過例の報告－
佐々木裕美, 篠原直弘, 井手貴之, 永野聡, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 15) 腱板に注目した頸椎症性筋萎縮症と腱板断裂の画像所見の検討
前迫真吾, 海江田英泰, 上釜浩平, 宮崎宜丞, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 16) 新しいDVTリスク評価法Kagoshima-DVTscoreの有用性
井手貴之, 佐々木裕美, 富永博之, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 17) 手の内軟骨腫の術式による合併症と治療成績の比較
篠原直弘, 井手貴之, 佐々木裕美, 永野聡, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 18) 成人脊柱変形手術における脊椎パラメータと立位骨盤白蓋前方被覆の検討
河村一郎, 富永博之, 佐々木大輔, 徳本寛人, 眞田雅人, 小倉拓馬, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 19) 3D-CTを用いた上腕骨頭径の測定法と骨頭肥大の関連因子の検討
上釜浩平, 前迫真吾, 海江田英泰, 宮崎宜丞, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 20) 神経根奇形を伴う腰椎変性疾患－2215例の画像所見と治療成績－
岩元俊樹, 井尻幸成, 田邊史, 村角恭一, 寺原幹雄, 富永博之, 河村一郎, 谷口昇
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川

- 21) Relationship Between Latelal Ankle Laxity and Generalized Joint Laxity in Subjects with Healthy Ankles
Takuji Yokoe, Etsuo Chosa, Takuya Tajima, Nami Yamaguchi, Yudai Morita
ISAKOS CONGRESS 2023, 2023, 6, アメリカ

- 22) 骨成長終了後に追加治療を要した多発性骨端異形成症に併発したペルテス病の1例
川野彰裕, 梅崎哲矢, 川越悠輔, 福嶋研人, 帖佐悦男
第62回日本小児股関節研究会, 2023, 6, 千葉

- 23) 後脛骨筋腱脱臼の術後に足根管症候群をきたし手術加療を要した1例
三橋龍馬, 田島卓也, 帖佐悦男, 福田一, 高橋巧, 久保紳一郎, 田島直也
日本スポーツ整形外科学会2023, 2023, 6, 広島
- 24) エリート柔道選手におけるハムストリング3度損傷に対して修復術を施行した1例
森田雄大, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 長澤誠, 横江琢示, 帖佐悦男
日本スポーツ整形外科学会2023, 2023, 6, 広島
- 25) 肩甲上神経麻痺に鏡視下手術を行った3例
長澤誠, 田島卓也, 山口奈美, 森田雄大, 横江琢示, 帖佐悦男
日本スポーツ整形外科学会2023, 2023, 6, 広島
- 26) 大腿骨膝蓋面に生じた骨軟骨病変に対して自家骨軟骨柱と吸収ピンが骨接合に必要であった1例
横江琢示, 田島卓也, 山口奈美, 森田雄大, 長澤誠, 帖佐悦男
日本スポーツ整形外科学会2023, 2023, 6, 広島
- 27) 転倒により受傷したCM関節脱臼を伴う第5有鉤骨体部骨折
石原和明, 福永幹
第49回日本骨折治療学会学術集会, 2023, 6, 静岡
- 28) スポーツ外傷による骨折手術症例の特徴と傾向－単一施設10年間の検討－
喜多恒允, 森 治樹, 池尻洋史, 北堀貴史, 川越悠輔, 鮫島央
日本スポーツ整形外科学会2023, 2023, 6, 広島
- 29) The Risk Factors Associated with Failure Results after Arthroscopic Repair for Bucket
Handle Meniscal Tear:A Multi-center Study
Takuya Tajima, Nami Yamaguchi, Yudai Morita, Takuji Yokoe,
Hiroaki Yano, Daisuke Yoshikawa, Ryuma Mitsuhashi, Etsuo Chosa
AOSSM Annual Meeting 2023, 2023, 7, アメリカ
- 30) 野球検診の結果から見た、肩関節可動域と投球障害の関連
長澤誠, 大田智美, 泉俊彦, 川越秀一, 帖佐悦男
第50回日本肩関節学会学術集会, 2023, 10, 東京
- 31) 股関節前内側・坐骨周囲のcadaver study－periacetabular osteotomyにおける坐骨骨切り術－
今里浩之, 帖佐悦男, 坂本武郎, 中村嘉宏, 船元太郎, 日吉優, 山口洋一郎,
藤田貢司, 福永幹
第50回日本股関節学会学術集会, 2023, 10, 福岡

- 32) 大腿骨骨頭脆弱性骨折を契機にFGF23関連骨軟化症と診断された1例
川野啓介, 帖佐悦男
第50回日本股関節学会学術集会, 2023, 10, 福岡
- 33) 宮崎県延岡市の市民を対象としたアンケート調査からみえる骨粗鬆症リスクの状況—産・学・官共同事業『のべおか骨太プロジェクト』のスタートにあたって—
佐藤信博, 船元太郎, 帖佐悦男, 吉村典子, 西村邦宏, 金井一男, 岡村樹里, 石原和明, 公文崇詞, 井上英豪
第26回日本骨粗鬆症学会, 2023, 10, 石川
- 34) 2023WBC宮崎キャンプにおける観客救護体制の報告
神谷俊樹, 田島卓也, 山口奈美, 森田雄大, 横江琢示, 長澤誠, 帖佐悦男
第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023, 11, 神奈川
- 35) 宮崎県の高校ラグビーにおけるメディカルサポート体制—5年間の外傷調査—
森田恭史, 今里浩之, 中村嘉宏, 田島卓也, 吉川大輔, 岩佐一真, 帖佐悦男
第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023, 11, 神奈川
- 36) 宮崎県におけるプロスポーツキャンプに対する後方支援拠点病院としてのメディカルサポート
森田雄大, 田島卓也, 山口奈美, 長澤誠, 横江琢示, 帖佐悦男, 三橋龍馬, 小島岳史, 樋口潤一
第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023, 11, 神奈川
- 37) サーファーの膝前十字靱帯再建術後の復帰プログラムの提案
小島岳史, 柏木輝行, 帖佐悦男
第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023, 11, 神奈川
- 38) 受傷原因による膝複合靱帯損傷例の特徴と傾向
田島卓也, 山口奈美, 森田雄大, 横江琢示, 帖佐悦男
第1回日本膝関節学会, 2023, 12, 神奈川
- 39) 骨端部に発症し、膝関節軟骨を穿破したBrodie腫瘍の小経験と短期経過
森田雄大, 田島卓也, 山口奈美, 横江琢示, 帖佐悦男
第1回日本膝関節学会, 2023, 12, 神奈川
- 40) 複合靱帯再建膝に対する再手術の治療経験
山口奈美, 田島卓也, 森田雄大, 横江琢示, 帖佐悦男
第1回日本膝関節学会, 2023, 12, 神奈川

◆学会報告（シンポジウム）

- 1) 脳性麻痺による神経筋原生側弯症の術中・術後合併症
河村一郎, 佐久間大輔, 眞田雅人, 小倉拓馬, 山元拓哉, 谷口昇
第38回九州小児整形外科集談会, 2023, 1, 福岡
- 2) 当センターにおける股関節の軟部組織手術後に再手術を行った症例の検討
梅崎哲矢, 川野彰裕, 川越悠輔, 帖佐悦男
第38回九州小児整形外科集談会, 2023, 1, 福岡
- 3) 海外スポーツ現場メディカル活動の現状と展望・ラグビーにおける脳振盪管理
田島卓也
第13回スポーツメディスンフォーラム, 2023, 3, 大阪
- 4) ロコモザワールド宮崎ーロコモに影響する因子・評価法・介入効果ー
帖佐悦男
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川
- 5) アキレス腱断裂診療ガイドライン 2019 の概要とその後
田島卓也, 杉本和也, 熊井司, 田中康仁, 谷口晃, 平野貴章, 森淳, 安田稔人,
帖佐悦男
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川
- 6) わが国の側弯症学校健診の課題と展望
黒木浩史
第96回日本整形外科学会学術総会, 2023, 5, 神奈川
- 7) ラグビーにおけるスポーツ外傷・障害の問題点ージャパンラグビーリーグワンの傷害統計よりー
田島卓也, 中村明彦, 赤間高雄, 三森教雄, 中村夫左央, 村上秀孝, 山田睦雄,
堀野哲也, 吉川大輔, 帖佐悦男
日本スポーツ整形外科学会2023, 2023, 6, 広島
- 8) 特例補装具支給規定見直しへの取り組み
川野彰裕, 梅崎哲矢, 帖佐悦男, 荒川英樹, 鳥取部光司, 荒川英樹, 帖佐悦男
第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 6, 福岡
- 9) 大学病院の SEA
荒川英樹
第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2023, 6, 福岡

- 10) 人工骨頭置換術における仰臥位前外側アプローチの短期臨床成績の報告
北堀貴史, 森治樹, 池尻洋史, 帖佐直紀, 喜多恒允
第49回日本骨折治療学会学術集会, 2023, 6, 静岡
- 11) 転移性骨腫瘍による大腿骨近位部骨折に対して腫瘍用人工骨頭を用いた治療成績
日吉優, 中村嘉宏, 今里浩之, 山口洋一朗
第49回日本骨折治療学会学術集会, 2023, 6, 静岡
- 12) 病理所見を含めて検討した非定型大腿骨骨折の骨癒合遷延の要因について
小牧亘, 帖佐悦男
第49回日本骨折治療学会学術集会, 2023, 6, 静岡
- 13) ジャパンラグビーリーグワンにおける外傷・障害調査
田島卓也
第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023, 11, 神奈川
- 14) コロナ禍におけるサッカー日本代表の活動
山口奈美
第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2023, 11, 神奈川
- 15) 日常診療に役立つ ACL 再建術後のリハビリテーションのポイント
田島卓也, 山口奈美, 森田雄大, 横江琢示, 帖佐悦男
第1回日本膝関節学会, 2023, 12, 神奈川

◆ 講 演

- 1) 障がい児に対する小児リハビリテーションの概要と取り組み
川野彰裕
第45回宮崎リハビリテーション研究会, 2023, 2, 宮崎市
- 2) 骨形成促進薬について (パネリスト)
小牧亘
宮崎骨粗鬆症エキスパートフォーラム, 2023, 3, 宮崎市
- 3) スポーツ外傷・障害に対するリハビリテーション医療
田島卓也
第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 2023, 4, 宮崎市

- 4) 脆弱性骨折に対する当院の二次性骨折予防の取り組み
小牧 亘
杵岐医師会学術集会（杵岐の会場へ向けてWeb開催），2023，7，杵岐市
- 5) 骨折の危険性の高い骨粗鬆症に対するロモソズマブの有効性と安全域ー逐次療法も含めてー
小牧 亘
都城地区整形外科医会講演会，2023，7，都城市
- 6) 骨粗鬆症に対する骨形成促進薬の出番と継登について
小牧 亘
第2回関節治療セミナーin宮崎，2023，7，宮崎市
- 7) 膝が痛いってそもそも何？～膝の痛みはどこからくるのか？どのような治療がいいのか？を解説します～
小島岳史, 柏木輝行
市民公開講座 ひざ痛よ さようなら いつまでも自分の脚で歩くために，
2023，7，宮崎市
- 8) 膝の痛みをとるための手術とは～ロボットを使った人工関節置換術について説明します～
柏木悠吾, 柏木輝行
市民公開講座 ひざ痛よ さようなら いつまでも自分の脚で歩くために，
2023，7，宮崎市
- 9) 変形性膝関節症のリハビリワンポイントアドバイス
塩崎猛, 柏木輝行
市民公開講座 ひざ痛よ さようなら いつまでも自分の脚で歩くために，
2023，7，宮崎市
- 10) 関節内出血は何が悪いのか？ー血友病性関節症の診断意義ー
田島卓也
血友病性関節症セミナーin鹿児島，2023，7，鹿児島市
- 11) 女性アスリートに対するメディカルサポート
山口奈美
第2回静岡県サッカーメディカル研修会，2023，9，静岡(web)

- 12) 当院の脆弱性骨折に対する二次骨折の取り組み - 南九州の二次骨折予防加算の現状も含めて
小牧 亘
第12回整形外科南部地区地域連携会, 2023, 9, 熊本市
- 13) こつ（骨）があります！骨粗しょう症の予防と治療（市民公開講座）
小牧 亘
世界骨粗鬆症デー in 都城 2023, 2023, 10, 都城市
- 14) 四十肩・五十肩
川越 正一
市民公開講座 ひむか骨と関節を考える会ー動く喜び、動ける幸せー,
2023, 10, 宮崎市
- 15) セバネとしせいの話（骨粗鬆症も含めて）
永井 琢哉
市民公開講座 ひむか骨と関節を考える会ー動く喜び、動ける幸せー,
2023, 10, 宮崎市
- 16) コドモのロコモについて
黒木 龍二
市民公開講座 ひむか骨と関節を考える会ー動く喜び、動ける幸せー,
2023, 10, 宮崎市
- 17) 当院の二次骨折予防と FLS 活動の取り組みについて
小牧 亘
田野エリア骨粗鬆症セミナー, 2023, 11, 宮崎市
- 18) 学校における側弯検診について ー側弯症学校検診のすすめー
黒木 浩史
市民公開講座「こどもたちの脊柱側弯症検診を考える」, 2023, 11, 千葉市
- 19) 女性アスリートのメディカルサポート
山口 奈美
第15回はまゆう整形外科セミナー, 2023, 11, 宮崎市
- 20) 整形外科医が知っておくべき介護保険
渡邊 信二
第15回はまゆう整形外科セミナー, 2023, 11, 宮崎市

21) 側弯症学校検診の現状と課題ー側弯症機器検診の全国展開に向けた取り組みー

黒木浩史

第21回日本側弯症学会研修セミナーベーシックコース，2023，12，宇都宮市

22) 間違いだらけのリエゾンサービスからたどり着いたリエゾンサービスの歩き方

小牧亘

第3回嬉野地区FLSセミナー，2023，12，嬉野市

編 集 後 記

2025年号は、亀井直輔教授のご就任を記念し、「就任記念号」として発行いたしました。

本号には、広島大学学長の越智光夫先生、ならびに広島大学整形外科学教授の安達伸生先生より、心温まるご祝辞を頂戴いたしました。お二方のご寄稿には、私どもがこれまで知ることのなかった亀井教授のご人柄やご経歴にまつわる興味深い逸話も織り込まれており、同門の皆様にごひご一読いただきたく存じます。ご多用の中、快くご寄稿くださいました越智先生、安達先生に、心より深謝申し上げます。

また、同門の開業医の先生方や大学にご所属の先生方からも、アンケートを通じて亀井教授へのお祝いのメッセージを多数お寄せいただきました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

さらに、本学がこれまで積極的に取り組んできたスポーツメディカル活動の拠点となる「スポーツメディカルセンター」がこのたび開設されました。センター長の田島卓也先生のもと、今後のさらなる発展が大いに期待されます。

このたび、新たに池末和弘先生、関本朝日先生、濱川晃輔先生の三名にご入会いただきました。先生方の今後のご活躍を心より楽しみにしております。

その他、同門会長と医局長挨拶、毎年恒例となりました開業の先生と関連病院の近況報告、学会賞・同門会奨励賞、学位取得報告、同門会行事、医局行事等があります。皆様には楽しんで読んでいただけると幸いです。

ご多忙のなか、本誌に御寄稿いただいた先生方に深謝申し上げます。

令和7年8月吉日

渡邊 信二

大田 智美（文責）

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

患者さんの Quality of Life の向上が 私たちの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD001-TB-2103-1

急性期病院の中核である手術室の問題を一気に解決し

骨太な手術室マネジメント体制を確立する

手術室業務支援システム

オペなび

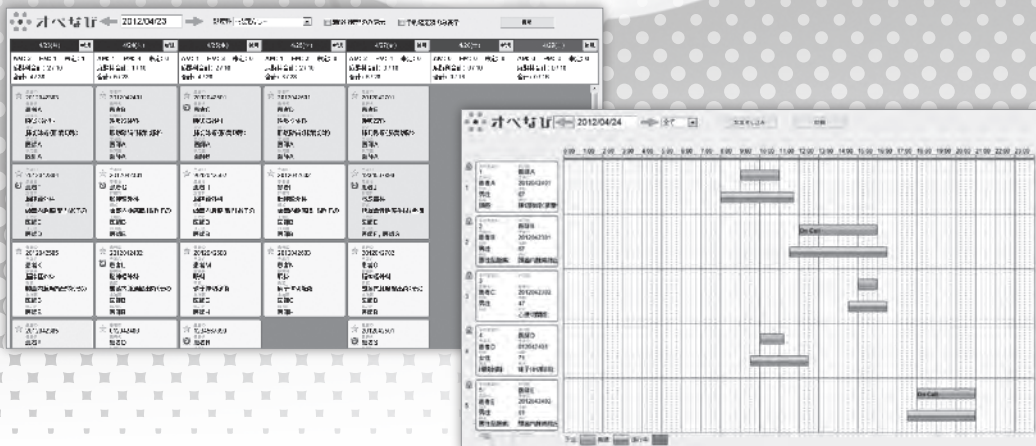
手術室の予約管理から使用実績の作成までを一元管理し、手術運用時の処理を正確かつスピーディにおこなうことを可能にする、手術室全体の業務・経営効率化を図るシステムです。

さらには集約したデータを活用・分析することも可能です。

手術室の
稼働率向上

手術ごとの
実績管理

手術室経営を
支援



各種レポート書出し

データベースに記録されたデータを使って、さまざまな帳票やレポート、Excelデータへの出力ができます。

基本帳票の一例

手術準備票

手術予定表

手術・麻酔申込書

手術伝票

手術室業務日誌・手術室看護業務日誌

各種実績集計表

Fides-ONE

株式会社 フィデスワン
福岡本社 福岡市博多区美野島3-17-27-1 2F
TEL : 092-436-3022 FAX : 092-436-3023

MID MEDICAL
INFORMATION
DELIVERY

株式会社 エムアイディ
本社 福岡市博多区美野島3-17-27-1 3F
TEL : 092-436-2555 FAX : 092-436-2556

Nexis
TO THE NEXT SYSTEM

株式会社 ネクシス
本社 福岡市博多区美野島3-17-27-1 3F

メハーゲングループ製品紹介サイト

Medi-Aid SQ
<https://www.medi-aid.jp/>

いのちの
数だけ、
アンサーを。



旭化成ファーマ株式会社

旭化成ファーマの医療関係者向けサイト
<https://akp-pharma-digital.com>

 PharmaDIGITAL



Smith+Nephew

+ Endoscopic Spine Surgery for 2 portal technique

Lumber Scope

2 ポータルテクニック用ランバースコープです。

ビデオ型スコープとなっております

Smith+Nephew 製、LENS 4K カメラヘッドとの互換性を有します。

Lumber scope 2.7mm 30°

Quantum2 system

低温で蒸散できる RF エネルギー技術を持ち合わせた RF システムです。
リアルタイムに水温をモニタリングし安全に手術を進められます。



AMISTM Experience

ANTERIOR MINIMALLY INVASIVE SURGERY
IN HIP REPLACEMENT

SURGICAL
TECHNIQUE

DEDICATED
IMPLANTS

TOOLS AND
SERVICES

MEDICAL
EDUCATION

ADVANCED
INSTRUMENTATION

More than an
Anterior Approach

届出番号: 13B1X10060H01001
販売名: AMIS モバイル レッグポジショナー

© 2021 Medacta International SA. All rights reserved. ref:99.98XP.ADV rev. MIYAZAKI2021


Medacta
International

製造販売業許可番号: 13B1X10060
メダクタジャパン株式会社
〒102-0083 東京都千代田区麹町5-3-5 麹町中田ビル2F
TEL 03-6272-8797 FAX 03-6272-8798

 | HIP.MEDACTA.JP | 



DISCOVER
MORE

hisamitsu®



経皮吸収型 持続性疼痛治療剤

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

ジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤

ジクトルテープ® 75mg

ZICTHORU® Tapes 75mg

1枚中 日局ジクロフェナクナトリウム75mg含有

薬価基準収載

● 効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む使用上の注意等については電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元  **久光製薬株式会社** 〒841-0017 鳥栖市田代大官町408番地

文献請求先及び問い合わせ先：お客様相談室 〒135-6008 東京都江東区豊洲三丁目3番3号

TEL. 0120-381332 FAX. (03) 5293-1723

受付時間／9:00—17:50（土日・祝日・会社休日を除く）

URL: <https://www.hisamitsu-pharm.jp/product/dl/zicthoru-75-7/>



2025年4月作成

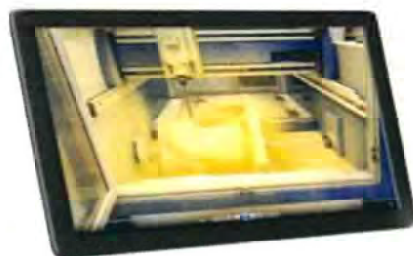
最先端3D CAD/CAMシステム



1. 3Dスキャンの非接触型採型により
患者様の負担を軽減



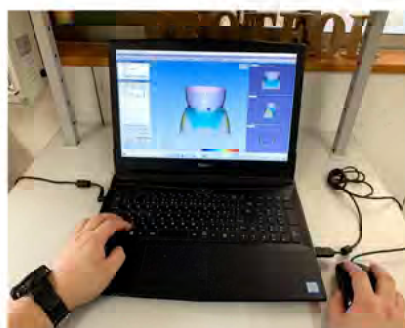
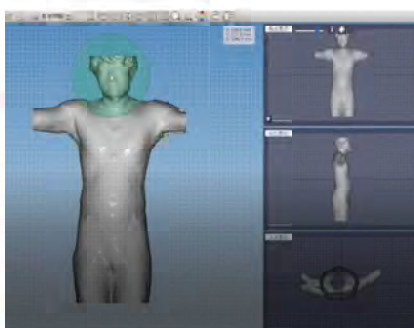
2. 専用ソフトウェアによる
モデル修正



3. 3D-CAM切削加工機による
モデル加工



3Dスキャンシステムで身体形状を、効率的にスキャン加工しデジタル保存



3Dスキャンの動画の紹介



上のQRコードをスマホで読み取ると動画が見れます

義肢・装具・整形靴・座位保持・車いす・介護用品・住宅改修



株式会社マキタ義肢製作所
マキタ福祉用具レンタル事業所

本社： 都城市鷹尾1丁目27街区11-2号
TEL(0986)24-6598 FAX(0986)24-6630
宮崎営業所： 宮崎市大字恒久6011-3
TEL(0985)65-6178 FAX(0985)65-6179

What Matters?

Partnerships パートナシップ

私たちは先生方のパートナーとして、患者様に最も優先して力を注ぐことができるよう、効率的な手法や持続性の高い技術、優れたサービスを提供して参ります。



Performance パフォーマンス

私たちは、先生方の治療に対する要求にお応えし、先生方がより良い結果を収めることができるよう手技や器械、インプラントの開発に力を入れて参ります。

Education 教育

私たちは先生方が常に最新の技法や学術情報に触れ、テクニックに関する最新の情報を得ることができるよう、継続的な教育プログラムを提供して参ります。



Results 結果

私たちは先生方の成功に力になったかどうかで、自らの結果を評価します。私たちが何よりも優先しているのは、先生方や患者様の利益です。私たちは先生方や患者様にとって最高の結果を提供できるよう努力して参ります。

日本ストライカー株式会社

112-0004 東京都文京区後楽 2-6-1 tel: 03-6894-0000

www.stryker.co.jp

・医療従事者向けサイト-Stryker Medical Professional Site
www.stryker.co.jp/medical.html

製造販売業者

日本ストライカー株式会社

550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-1



The Avenir Complete Hip System

Proven Heritage.
Operative Flexibility.
Surgical Excellence.

Avenir Complete Hip System は、Avenir Hip System の良好な臨床実績¹⁻⁴に基づき、よりユーザーフレンドリーなデザインを追求し開発されました。ステムサイズ・ネックバリエーションを追加することにより、術中の柔軟性を向上させ、再現性の高い手術を実現するために設計されたシステムです。

References: 1. Boisgard S, Brientini J, *et al.* 7-year Results of Primary Total Hip Arthroplasty with the Uncemented Avenir Stem. Hip International 2018; Volume 29 issue: 4, page(s): 418-423 2. Australian Orthopaedic Association National Joint Replacement Registry (AOANJRR). 2018 Annual Report 3. Endoprothesen Register Deutschland (EPRD). Annual Report, 2022 4. NZ Joint Registry, New Zealand Orthopaedic Association. NZJR 19 Year Report Jan 1999 to Dec 2017.

販売名：Avenir Hip システム
医療機器製造販売承認番号：231008ZX00041000
規制区分：高度管理医療機器
一般的名称：人工股関節大腿骨コンポーネント
機能区分：人工股関節 HF-4
人工股関節 HB-8-3

本資料に示された内容の著作権、商標権、及びその他の知的財産権は、特に断りのない限り適宜 Zimmer Biomet またはその支社に帰属し、これらの全てまたは一部を Zimmer Biomet の書面による許諾なしに再利用、複製、及び公開することはできません。本資料は医療従事者向けに作成されており、医療関係者以外の一般の方へ提供することは法規制等により禁止されております。【禁忌・禁止】、【使用目的又は効果】、【使用上の注意】、及び不具合・有害事象等の情報については、本製品の添付文書をご参照いただくか、弊社営業担当までご連絡ください。製品のさらなる最新の情報は、<https://www.zimmerbiomet.com/ja> にてご確認ください。

©2025 Zimmer Biomet

ジンマー バイオメット <https://www.zimmerbiomet.com/ja>

本社 〒108-0073 東京都港区三田三丁目5番19号 住友不動産東京三田ガーデンタワー 12 階
Tel. 03-4331-8600 (代)





生薬には、
個性がある。

漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラは考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤にとって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを抑える技術を追求。これからもあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。

医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 (審)

腰痛症



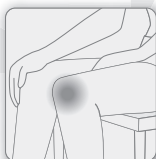
頸肩腕症候群



帯状疱疹後神経痛



変形性関節症



肩関節周囲炎



下行性疼痛抑制系賦活型
疼痛治療剤 (非オピオイド、非シクロオキシゲナーゼ阻害)

ノイロトロピン®錠4単位

ワクシニアウイルス接種家兔炎症皮膚抽出液含有製剤 [薬価基準収載]



2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)
本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

4. 効能又は効果
帯状疱疹後神経痛、腰痛症、頸肩腕症候群、
肩関節周囲炎、変形性関節症

6. 用法及び用量

通常、成人には1日4錠を朝夕2回に分けて経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

7. 用法及び用量に関連する注意

<帯状疱疹後神経痛>

4週間で効果の認められない場合は漫然と投薬を続けず注意すること。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用

- 11.1.1 肝機能障害、黄疸 (いずれも頻度不明)
AST、ALT、 γ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがある。
11.1.2 ショック、アナフィラキシー (いずれも頻度不明)

11.2 その他の副作用 (一部抜粋)

発疹、胃部不快感、悪心・嘔気、食欲不振

その他の注意事項等情報については、
電子添文をご参照ください。



製造販売元
日本臓器製薬株式会社
大阪市中央区平野町4丁目2番3号
資料請求先: 営業推進部 学術課

<すりの相談窓口> ☎ 0120-630-093
9:00~17:00 (土・日・祝日及び当社休日を除く)

2024年6月作成



自家培養軟骨 ジャック®

ジャックは、患者様から採取した健康な軟骨組織より分離した軟骨細胞を、アテロコラーゲンゲルに包埋して培養し、患者様自身に適用する自家培養軟骨です。軟骨細胞を含むアテロコラーゲンゲルを欠損部に移植することにより、臨床症状を緩和します。

保険適用 特定保険医療材料

ジャック 再生医療等製品
承認番号 22400FZX00266001
承認年月日 2012年7月27日
一般的名称 ヒト(自己)軟骨由来組織
類別 ヒト細胞加工製品 01 ヒト細胞加工製品

再生医療という選択肢。 新たな治療戦略。

※効能、効果又は性能、警告、禁忌・禁止を含む使用上の注意等の詳細につきましては、製品添付文書等をご確認ください。

医療従事者専用

ジャックに関するお問い合わせは
TEL.0533-63-5752
受付時間/9:00~17:00



製造販売元

株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング
Japan Tissue Engineering Co.,Ltd
〒443-0022 愛知県蒲郡市三谷北通6丁目209番地の1

<https://www.jppte.co.jp>

J-TEC

検索

ジャックの使用に関する情報、安全性に関する最新の情報は、ホームページでご確認ください。

<2022年10月作成>

たった一度の
いのちと
歩く。

協和キリン株式会社



KYOWA KIRIN

私たちの志

検索

2019年7月作成

まだないくすりを 創るしごと。

世界には、まだ治せない病気があります。

世界には、まだ治せない病気とたたかう人たちがいます。

明日を変える一錠を創る。

アステラスの、しごとです。

www.astellas.com/jp/

明日は変えられる。



世界中の人々の
健康で豊かな生活に貢献する

イノベーションに情熱を。ひとに思いやりを。



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社



ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体 【薬価基準収載】

生物由来製品、創薬、処方薬医薬品^{※1} 注）注意－医師等の処方箋により使用すること

アクトテムラ[®] 点滴静注用 80mg
200mg
400mg
ACTEMRA[®] tocilizumab トシリズマブ（遺伝子組換え）注

ヒト化抗ヒトIL-6レセプターモノクローナル抗体 【薬価基準収載】

生物由来製品、創薬、処方薬医薬品^{※1} 注）注意－医師等の処方箋により使用すること

アクトテムラ[®] 皮下注162mgシリンジ
皮下注162mgオートインジェクター
ACTEMRA[®] tocilizumab トシリズマブ（遺伝子組換え）注

「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元



中外製薬株式会社

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

ロシュ グループ

【文献請求先及び問い合わせ先】 メディカルインフォメーション部
TEL.0120-189-706 FAX.0120-189-705

【販売情報提供活動に関する問い合わせ先】

<https://www.chugai-pharm.co.jp/guideline/>

2025年3月作成

宮崎大学医学部整形外科

同 門 会 誌

発 行 日 令和7年9月

発 行 者 宮崎大学医学部整形外科学教室同門会

編集責任者

印 刷 所 宮崎県宮崎市潮見町 13-5
株式会社ヒダカ印刷